

CNEAS

栗林均・海蘭編

『満文原檔』所収
モンゴル語文書の研究



東北アジア研究センター報告 第17号

東北大学東北アジア研究センター

CNEAS

栗林均・海蘭 編

『満文原檔』所収
モンゴル語文書の研究

東北アジア研究センター報告 第17号

東北大学東北アジア研究センター

A Study of the Mongolian Documents
Involved in *Man-wen yuan-dang*,
Written in the Early 17th Century

(CNEAS Report No.17)

Compiled by
Hitoshi Kuribayashi & Hailan

Copyright©2015 by Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University

Kawauchi 41, Aoba-ku, Sendai City, Japan 980-8576

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>

All right reserved.

目 次

『満文老檔』におけるモンゴル語文書について……………	1
「文書」のモンゴル文字の字形について……………	9
「文書」における表記のゆれについて……………	37
モンゴル語文書影印、ローマ字転写、日本語訳……………	59
モンゴル語全単語索引……………	207
モンゴル語曲用語尾索引……………	254
モンゴル語活用語尾索引……………	259

『満文原檔』におけるモンゴル語文書について

1. 『満文原檔』について

『満文原檔』は、台湾の国立故宮博物院より 2005 年に出版された清太祖、太宗時代の檔案（政府公文書）の写真版による複写資料集である：

馮明珠主編『満文原檔』全 10 冊、国立故宮博物院、2005.

そこに収録されている檔案は、1607（天命前 9）年から 1636（崇徳元）年に至る約 30 年間にわたるものであるが、それらは清代乾隆年間に整理・表装された 37 冊と、1935（民国 24）年に内閣大庫から発見された 3 冊を合わせた 40 冊から成っている。

『満文原檔』に収録されている檔案は、主に満洲語で記されているが、モンゴル語、漢語の文書も散見される。満洲語は、老満文と呼ばれる無圈点満洲文字のものが多く、有圈点満洲文字（新満文）の文書もみられる。

『満文原檔』（2005）の出版に先立つ 36 年前に、同じ資料が別の書名で出版されている：

『舊満洲檔』全 10 冊、国立故宮博物院、1969.

写真は縮小版であるが内容は同じものである。『満文原檔』（2005）が出版されるまでは、これらの檔案資料は旧版の書名にならって「舊満洲檔」と呼ばれてきた。また無圈点満洲文字（老満文）の檔案は「老満文原檔」、「無圈点老檔」などと呼ばれることもある。これらはすべて同じものを指しているが、『満文原檔』（2005）の出版後はこの書名で呼ばれることが多い。

『舊満洲檔』の第一冊に収録されている荒字檔と戻字檔の満洲語檔案に関しては、次のローマ字転写と漢語訳、注釈が公刊されている：

廣祿・李學智『清太祖朝老満文原檔（第一冊荒字老満文檔冊）』（中央研究院歴史語言研究所、1970（民国 59）年）。

廣祿・李學智『清太祖朝老満文原檔（第二冊戻字老満文檔冊）』（中央研究院歴史語言研究所、1971（民国 60）年）。

同様に、『舊満洲檔』の第六冊～第八冊に収録されている清太宗朝の天聰元年から天聰 5 年までの檔案に関しては、次のローマ字転写と漢語訳、注釈が公刊されている：

『舊満洲檔譯註 清太宗朝（一）』国立故宮博物院、1977（民国 69）年。

『舊満洲檔譯註 清太宗朝（二）』国立故宮博物院、1977（民国 69）年。

また、日本では、天聰 9（1635）年の檔案について、満洲語のローマ字転写と、日本語の逐語訳と文意訳、および注、人名・地名索引、漢満対照表を合付して、次の 2 冊が公刊されている：

神田信夫・松村潤・岡田英弘譯註『舊滿洲檔 天聰九年 1』東洋文庫、1972.

神田信夫・松村潤・岡田英弘譯註『舊滿洲檔 天聰九年 2』東洋文庫、1975.

これらは『舊滿洲檔』の第九冊にあたるが、それ以外の冊の檔案については、乾隆時代に有圈点滿洲文字で重鈔された檔案資料（いわゆる「滿文老檔」）によって同様の譯註本が公開されている（これについては「3. モンゴル語文書と『滿文老檔』について」を参照。）

2. 『滿文原檔』に収録されているモンゴル語文書について

『滿文原檔』は、表題が示すように、ほとんどが滿文（滿洲語）による檔案であるが、一部にモンゴル語および漢語で書かれた檔案が含まれている。そのうち、モンゴル語の文書は、『滿文原檔』全10冊のうち、第三、四、五、六、七、八、九、十冊の各所に分散しており、合計47件を数える。それぞれの文書の長さは数行から数十行にわたり様々であり、それらの内容は1621（天命6）年から1636（天聰10）年の間に滿洲側とモンゴル側で交わされた交渉に関するものがほとんどである。

『滿文原檔』に収録されている47件のモンゴル語檔案は、滿洲語檔案と同様、史料的な観点から当時の滿洲とモンゴルの関係を示す一次資料として高い価値を有するものであるが、モンゴル語研究の観点からしても、極めて価値の高い、興味深い資料である。とりわけ、それらのモンゴル語檔案は、17世紀前半に作成されたものであり、当時のモンゴル語の使用状況を、モンゴル文字の字形、単語や接尾辞の綴り、語法等のすべての面にわたって、直接観察できる意義は大きい。そのモンゴル語は、モンゴル語史の分野では、同じ時代に仏教經典の木版本の中で規範化された「古典式モンゴル文語」に対して、それほど規範化が進んでいない「世俗的な（非宗教的な）」文献として位置付けることができるが、こうした文献資料のモンゴル語の実態に関しては現在までほとんど研究が行われていない。

近年、17世紀・18世紀のモンゴル語資料として、歴史書や檔案類の鮮明な影印資料がモンゴル国や中国で大量に出版され、こうした文献資料を用いた研究を取り巻く状況は飛躍的に向上したといえることができる。これらの資料の中で、『滿文原檔』に収録されている47件のモンゴル語檔案は、分量的には多いものではないが、質的には各種文献資料の中で最も古い時代に属するもので一級の価値を持つ資料とみなすことができる。それにもかかわらず、これらの文書は、大量の滿洲語の檔案の中に「埋もれ」ていて、研究者が参照することは必ずしも容易でなく、モンゴル語研究の観点から十分に利用されているとは言えない。こうした状況を鑑みて、ここにモンゴル語史の基本的な資料としてそれらの影印をまとめて研究者の便宜に供することとした。

本書では、『滿文原檔』に収録されている47件のモンゴル語檔案を「モンゴル語文書」または「文書」と呼ぶ。「文書」には、『滿文原檔』（2005）に収録されている順を、一部年代順に並べ替えて、1から47までの番号を付した。以下、これらのモンゴル語檔案を「文書1」～「文書47」として言及する。

『滿文原檔』に収録されているモンゴル語檔案に関しては、中国第一歴史檔案館の李保文氏により、次のような紹介と研究、翻訳がおこなわれている：

(1)李保文・南快「17 ᠠᠯᠠᠭᠤᠨ ᠶ᠋ᠠᠵᠤᠨ ᠤ 43 ᠰᠣᠮᠭᠦᠯ ᠪᠢᠴᠢᠭ 17_duryar jayun-uekin-dü qolbuɣda-qu 43 qubi mongɣul bičig(17 世紀初頭の 43 件のモンゴル語文書)』『内蒙古社会科学 (蒙文版)』1996 年第一期 86~118 頁、第二期 93~122 頁。

(2)李保文「愛新国天命天聰兩朝蒙古文書檔案簡介(愛新国天命天聰兩朝蒙古文書檔案紹介)」『明清檔案與蒙古史研究』内蒙古人民出版社、2000 年、217-276 頁。

(3)李保文「天命天聰年間蒙古文檔案譯稿 (上)」《歷史檔案》2001 : 3、3-8 頁

李保文「天命天聰年間蒙古文檔案譯稿 (中)」《歷史檔案》2001 : 4、3-9 頁

李保文「天命天聰年間蒙古文檔案譯稿 (下)」《歷史檔案》2002 : 1、3-4 頁

これらのうち、(1)は、「満文原檔」に収録されているモンゴル語檔案の紹介、モンゴル語活字によるテキストの翻刻、ローマ字転写、注、『舊滿洲檔』所収の該当する檔案のコピーである。47 件の「文書」のうち、「文書 1」、「文書 7」、「文書 8」が欠けているのは、見落としたものと考えられる。また「文書 19」と「文書 20」は、一つの文書として扱われている。

(2)は、「満文原檔」に含まれるモンゴル語檔案 47 件のうち、「文書 1」を除く 46 件に漢語の標題をつけて内容を紹介したものである。(1)で見落とした「文書 7」と「文書 8」を加え、「文書 19」と「文書 20」は別の文書として扱われている。これらに加えて、中国第一歴史檔案館に所蔵されている 3 件のモンゴル語檔案があることが紹介されているが、それらは、未公刊の資料である。

(3)は(2)と同じく『舊滿洲檔』所収の 46 件、および中国第一歴史檔案館所蔵の 3 件の都合 49 件のモンゴル語文書の漢語訳に注を付したものである。

また「満文原檔」のうち、天聰 9 (1635) 年の分に関しては、満洲語のローマ字転写に加えて、日本語の逐語訳と文意訳、および注を合わせて、『舊滿洲檔 天聰九年 1』(1972)と『舊滿洲檔 天聰九年 2』(1975)として公刊されていることはすでに述べた。これらにはモンゴル語の檔案も含まれており、「文書 39」「文書 40」「文書 41」「文書 42」の 4 件がそれにあたる (該当する巻や頁については後述)。

3. モンゴル語文書と『満文老檔』について

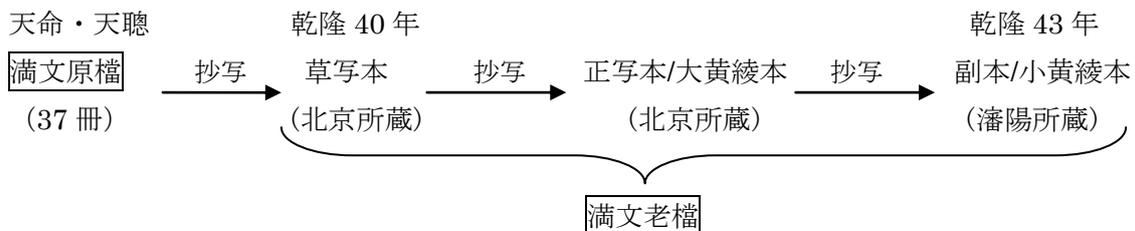
「満文老檔」は、「満文原檔」が乾隆時代に重鈔されたものを指す¹。有圈点満洲文字によるものと無圈点満洲文字によるものの 2 種類がある。

中国第一歴史檔案館・中国社会科学院歴史研究所訳注『満文老檔』(中華書局出版、1990)の「前言」(2-3 頁)によれば、「満文原檔」のうち 37 冊が数回の抄写を経て、六つの写本が作られた。まず乾隆 40(1775)年に有圈点満文と無圈点満文で各一部が写された。この 2 部は無格宣紙、書法が粗略なので「草写本」と呼ばれている。その後、「草写本」を底本にして、有圈点満文と無圈点満文で各一部が書き写された。それは「正写本」或いは「大黃綾

¹ 天命、天聰時代の「満文原檔」も合わせて「満文老檔」と呼ぶこともあるが、ここでは天命・天聰年間の檔案を「満文原檔」、乾隆重鈔本を「満文老檔」として区別する。

本」と呼ばれている。乾隆 43(1778)年に「正写本」(「大黃綾本」)はさらに有圈点満文と無圈点満文で各一部書き写された。それは、「副本」或いは「小黃綾本」と呼ばれている。「草写本」と「正写本」(「大黃綾本」)は北京の第一歴史檔案館に保存されており、「副本」(「小黃綾本」)は瀋陽の遼寧省檔案館に保存されている。これを図で示せば次のようになる：

図「満文老檔」の抄写過程



「満文原檔」に収録されているモンゴル語檔案の研究にとって、「満文老檔」が重要な意味を持つのは、そこにモンゴル語檔案の満洲語訳が含まれていることによる。「満文原檔」のモンゴル語檔案は乾隆期に重鈔される際に、満洲語に翻訳されて収録されたのである。

乾隆重鈔「満文老檔」に関しては、次のような研究が公刊されている：

- (1) 藤岡勝二『満文老檔』昭和 14 (1939) 年。
- (2) 満文老檔研究会訳注『満文老檔』昭和 30—38 (1955—1963) 年。全 7 冊。
I 太祖 1、II 太祖 2、III 太祖 3、IV 太宗 1、V 太宗 2、VI 太宗 3、VII 太宗 4
- (3) 中国第一歴史檔案館・中国社会科学院歴史研究所訳注『満文老檔』(中華書局、1990)
- (4) 中国第一历史档案馆整理编译『内閣藏本満文老檔』(辽宁民族出版社、2009) 全 20 冊。

上記のうち(1)と(2)は、瀋陽(奉天)の遼寧省檔案館所蔵の副本(小黃綾本)の写真版にもとづいたローマ字転写と日本語訳(逐語訳と文意訳)。(3)は、漢語訳で、北京の第一歴史檔案館所蔵の草写本、正写本(大黃綾本)にもとづきつつ、他の檔案および文献を参照したという。(4)は正写本(大黃綾本)の原本影印(1—16冊)、ローマ字転写(17—18冊)、漢語訳(19—20冊)を含む。

「満文原檔」に収録されているモンゴル語檔案全 47 件のうち、乾隆重鈔の「満文老檔」に満洲語の訳文が収録されているものは、「文書 2, 3, 4, 7, 8, 9 10, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 43, 44, 45, 46, 47」の 30 件である。本書では、主に上記(2)のローマ字転写と日本語訳を利用した。

次頁に掲げた表は、『満文原檔』(2005)で収録されている「モンゴル語文書」全 47 件を一覧にしたものである。文書を年代順に並べ、文書名を付し、『満文原檔』(2005)における収録箇所を冊数と頁数で示し、文書の日付と、『舊満洲檔 天聰九年』(1972, 1975)と『満文老檔』(1955—1963)におけるローマ字転写・日本語訳の所在を示している。

「番号」(1—47)は、文書の年代順によった。『満文原檔』(2005)に収録されている順と同じである。

「文書名」は、『満文原檔』(2005)でそれぞれの「文書」の先頭に置かれている満洲語

の文章と李保文 [1996] [2000] の表題を参考にして付けたものである。

「冊」は、それぞれの「文書」が『満文原檔』(2005)の第何冊に収録されているか、「頁」は「文書」の収録されているページである。

「日付」は、『満文原檔』(2005)でそれぞれの「文書」の先頭に置かれている満洲語で記されているもの。文書1の日付は不明であるが、天命6年7月の檔案の中に収録されている。

「ローマ字転写・日本語訳」は、「文書39, 40, 41, 42」の4件に関しては、神田信夫・松村潤・岡田英弘譯註による『舊満洲檔 天聰九年 1』(1972)と『舊満洲檔 天聰九年 2』(1975)に収録されているモンゴル語のローマ字転写と日本語訳の所在を示し(これらを「旧」とした)、それ以外は、満文老檔研究会訳注『満文老檔』全7冊(1955-1963)に収録されている満洲語のローマ字転写と日本語訳の所在を示している(「I」～「VI」は『満文老檔』の冊数を示す)。斜線は、「文書」に対応するローマ字転写と日本語訳が存在しないことを示す。

表『満文原檔』所収「モンゴル語文書」一覧

番号	文書名(内容)	冊	頁	日付/ローマ字転写・日本語訳
1		三	2	天命6(1621)年7月 /
2	エンゲドルの誓い	四	68	天命8(1623)年7月3日 II・太祖2・835頁
3	ウルドの誓い	四	69	天命8(1623)年7月4日 II・太祖2・835頁
4	オーバ・ホンタイジの誓い	五	45-46	天命11(1626)年6月6日 III・太祖3・1075頁
5	トシェート額駙が満洲のハーンに送った文書	五	117	天命11(1626)年7月6日 /
6	トシェート額駙がジャキチャンブクに送った文書	五	124-125	天命11(1626)年8月17日 /
7	天聰ハーンがハラチンとトゥメドに送った文書	六	327-328	天聰3(1629)年10月29日 IV・太宗1・241頁
8	天聰ハーンがモンゴルに送った文書	六	342-343	天聰3(1629)年11月7日 IV・太宗1・249頁

9	ジルガラン、サハリヤンがソブディに送った文書	七	15	天聰4(1630)年正月9日
				IV・太宗1・284-285頁
10	ジルガラン、サハリヤンがハラチンに送った文書	七	39-40	天聰4(1630)年2月1日
				IV・太宗1・300頁
11	天聰ハーンがナイマンのホン・バートルに送った文書	七	156	天聰4(1630)年4月2日
12	天聰ハーンがダルハン・バートルに送った文書	七	157-158	天聰4(1630)年4月4日
13	天聰ハーンが四子に送った文書	七	313	天聰5(1631)年正月13日
				V・太宗2・464-465頁
14	辛未年の法典1	七	351	天聰5(1631)年4月7日
				V・太宗2・500-501頁
15	辛未年の法典2	七	354-357	天聰5(1631)年4月12日
				V・太宗2・504-508頁
16	辛未年の法典3	七	358-359	天聰5(1631)年4月11日
				V・太宗2・508-509頁
17	辛未年の法典4	七	359-360	天聰5(1631)年4月11日
				V・太宗2・509頁
18	天聰ハーンがソブディ・ドーレンに送った文書	七	360	天聰5(1631)年4月20日
				V・太宗2・511頁
19	天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書	七	370	天聰5(1631)年7月5日
				V・太宗2・518-519頁
20	天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書	七	370-371	天聰5(1631)年7月5日
				V・太宗2・519頁
21	天聰ハーンがソン・ドーレンに送った文書	七	371-372	天聰5(1631)年7月5日
				V・太宗2・519頁
22	天聰ハーンがダライチュケグル、四子に送った文書	七	372	天聰5(1631)年7月5日
				V・太宗2・520頁

23	天聰ハーンがアオハン、ナイマン、 バーリン、ジャルドに送った文書	七	373	天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日
				V・太宗 2・520 頁
24	天聰ハーンがオモブチュケクルに送 った文書	七	373-374	天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日
				V・太宗 2・520 - 521 頁
25	天聰ハーンがチョクト太后に送った 文書	七	374-375	天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日
				V・太宗 2・521 頁
26	天聰ハーンがトシェート額駙に送っ た文書	七	375-376	天聰 5 (1631) 年 7 月 19 日
				V・太宗 2・522 頁
27	天聰ハーンがトシェート・ハーンに 送った文書	七	379-380	天聰 5 (1631) 年 11 月 19 日
				V・太宗 2・596 - 597 頁
28	天聰ハーンがトシェート・ハーンに 送った文書	七	386	天聰 5 (1631) 年 11 月 28 日
				V・太宗 2・604 頁
29	天聰ハーンがタンシャイに称号を与 えた文書	七	390-391	天聰 5 (1631) 年 12 月 11 日
				V・太宗 2・609 頁
30	天聰ハーンがソン・ドーレン等に送 った文書	七	399-400	天聰 5 (1631) 年 12 月 21 日
				V・太宗 2・615 頁
31	天聰ハーンがジャライト部などに送 った文書	八	297-298	天聰 6 (1632) 年 正月 3 日
32	天聰ハーンがガルジョー・セデルに 送った文書	八	301-302	天聰 6 (1632) 年 正月 24 日
33	申年の法度	八	302-304	天聰 6 (1632) 年 正月 18 日
34	天聰ハーンがナイマンのダルハン・ バートルに送った文書	八	305-306	天聰 6 (1632) 年 2 月 2 日
35	天聰ハーンがハラチンのトゥメド・ オモブチュケグルに送った文書	八	313-314	天聰 6 (1632) 年 3 月 27 日
36	天聰ハーンがハラチンのチョスキに 送った文書	八	315	天聰 6 (1632) 年 3 月 29 日

37	天聰ハーンがハラチンに送った文書	八	139-140	天聰 6 (1632) 年 4 月 6 日
38	申年の法度	八	322-325	天聰 6 (1632) 年 10 月 5 日
39	マハサマディ・セチェン・ハーン等 が天聰ハーンに送った文書	九	211-212	天聰 9 (1635) 年 5 月 27 日 旧・1・159 - 160 頁
40	ハルハのマハサマディ・セチェン・ ハーンが太后に送った文書	九	212-213	天聰 9 (1635) 年 5 月 27 日 旧・1・160 頁
41	天聰ハーンがゴルト・セチェンに号 を与えた文書	九	285	天聰 9 (1635) 年 7 月 24 日 旧・2・214 頁
42	ハルハのマハサマディ・セチェン・ ハーンが天聰ハーンに送った文書	九	445	天聰 9 (1635) 年 12 月 7 日 旧・2・345 - 346 頁
43	天聰ハーンがマハサマディ・セチェ ン・ハーンに送った文書	十	30-31	天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日 VI・太宗 3・912 頁
44	天聰ハーンがセチェン・ジノン送っ た文書	十	31	天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日 VI・太宗 3・912 頁
45	天聰ハーンがエルデニ・ノムチに送 った文書	十	31	天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日 VI・太宗 3・912 頁
46	天聰ハーンがジャサクト・ジノンに 送った文書	十	31	天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日 VI・太宗 3・912 頁
47	天聰ハーンがトルボトに称号を与え た文書	十	31	天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日 VI・太宗 3・912 頁

「文書」のモンゴル文字の字形について

ここでは、『満文原檔』所収モンゴル語文書（以下「文書」と呼ぶ）のモンゴル文字の字形の特徴を検討する。

モンゴル文語のローマ字転写方式について：

モンゴル文字は、複数の文字が同じ字形を取る多音字（polyphone）が少なくない。たとえば、<o> と<u>、<ö>と<ü>、<k>と<g>、<t>と<d>、そして「文書」の中では<q>と<γ>等々…。字形の上で区別されないものを別の文字とみなすのは、それらがモンゴル語の別の「音」を表しているという前提に立っている。それでは、その「音」とは、いつの時代のどの地域のモンゴル語なのか？

N.Poppe の *Grammar of Written Mongolian* (Wiesbaden, 1954)の転写方式は、モンゴル文語が成立した 13 世紀の口語の発音を推定してローマ字をあて、それを「古典式モンゴル文語」にも適用していると考えられる。本書では、基本的に N.Poppe (1954) のローマ字転写方式を採用しているが、その際モンゴル文語を口語から独立した文字言語の体系とみなしている。つまり、「文書」のモンゴル文語は 17 世紀前半に属するものであるが、そのローマ字転写は 17 世紀前半のモンゴル語の口語の音声を反映していることを前提とするものではなく、当時においても、モンゴル文語が口語と異なる独自の体系をもった文字言語であったとみなしている。

モンゴル文字とモンゴル文語は、13 世紀初にウイグル文字とその書記法に倣ってモンゴル語を表記することによって成立した。それから現代までの 800 年以上にわたる期間にモンゴル語の口語も文語も多様な変化をこうむって来たが、文語と口語の変化の範囲と程度は一樣ではなかった。文語は社会上層の一部が使う書き言葉として伝統的な書法や語法が継承されてきたのに対し、口語は音声、文法、語彙等すべての分野で著しい変化を経て多くの方言や独立の言語に分岐するに至った。現代では、どの口語方言の発音をとってみても、モンゴル文語の綴りはそれらと大きく隔たっている。

本書のローマ字転写は、モンゴル文字の識別情報（文字の種類を区別する情報）だけでなく、文字の字形や表記に関する情報を含めて、できるだけ元の表記が再現できるように配慮するとともに、モンゴル文語の解釈に資するために文法的情報を付加している（これについては、本書の「凡例」および 12 頁の「ローマ字転写で用いる若干の記号等について」を参照されたい）。

同じ字形を別の文字として判断する基準として、本書では次のような古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語の規範を作業仮説として採用している：

1. 与位格語尾では、母音字および子音字 <l> <m> <n> <ng> で終わる語幹には、子音字 <d> で始まる語尾 (-dur/-dür, -du/-dü) が付く。他方、子音字 <d> <g> <γ> <r> <s> で終わる語幹には、子音字 <t> で始まる語尾 (-tur/-tür, -tu/-tü) が付く。これは、位格語尾 (-da/-de, -ta/-te)、およびその再帰所属語尾 (-dayan/-degen,

-tayan/-tegen) に関しても同様である。

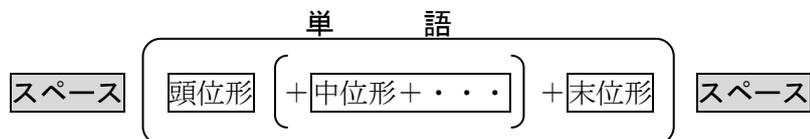
2. 並列副動詞の語尾では、母音字および子音字 <l> <m> <n> <ng> で終わる語幹には、子音字 <j> で始まる語尾 (=ju/=jü, =ji) が付く。他方、子音字 <d> <g> <y> <r> <s> で終わる語幹には、子音字 <č> で始まる語尾 (=ču/=čü, =či) が付く。

次に、モンゴル文字の字形に関連して、本書で使用する若干の用語について説明しておく。

字形（頭位形、中位形、末位形）：モンゴル文字が、単語の中に占める位置や他の文字と連なる際に取りうる形を字形と呼ぶ。モンゴル文字では、単語をひと続きに書き、単語と単語の間にはスペースが置かれる。その際、ひとつの単語を構成する複数の文字は縦の中心線に合わせて線（字画）が途切れることなく続くのが特徴である。つまり、ひとつの単語に含まれる文字の中心線は連続しており、文字と文字との間にスペースは入らない。

モンゴル文字のもうひとつの大きな特徴は、単語内の位置、つまり語頭、語中、語末で文字の形が変わることである。大まかに言えば、すべてのモンゴル文字は、単語の語頭、語中、語末に現れる際に取りうる3種類の異なった字形をもっている。語頭、語中、語末に現れる文字の字形を、それぞれ頭位形、中位形、末位形と呼ぶと、単語を構成する文字の位置と字形の関係は、次のように表すことができる。

図1. 単語を構成する基本的な字形の配置



頭位形と末位形の間には置かれる文字は、いくつ重なっても、すべて中位形となる。単語が2文字からなる場合は、頭位形に直接末位形が連なる。このように中位形の文字がない場合もあるので、上図では中位形をカッコに入れた。

分綴、連綴、語中スペース、分離形：上に見たように、モンゴル語ではひとつの単語を構成する文字の線（字画）が切れ目なく連なるのが原則である。これに対して、ひとつの単語が分けて綴られる場合がある。その主要な部分をなすのは、母音字 <a> と <e> が語末に位置する場合、単語の先行する部分から、しばしば離して書かれることである。この場合、母音字 <a> <e> の前にスペースが置かれて、語末には母音字 <a> <e> が1文字だけ置かれることになる。

このように、単語の中にスペースが置かれて、ひとつの単語が分けて綴られることを「分綴（ぶんてつ）」と呼ぶ。また、単語の内部に置かれるスペースを「語中スペース」、語末に単独で現れる母音字 <a> <e> の字形を「分離形」と呼ぶ。「連綴（れんてつ）」は「分綴」に対して、語中スペースを入れずに連ねて書くことを明示的に示す用語である。そのような単語を構成する文字の配置と字形は、次のように示すことができる。

図 2. 語末の <a> <e> が分綴される場合の字形の配置



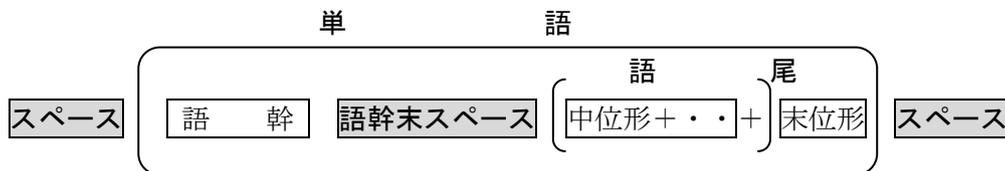
ここで注意すべきことは、語中スペースの前の文字は末位形となることである。

ローマ字転写では、語中スペースを「_」（アンダースコア）で表記する。

上の図 1. と図 2. は、単語を構成する字形の配置を示す基本形とみなすことができる。さらに、名詞の語幹と曲用語尾（格語尾、複数語尾、所属語尾）が分綴される場合も、それらはひとつの単語を構成する。名詞の格語尾、および複数語尾の一部は語幹から離して書かれるが、それらは語幹と一緒にになって単語を構成しているので、ひとつの単語が分綴されているとみなされる。この場合、語幹と語尾の間に置かれるスペースを「語幹末スペース」と呼び、ローマ字転写では、これを「-」（ハイフン）で転写する。

図 3. は「語幹」と「語幹末スペース」と「語尾」の関係を示したものである。この場合、図 1. と図 2. でみた単語の語形は、そのまま「語幹」の語形となる。一方、分綴される語尾は原則として中位形の文字から始まる。それらの字形と位置の関係は、次のように表すことができる。

図 3. 分綴される語幹と語尾における字形の配置



語尾が 1 文字だけから成る場合は、末位形で現れる。この場合、語末に単独の文字が書かれるので、図 2. の場合と同様「分離形」と呼ぶこともできる。

語尾の先頭の文字が中位形となるのは、単語が完結していない（語尾が単語の一部である）ことを示していると考えられる。

合体字：複数（多くの場合二つ）の文字を組み合わせた字形で、それぞれの文字の特殊な字形の連なりとみなされる。「文書」では、子音字 <g> <k> と母音字 <o> <u> <ö> <ü>との連なりが典型的な合体字として現れている。

と<o><u>の合体字：頭位、中位、末位で  (bo, bu)

と<ö><ü>の合体字：頭位で  (bö, bü)、中位・末位で  (bö, bü)

<g><k>と<ö><ü>の合体字：頭位で  (gö, gü, kö, kü)、中位・末位で  (gü, kü)

字体：字体はひとつの字形の中のヴァリエントを指す。個人や集団の癖、筆記具の種

類や文字が記される媒体の違い、時代や地方の違いによって様々な字体がありうる。字体の違いは、異なる字形が融合した結果であったり、新たな字形が形成される過程であったり、文字の変化を内含している場合があるため、本書では「文書」のモンゴル文字の字体の違いにも注目した。

字画：モンゴル文字（字形）を構成する線や点の要素。特に次の三つの字画は、母音字の字形を構成する際に用いられるので重要である。右はモンゴル語の名称である。

- ᠠ ačuy (アチョグ) または sidü (シュド)
- ᠰ silbi (シルビ) または urtu sidü (オルト・シュド)
- ᠭ gedesü (ゲデス)

ローマ字転写で用いる若干の記号等について

本書で用いるローマ字転写方式の詳細は「凡例」に示す。ここでは、例の中に現れる記号の意味をまとめておく。

1. 「=」（イコール）は、動詞の語幹と活用語尾の境界を示す。例：ekile=n 「始めて」。
語幹と活用語尾の間に接合母音がある場合は、接合母音の前と後に「=」を付す。例：bol=u=γsan 「成った」、üjegül=ü=n 「示し...」。動詞の語幹と同形の命令形では、「ゼロ語尾」と考えて語幹形の後に「=」イコールだけを付す。例：ab= 「取れ」。
2. 「-」（ハイフン）は、名詞類の曲用語尾が語幹と分綴されている場合の境界、つまり「語幹末スペース」を示す。例：manju-yin 「満洲の（属格）」、bičig-i 「文書を（対格）」。
3. 「+」（プラス）は、名詞類の曲用語尾が語幹と連続されている場合の境界を示す。例：üile+ben 「(自分の) 事を（再帰所属・対格）」、sara+yin 「月の（属格）」。
4. 「_」（アンダースコア）は、ひとつの語が、曲用語尾以外で分綴されている場合の境界、つまり「語中スペース」を示す。その典型的な事例は、母音字 <a> と <e> が語末に位置して、離して書かれる場合である。例：aq_a 「兄」、kür=tel_e 「～まで」等。
また、形容詞形成語尾 tu/tü 「～を持つ」が語幹と分綴される場合もこれに相当するので _tu/_tü と転写する。例：yala_tu 「罪ある」、sedkil_tü 「心を持つ」等。
5. 「'」（アポストロフィ）のついた転写字 (n' γ' q' d' t' ö' ü' 等) は、「'」を除いた文字 (<n> <γ> <q> <d> <t> <ö> <ü> 等) の表記上の変種を表す。主に、古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語と異なる字形に「'」を付している。
その他の記号については、それぞれの字形の項目の説明および凡例の中で説明する。
6. 人名、地名等の固有名詞の語頭を大文字にしている。
7. モンゴル語の例のあとにカッコに入れた数字は出現位置（文書番号と行番号）を示す。例：(4:6)は、「文書4」の「6行目」を表す。
8. 例に付したローマ字転写で、説明のモンゴル文字に該当する部分を赤字で示した。

母音字

「文書」には <a> <e> <i> <o> <u> <ö> <ü> の七つの母音字が現れる。
これらのうち、<o>と<u>の文字、および <ö> と<ü> の文字は、それぞれ字形が完全に同じであるため、<o>と<u>、および <ö>と<ü>の文字を一緒に扱う。

1. 母音字 <a>

頭位形は二つの ačuy (アチョグ) からなる。書き出し (起筆) の部分の形によって

様々な字体が見られる：

例： a**l**a=ba(4:6)「殺した」

 Abay'**a**(15:19)「アバガ(地名)」

中位形は一つの ačuy (アチョグ) からなる：



例： q**a**d(4:2)「ハーン達」

 č**a**'an(16:8)「白い」

末位形は(1)子音字に連なる字形と(2)それ以外の子音字に連なる字形がある。

末位形(1)は子音字に連なる字形である。字画の最後で上にハネる字体と、なめらかに払う字体が見られる：

例： qayirala=**a**(4:9)「愛しんだ」

 alda=**a**(14:2)「失った」

末位形(2)は、以外の子音字に連なる字形で、右に払う角度の違いや、字画の最後

をハネる・ハネないといった字体の違いが見られる：



例： tulad**a**(6:6)「～ために」

 yabu=qu**a**(4:14)「行けば」

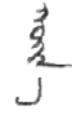
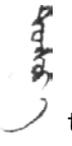
 tulad**a**(39:7)「～ために」

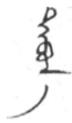
 t**a**(6:3)「汝ら」

分離形は末位形(1)と同じ形で、語中スペースの後に書かれる。線の角度や、書き出しの形によって次のような字体が見られる：



例：  Abay'_a(15:19) 「アバガ」  Qalq_a(4:12) 「ハルハ」

 qoyin'_a(4:6) 「後ろ」  tos=u=y_a(26:5) 「迎えよう」

 Ĵungq_a(10:2) 「ジョンハ(地名)」  tabun'-a(21:5) 「5日に」

最後の例は、位格形であり、語幹末スペースを「-」（ハイフン）で転写している。

2. 母音字 <e>

頭位形は一つの ačuy (アチョグ) からなる。書き出しの形によって、次のような字体が見られる：

例：  ečige(2:2) 「父」  en'e(5:8) 「これ」  ende(36:2) 「ここで」

母音字<e>の中位形と末位形は母音字<a>の中位形と末位形と同じである。

中位形は一つの ačuy (アチョグ) からなる：

例：  mede=ĵü(31:5) 「知って」  ger(15:15) 「家」

末位形には(1)子音字 <k> <g> に連なる字形と(2)それ以外の子音字に連なる字形がある。

末位形(1)は子音字 <k> <g>に連なる：

例：  eči=be(5:2) 「行った」  berke(32:7) 「困難な」

 ečige(4:8) 「父」

末位形(2)は <k> <g>以外の子音字に連なる：

例：  ebde=(20:2) 「損なえ」  eme(33:9) 「妻」

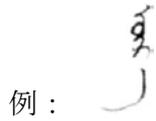


ene(29:2) 「これ、この」

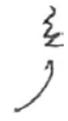


bile(40:10) 「～だった」

分離形は末位形(1)と同じ形で、語中スペースの後に書かれる：



ür_e(4:15) 「子(種)」



es_e(2:5) (否定詞)



ir_e=(23:6) 「来い」



em_e(38:9) 「妻」

3. 母音字 <i>

頭位形は ačuy (アチヨグ) に silbi (シルビ) が連なった字形で、次のような字体が見られる：

見られる：



ire=be(2:4) 「来た」



ire=küi(15:9) 「来ること」



ire=ju(38:29) 「来て」



ilegü(27:11) 「余った」

中位形は silbi (シルビ) だけからなる：



čerig(24:6) 「軍」



bičig(37:6) 「書簡」

末位形は右に膨らんだ弧を描く線である。次のような様々な字体が見られる：



küči(28:3) 「力」



elči(16:8) 「使者」

分離形は末位形と同形で語幹末スペースの後に書かれる。：



例： yabuda1-i(32:2) 「ことを」  qay'an-I(3:3) 「ハーンの」

この字形を取るのは、名詞の対格語尾 -i と、それと同形の属格語尾である。本書では、対格語尾 -i と区別するために属格語尾を-I (大文字) で転写している。

4. 母音字 <o> <u>

母音字の<o>と<u>は全く同じ字形で、これらを表記で区別することはできない。

頭位形は、ačuy (アチョグ) に gedesü (ゲデス) が連なった字形である：

例： ol=qula(7:5) 「見つければ」  oru=qul_a(9:8) 「入れば」

 urida(20:4) 「前」  urida(9:4) 「前」

中位形は gedesü (ゲデス) だけからなる：

例： doγ'uysi(15:2) 「下へ」  say'u=qu(16:4) 「住む」

子音字に連なって合体字  となる。この合体字は、語末にも現れる。

末位形には(1)子音字との合体字と(2)それ以外の子音字に連なる字形がある。

末位形(1) 子音字との合体字：

例： tabu(17:4) 「五」

末位形(2) 以外の子音字に連なる：   

例： Boru(26:2) 「ボロ (人名)」  aduy'u(16:6) 「馬群」

分離形は末位形と同形であるが語幹末スペースの後に書かれる：

例： qay'an-u(10:4) 「ハーンの」  tan-u(43:2) 「汝らの」

この字形を取るのは、名詞の属格語尾 (-u) である。

5. 母音字 <ö> <ü>

母音字の<ö>と<ü>の字形は全く同じで、これらを表記で区別することはできない。

頭位形は、(1)ačuy (アチョグ) と gedesü (ゲデス) と silbi (シルビ) が連なった字形と(2)ačuy (アチョグ) と gedesü (ゲデス) だけの字形がある。古典式モンゴル文語の規範では、<ö>と<ü>の頭位形は(1)のみで、(2)の字形はない。ローマ字転写では、頭位形の(2)の字形を、ö' ü' と転写する。

頭位形(1)は ačuy (アチョグ) と gedesü (ゲデス) と silbi (シルビ) が連なった字形である：

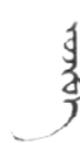
形である： 

例：  ösiy_e(40:6) 「仇」  ög=güsei (5:2) 「与えなさい」

 ülü(4:7) (否定詞)  üge(5:6) 「言葉」

頭位形(2)は、ačuy (アチョグ) に gedesü (ゲデス) が連なった字形で、<o> <u> の

頭位形と同形である： 

例：  ö'rüsiye=jü (3:2) 「愛しんで」  ü'je=be(44:2) 「見た」

中位形には、(1)gedesü (ゲデス) と silbi (シルビ) が連なった字形と(2)gedesü (ゲデス) だけからなる字形がある。古典式モンゴル文語の規範では、(1)は第1音節に、(2)は第2音節以降に現れる字形であるが、「文書」では第1音節に(1)の字形も(2)の字形も現れ、第2音節以降には(2)の字形だけが現れる。ローマ字転写では、第1音節に現れる(2)の字形を ö' ü' と転写する。

中位形(1)は gedesü (ゲデス) と silbi (シルビ) が連なった字形である：

例：  mön(9:6) 「また」  n'ökür(33:9) 「友達」  kümün(33:8) 「人」

中位形(2)は、<o> <u> の中位形と同形である：

例：  dö'rben (15:30) 「四」  tü'si=jü(3:2) 「頼って」

なお、子音字 に <ö> <ü> が連なる場合、第1音節では合体字  となり、第

2音節以降では合体字  となる。

さらに、子音字 <k> <g> に <ö> <ü> が連なる場合、第1音節では合体字  となり、第2音節以降では合体字  となる。合体字  は、語末にも現れる。

末位形は(1)子音字 <k> <g> との合体字と、(2)それ以外の子音字に連なる字形がある。「文書」には子音字 との合体字は末位に現れない。

末位形(1)は子音字 <k> <g> との合体字である：

例： ög=kü (33:8) 「与える」  mönggü(37:4) 「銀両」

末位形(2)は、<o> <u>の末位形(2)と同形である：   

例： ilegegütü(37:5) 「余りの」  ülü(4:7) (否定詞)

分離形は、末位形と同形であるが語幹末スペースの後に書かれる：

例： biden-ü(4:5) 「我々の」  erten-ü(43:3) 「昔の」

この字形を取るのは、名詞の属格語尾 (-ü) である

上述した母音字の字形を代表的な字体で示せば、次のように表すことができる。

表1：「文書」に現れる母音字の字形

	頭位形	中位形		末位形		分離形
		(1)	(2)	(1)	(2)	
a				(1)	(2)	
e				(1)	(2)	
i						
o u						
ö ü	 	(1)	(2)			
						

<a> <e> の末位形(1)は子音字 <k> <g> に連なる (2)はそれ以外の子音字に連なる。

<ö> <ü> の頭位形には、2つの字形が現れる。

<ö> <ü> の中位形(1)は第1音節に書かれる。2つの字形が現れる。

中位形(2)は第2音節以降に書かれる。<o> <u> の中位形と同形。

<o> <u> と <ö> <ü> は、子音字 <k> <g> と結合して次のような合体字となる：

	頭位	中位	末位
bo/bu			
bö/bü			
gö/gü/kö/kü			

子音字

「文書」には< n b q γ k g m l s š t d č j y r ng w ğ >という 19 個の子音字が現れる。

6. 子音字 <n>

古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語では、子音字 <n> は、母音字の前では点をもつ字形が現れるが、それ以外（子音字の前、語末）では点をもたない字形が書かれる。「文書」では、音節頭（母音字の前）では点をもつ形と点をもたない形の両方が現れる。音節末（子音字の前と語末）では点をもたない形だけが現れる。

ローマ字転写では、母音字の前で点をもたない字形を n' と転写する。

頭位形は、ačuy (アチョグ) の左に点をもつ字形と、ačuy (アチョグ) だけからなる（点をもたない）字形の2種類がある。

点をもつ字形：

例： neke=jü(8:3) 「追って」 nige(13:2) 「一」

点をもたない字形：

例： n'oyad (14:6) 「ノヤン達」 n'er_e(3:1) 「名前」

 n'ige(13:2) 「一」

 n'aran(42:7) 「太陽」

中位形も、点をもつ字形と、点をもたない字形がある。

点をもつ字形： 

例：  inaysi(32:10) 「こちらへ」

 qoni-gi(26:8) 「羊を」

点をもたない字形： 

例：  ende(36:2) 「ここに」

 qon'i(15:9) 「羊」

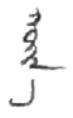
末位形に現れるのは、点をもたない字形だけである。



例：  ün'en(4:3) 「本当」

 dayisun(32:12) 「敵」

語中スペース、語幹末スペースの前にも末位形が書かれる。

 qoyin'_a(4:5) 「後」

 olan'-a(40:2) 「大勢に(位格形)」

ローマ字転写では母音字 <a> <e> の分離形の前で点をもたない形を n' で転写している。

7. 子音字

子音字 の頭位形と中位形は同じ形とみなされる： 

頭位形の例：  basa(6:3) 「また」

 berke(32:7) 「困難な」

 bisi(10:7) 「～でない」

 blam_a(42:9) 「ラマ僧」

中位形の例：  arban(15:3) 「十の」

 ibege=jü(4:9) 「庇護して」

 γ'abiy_a(42:7) 「功績」

 ab=ču(7:3) 「取って」

 **aliba**(30:6) 「どの... も」

 **borbi**(37:7) 「アキレス腱」

子音字 は母音字の <o> <u> <ö> <ü> と連なって合体字となる。

子音字 と <o> <u> の合体字：頭位、中位、末位で  (bo, bu)

例： **boljuγ'an**(36:3) 「約束」

 **yabu=ju**(36:2) 「行って」

 **qabur**(19:3) 「春」

 **tabu**(17:4) 「五」

語頭位置の **bü** が  の字形を取る例が 1 回現れる： **bü'güde**(37:6) 「すべて」

子音字と<ö><ü>の合体字：頭位で  (bö, bü)、中位で  (bü)

頭位の例： **bügüde**(24:2) 「すべて」  **büri**(11:1) 「～毎に」

中位の例： **Sübüdi**(9:1) 「スブディ (人名)」

末位形には   という 2 つの字形が見られる。

例： **jöb'**(42:8) 「正しい」  **jöb**(32:5) 「正しい」

 **ğalab'**(42:7) 「劫」  **ğalab**(14:8) 「劫」

例に見るように、同じ語 (jöb, ğalab) がそれぞれ別の字形で表記されている。

ローマ字転写では、 の字形を **b'** と転写する。

8. 子音字 <q>

子音字 <q> は、音節頭 (母音字の前) に現れる。頭位形と中位形は、子音字 <γ> の字形と同じであり、これらを表記で区別することはできない。子音字 <q> は語中スペースの前に現れることがあり、その場合の字形を「末位形」と呼ぶ。これは子音字 <γ> の末位形と同じ形である。

頭位形には様々な字体が見られる：



例： qan(39:4) 「ハーン」  qola(14:5) 「遠い」

 Qalq_a(43:1) 「ハルハ」

 qay'an(2:2) 「ハーン」

 qariγ'uča=qu(7:2) 「抵抗する」

 qayirala=qula(12:3) 「愛すれば」

中位形は、二つの ačuy (アチヨグ) の左側に二つの点をもつ形と、点をもたない形が見られる：

例： Čaqar(4:3) 「チャハル」  bayaq'an(34:3) 「より多く」

本書では母音字の前で点をもつ形を q' と転写する。

末位形は子音字 <γ> の末位形と同形である：

例： aq_a(15:24) 「兄」  Qalq_a(4:12) 「ハルハ」

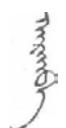
9. 子音字 <γ>

現代モンゴル文語では、子音字の <q> と <γ> は、文字の左側の二つの点の有無によって区別される。「文書」ではこの区別がなく、子音字の <q> と <γ> は同じ形を取り、それらを表記で区別することはできない。

頭位形はすべて点のない形であり、これを γ' で転写する：



例： γ'ar(30:6) 「手」  γ'urba(15:13) 「三」

 γ'ary'a=ba(4:9) 「出させた」

 γ'ajar-a(9:4) 「土地に」

中位形には、二つの ačuy (アチヨグ) の左側に二つの点をもつ形と、点をもたない形が現れる： 

例：  bayil γ a=γsan(20:5) 「やめさせた」  qa γ 'an(3:1) 「ハーン」

 ina γ 'si(42:8) 「こちらへ」

 a γ ta(35:3) 「駟馬」

 činay γ 'si(42:8) 「あちらへ」

母音字の前で点をもたない字形、および子音字の前で点をもつ字形を γ' と転写する。

なお、子音字 $\langle\gamma\rangle$ は、男性語（すなわち母音字 $\langle a \rangle$ $\langle o \rangle$ $\langle u \rangle$ を含む語）に書かれるが、次の 1 例では女性語（母音字 $\langle e \rangle$ $\langle ö \rangle$ $\langle ü \rangle$ を含む語）に書かれている。ローマ字転写では[!]の記号を付した。

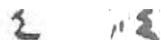
 dege γ si[!](16:5) 「上へ」

末位形はすべて点をもたない形で現れている： 

例：  jarlay(7:1) 「命令」

 joli γ (38:14) 「代替」

語中スペースの前に現れる末位形には点をもたない形と点をもつ形が見られる：



例：  buda γ '_a(23:5) 「食料」

 daya γ _a(30:8) 「二歳の馬」

点をもつ形は上の 1 語だけである。母音字 $\langle a \rangle$ $\langle e \rangle$ の分離形の前で点をもたない形は γ' と転写する。

10. 子音字 $\langle k \rangle$

子音字 $\langle k \rangle$ は音節頭（母音字の前）にのみ現れ、末位形はない。頭位形と中位形はすべて子音字 $\langle g \rangle$ の字形と同じであり、これらを表記で区別することはできない。

頭位形と中位形は同じ形とみなされる： 

頭位形の例： **ken**(14:7) 「誰」  **Kitad**(15:6) 「漢族」

中位形の例： **eken'er**(41:6) 「妻」  **yaki=qu**(8:6) 「どうする」

子音字<k>に母音字 <ö> <ü> が連なる場合、頭位では合体字  となり、中位・末位では合体字  となる。

頭位の例： **kümün**(33:4) 「人」  **köge=ju**(10:7) 「追って」

中位の例： **čidkür**(8:5) 「鬼」  **ire=küle**(30:7) 「来るなら」

末位の例： **ög=kü** (33:8) 「与える」  **kür=kü**(15:7) 「到着する」

語頭位置の kü が  の字形を取る例が2回現れる (kü' と転写する)：

 **kü'r=tügei** (3:5) 「至るがよい」  **kü'ču+ben**(12:5) 「力を」

11. 子音字 <g>

子音字 <g> の頭位形と中位形は子音字 <k> と同じ形で、それらを表記で区別することはできない。

頭位形の例： **ger**(15:14) 「家」  **Gegen**(4:2) 「ゲゲン (ハーン)」

中位形の例： **degel** (7:3) 「衣服」  **Činggis'** (42:1) 「チンギス (ハーン)」

子音字<g>に母音字 <ö> <ü> が連なる場合、頭位では合体字  となり、中位・末位では合体字  となる。

頭位の例： **Güyeng** (5:6) 「グイエン(人名)」  **güiče=gsen**(2:5) 「成し遂げた」

中位・末位の例： bügüde(24:2) 「すべて」 kegüked(30:7) 「子供達」

mönggü(37:4) 「銀両」 degü(42:9) 「弟」

子音字の前の例： tegsi(4:2) 「平らか」 ki=gsen(15:23) 「した」

末位形：

例： bičig(27:1) 「文書」 jüg(38:29) 「方向」

beleg(40:11) 「贈物」

なお、子音字 <g> は女性語（母音字 <e> <ö> <ü> を含む語）に使われるが、「文書」では男性語（母音字 <a> <o> <u> を含む語）にも使われている場合がある。そのような場合、ローマ字転写では[!]の記号を付した。

例： čag+tu[!](2:2) 「時に」 γ'agča[!](33:17) 「一つ」

jarlig[!](1:1) 「命令」

12. 子音字 <m>

子音字 <m> は、ačuy（アチヨグ）の右側に水平から下に向かう字画を加えた形である。頭位形と中位形は同じ形とみなされる。末位形は語中スペースの前にも書かれる。

頭位形：

例： may'ui(2:4) 「悪い」 morda=y_a(6:5) 「出兵しよう」

morda=qu(32:3) 「出兵する」 mön(9:6) 「その」

中位形：



例： amuy'u^lang(2:7)「平安」
 aman(14:2)「口」

末位形はループの形によって次のようにいくつかの字体が見られる：



例： ge=n'em(5:5)「～という」
 gem(4:4)「弊害」

次の例では語中スペースの前に末位形が書かれている：

 em_e(38:9)「妻」
 Badm_a(5:4)「バドマ (人名)」

13. 子音字 <1>

子音字 <1> は、ačuy (アチヨグ) の右側に水平から上にハネる字画を加えた形である。頭位形と中位形は同じ字形とみなされる。末位形は語中スペースの前にも書かれる。

頭位形：



例： labda(22:2)「確かに」
 lang(37:8)「両」

中位形：



例： do^luy'an(24:7)「七」
 a^la=(8:2)「殺せ」

末位形：



例： dege^l(7:3)「服」
 n'igü^l(2:5)「災い」

次の例では語中スペースの前に末位形が書かれている：

 gete^l_e(4:4)「そういっても」
 bayi=ta^l_a(12:5)「～あるのに」

orki=l_ügei(13:4) 「捨てずに」

yal_a(4:5) 「罪」

14. 子音字 <s>

子音字の <s> の頭位形と中位形は同形とみなすことができる。

頭位形・中位形：

頭位形の例： sayin(4:4) 「よい」

Sečen(21:5) 「セチェン (ハーン)」

中位形の例： esergüle=be(4:7) 「抵抗した」 bos=ču(30:10) 「蜂起して」

末位形には2種類の字形がある。それらはいずれも語中スペースの前にも現れる。

末位形(1)：

例： ulus'(14:3) 「人々」 ulus'(31:9) 「人々」 es'_e(15:3) (否定詞)

ローマ字転写では、末位形(1)の字形を s' と転写する。

末位形(2)：

例： jobkis(1:1) 「方位」

es_e(2:5) (否定詞)

15. 子音字 <š>

古典式モンゴル文語では、子音字 <š> は文字の右側に2つの点を付すことによって子音字 <s> と区別される。「文書」では、子音字 <š> は頭位では点が付されず、子音字 <s>と同じ形で現れる。「文書」に末位形は現れない。

頭位形：

例： šasin(42:7) 「宗教」

šajin-i(39:5) 「宗教を」

中位形は右側に2つの点が付いた形で現れる：

例： Tangšai(29:01) 「タンシャイ (人名)」

16. 子音字 <t>

子音字 <t> は、音節頭（母音字の前）にのみ現れ、末位形はない。頭位形と中位形は子音字 <d> と同じ字形であり、これらを表記で区別することはできない。

頭位形：

右の字体は、満洲文字の字形を思わせる。tere「その」という語に多く見られる。

例： tngri(4:3)「天」 tere(33:21)「その」

中位形：

例： itegeltü(4:11)「信頼すべき」 ab=tuy'ai(38:17)「取るがよい」

接尾辞頭の字形とローマ字転写：

(1)形容詞形成語尾  のローマ字転写

名詞に接尾辞 tu/tü がついて「～をもつ」という意味の形容詞がつけられる。この語尾は語幹から離して書かれる場合（分綴）には  という形で、語幹に連ねて書かれる場合（連綴）には  という形で現れる。

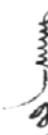
形容詞形成語尾（「～をもつ」の意）が分綴される場合、ローマ字転写では、字形を区別するために、 を _tu/_tü と転写し、 を _t'u/_t'ü と転写する。ローマ字転写で「_」（アンダースコア）を用いるのは、これが曲用語尾でなく、ひとつの単語を「語中スペース」で分けて綴っているとみなしていることによる。

 の例：

 sedkil_tü(4:2)「心を持つ」

 yala_tu(15:9)「罪ある」

 の例：

 tamay'_a_t'u(41:3)「印璽を持つ」

 emege1_t'ü(41:6)「鞍を持つ」

(2)与位格語尾  のローマ字転写

与位格語尾（「～に、～へ、～で」の意）は、古典式モンゴル文語および現代モンゴル語の規範に準じて、子音字 <d> <g> <y> <r> <s> で終わる語幹に付く場合は、

接尾辞頭の子音は <t> とみなす。<t> の文字が  の字形である時は <t> で転写し、 の字形である時は <t'> で転写する。

例：

 γ'ajar-**t**u(4:11) 「地に」

 qon'uy-**t'**u(41:4) 「宿泊に」

 ger-**t**ü(15:15) 「戸に」

 čerig-**t'**ü(12:6) 「軍に」

 ulus'-**t**ur(43:7) 「国に」

 ulus'-**t'**ur(43:2) 「国に」

 жүг-**t**ür(38:31) 「方角に」

17. 子音字 <d>

子音字 <d> は、音節頭（母音字の前）に現れる場合、子音字 <t> と同形である。

頭位形： 

右の字体は、満洲文字の字形を思わせる。dügüreng と Dung という語（いずれも人名）に多く見られる。

例： Sün^**d**ügüreng(30:1) (人名)

 Dung^**D**ayičing(30:2) (人名)

 **d**oluy'an(21:3) 「七」

中位形には、(1)音節頭（母音字の前）に現れる字形と(2)音節末（母音字の後、子音字の前）に現れる字形がある。

中位形(1)は、音節頭（母音字の前）に現れる：



例： adali (3:3) 「同じ」

 degedü (40:7) 「上の」

中位形(2)は、子音字の前に現れる。gedesü（ゲデス）と ačuy（アチョグ）が連なった形である：



例： üdter(10:10) 「直ちに」

 sedkil(3:6) 「心」

末位形には2種類の字形がある。

末位形(1)：



例： qad(4:2) 「ハーン達」

 n'oyad(16:3) 「ノヤン達」

末位形(2)は少数の単語に書かれる字形である：



例： eD(43:7) 「財」

末位形(2)はこの単語に1回だけ現れる。これをD（大文字）で転写する。

与位格語尾頭の字形とローマ字転写：

与位格語尾  のローマ字転写

与位格語尾（「～に、～へ、～で」の意）は、古典式モンゴル文語および現代モンゴル語の規範に準じて、母音字および子音字 <l> <m> <n> <ng> で終わる語幹に付く場合、接尾辞頭の子音は <d> であるとみなす。<d> の文字が  の字形である時は、<d> で転写し、 の字形である時は <d'> で転写する。

例：

 morin-du(41:7) 「馬に」

 qay'an-d'u(4:10) 「ハーンに」

 segül-dü 「尾に」

 ügen-d'ü 「言葉に」

 Qalq_a-dur(46:3) 「ハルハに」

 ĵaq_a-d'ur 「境界に」

 ü_r_e-dür(41:5) 「子孫に」

 tngri-d'ür 「天に」

18. 子音字 <č>

子音字 <č> は音節頭（母音字の前）にのみ現れ、末位形はない。

現代モンゴル文語では、子音字 <č> の頭位形と中位形は、左側の字画が角ばってて (𐠣)、子音字 <ĵ> の中位形は、左側の字画に角が無い (𐠤) ことが二つの文字を区別する「弁別的特徴」となっている。「文書」では、子音字 <č> の頭位形と中位形に両方の形が現れる。

頭位形と中位形の字体：



頭位形の例： čerig(4:8) 「軍」  čerig(26:9) 「軍」  čay'aĵa(38:3) 「法」

中位形の例： bičig(47:2) 「文書」  bičig(31:1) 「文書」

 Qorčin(5:1) 「ホルチン」  Qaračin(30:4) 「ハラチン」

19. 子音字 <ĵ>

子音字 <ĵ> は、音節頭（母音字の前）にだけ現れる。語中スペースの前に現れるのは ĵ_a 「～だろう」という 1 語（8 例）だけである。

頭位形は silbi（シルビ）の形である：

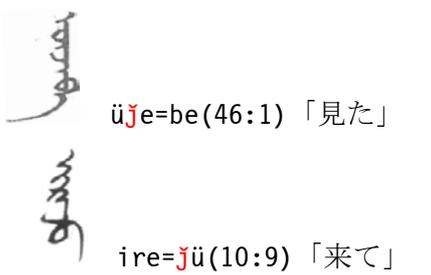
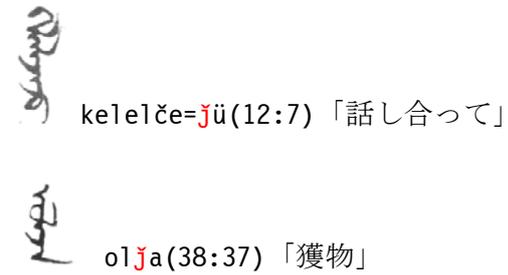
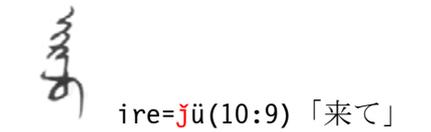


例： ĵarlay(38:1) 「命令」



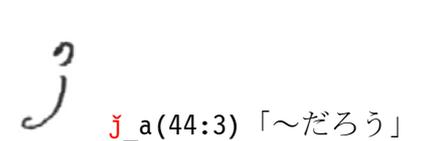
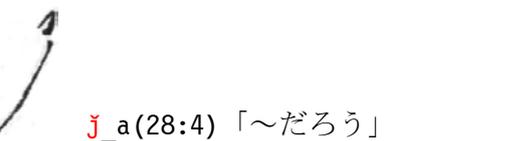
 ĵil-ün(16:1) 「年の（属格形）」

中位形は子音字 <č> の中位形と同じだが、左側の字画が L 字形に角ばっている字体は見られない：

例： üjē=be(46:1) 「見た」
 kelelče=ǰü(12:7) 「話し合って」
 ire=ǰü(10:9) 「来て」
 olǰa(38:37) 「獲物」

末位形：

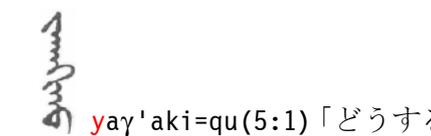
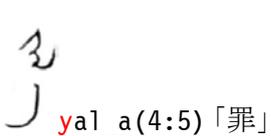
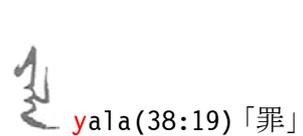
次の語では、子音字 <ǰ> が 1 字だけで語中スペースの前に現れる。左側の字体は、子音字 <y> の末位形と同形であるが、右側の字体は子音字 <ǰ> の頭位形が中断しているように見える。

例： ǰ_a(44:3) 「～だろう」
 ǰ_a(28:4) 「～だろう」

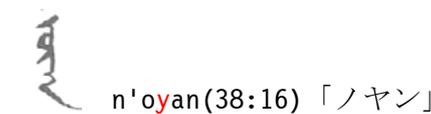
20. 子音字 <y>

子音字 <y> は、音節頭（母音字の前）にのみ現れる。語中スペースの前に現れる場合は末位形となる。

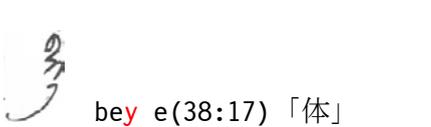
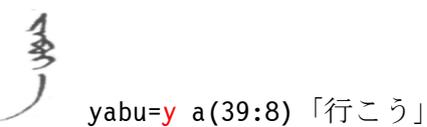
頭位形には 2 種類の字体が見られる。ひとつは、silbi（シルビ）で、もうひとつはその先端が上にハネている形である：

例： yāy'aki=qu(5:1) 「どうする」
 ya_l_a(4:5) 「罪」
 yala(38:19) 「罪」

中位形は頭位形と同形であるが、先端がハネている字体は見られない：

例： n'oyan(38:16) 「ノヤン」
 eyin(39:8) 「このように」

末位形は、語中スペースの前に書かれる：

例： bey_e(38:17) 「体」
 yabu=y_a(39:8) 「行こう」

21. 子音字 <r>

子音字<r>は語頭位置に立つことがなく、中位形と末位形だけが現れる。末位形は語中スペースの前にも現れる。

中位形：

例： bari=ju(38:14) 「捕えて」
 jarlay(38:1) 「命令」

末位形：

例： qoyar(38:21) 「二」
 qoyar(9:1) 「二」

 üre(3:3) 「子供」
 yaJar-a(9:4) 「土地に」

最後の2例では、語中スペースの前に末位形が書かれている。

22. 子音字 <ng>

子音字 <ng> の字形は子音字 <n> と子音字 <g> の連なった形である。音節頭（母音字の前）には立たず、頭位形はない。

中位形：

例： engke(2:7) 「平安な」
 tengri(3:7) 「天」

末位形：

例： amuy'ulang(39:1) 「平和」
 Dungaldayicing(30:2) (人名)

23. 子音字 <w>

「文書」では、子音字 <w> は中位形としてのみ現れる。

中位形 

例： tawar(43:7)「財」

 suwasdi(39:1)「繁栄」

24. 子音字 <ḡ>

子音字 <ḡ> の字形は、子音字 <k> <g> の字形と同じである。頭位形と中位形が現れ、それらは同じ形である。

頭位形・中位形は母音字 <a> が連なって合体字となる： (ḡa)

例： ḡalab'(42:7)「劫」

 mangḡalam(40:11)「マンガラム(吉祥成就)」

子音字の字形は、次の表のようにまとめることができる。

表3 : 「文書」に現れる子音字の字形

	頭位形	中位形	末位形
n			
b			
q γ			
k g			
m			
l			
s			
ʃ			
t			
d		(1)	
		(2)	
č			
j			
y			
r			
ng			
w			
ǰ			

(注) 子音字 <d> の中位形(1)は母音字の前に現れ、(2)は子音字の前に現れる。
 子音字 <j> の末位形は、j_a「~だろう」という単語だけに現れる。
 子音字 <w> の頭位形は「文書」には現れない。

冠頭記号、句読点（カッコ内の数字はそれらが書かれている文書番号）

冠頭記号は、文章の始まりを表す。単純な丸と、渦を巻いた形がある。単純な丸はローマ字転写の中で「○」とし、渦を巻いた形は「◎」とする。

単純な丸の例： ○ (8) ◎ (37)

渦を巻いた形の例： ◎ (3) ◎ (4) ◎ (40) ◎ (44) ◎ (45)

◎ (46) ◎ (47) ◎ (33) ◎ (41) ◎ (42)

二点は、文の切れ目を表す。ローマ字転写の中で二点を「..」とした。

例： .. (1) .. (5) .. (7) .. (11)

四点は、文章の終わりを表す。ローマ字転写の中で二点を「::」とした。

例： :: (6) :: (11) :: (40) :: (45)

「文書」における表記のゆれについて

ここでは「文書」のモンゴル文語における表記のゆれについて検討する。

表記のゆれは、同じ形式（語や語尾）に対して異なった表記が併存している状態である。「文書」の中には、このような表記のゆれが少なくない。表記の違いは、具体的には、同じ文字の字形が異なる場合と、同じ語の綴り、つまり語を構成する文字の一部が異なる場合がある。ここでは、「文書」のモンゴル文語の表記の違いを次のように分類して、順に検討する。

1. 字形のゆれ
2. 分綴と連綴のゆれ
3. 語幹の表記のゆれ
4. 文法的語尾の表記のゆれ

1. 字形のゆれ

「文書」では、次のモンゴル文字に字形のゆれが見られる。

- (1) 母音字 <ö> <ü> の字形
- (2) 子音字 <n> の字形
- (3) 子音字 の字形
- (4) 子音字 <q> の字形
- (5) 子音字 <γ> の字形
- (6) 子音字 <s> の字形
- (7) 子音字 <y> の字形

以下、これらを順に検討する。

(1) 母音字 <ö> <ü> の字形のゆれ

「文書」では、母音字 <ö> <ü> は語の第1音節に次の4種類の字形が現れる。それぞれの字形が現れる位置と用いられている回数を表1. に示す。

表1. 第1音節における母音字<ö> <ü>の字形

	語頭の字形		語頭の子音字に連なる字形	
	(1)	(2)	(3)	(4)
<ö> <ü>				
出現回数	167回	6回	185回	11回

古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語では、母音字 <ö> <ü> は語の第1音節に(1)と(3)の字形が書かれ、(2)と(4)の字形は用いられない。表1. に見るように、「文書」の字形の大多数は(1)と(3)の字形であり、(2)と(4)の字形が現れる回数は少ない。

ローマ字転写では、(2)と(4)の字形を ö' ü' で転写する。

語頭の字形の例：

	の字形：		の字形：	
	örüsüye=jü (14:8)		ö'rüsüye=jü (3:2)	「愛しんで」
	ösiy_e (40:6)		ö'siy_e_t'ü(43:3)	「仇がある」
	üje=be (45:2)		ü'je=be 1回 (44:2)	「見た」

語頭の子音字に連なる字形の例：

	の字形：		の字形：	
	dörben (1:1)		dö'rben (15:24)	「四」
	Dörben^kegüked (30:3)		Dö'rben^kegüked (26:7)	「四子」
	bügüde (9:6)		bü'güde (37:6)	「すべて」
	kür=tügei (14:4)		kü'r=tügei (3:5)	「到着するがよい」

	t̄usi=gsen(45:2) 「頼った」		t̄ü'si=jü (3:2) 「頼って」
	T̄üsiy_e_t̄ü^qay'an(15:1)		T̄ü'siy_e_t̄ü^qay'an(16:2) 「トシェート・ハーン」
	T̄üsiyetü^qay'an(39:2)		T̄ü'siyetü^qay'an(19:1) 「トシェート・ハーン」

(2) 子音字 <n> の字形のゆれ

「文書」では、子音字 <n> は音節頭（母音字の前）で点を持つ字形と点を持たない字形が現れる。音節頭に現れる子音字 <n> のうち、点を持つ字形は 61 回、点を持たない字形は 433 回現れる。

ローマ字転写では、音節頭の <n> に点が付かない字形を n' と転写する。

点を持つ字形（61 回）：

点を持たない字形（433 回）：

	nige (27:8)		n'ige (13:2)	「一」
	bayi=nam(43:2)		bayi=n'am (5:7)	「ある」
	činay'si (42:8)		čin'aysi (39:7)	「そちらへ」

	čini (32:3)		čin'i (35:4)	「汝の」
	činü (45:1)		čin'ü (44:2)	「汝の」
	-d'üni (33:17)		-d'ün'i (37:4)	「～に」
	ene (29:2)		en'e (4:15)	「この」
	ge=nem (26:4)		ge=n'em (5:3)	「～と言う」
	unu=ju (30:8)		un'u=ju (15:9)	「乗って」
	unu=qu (29:2)		un'u=qu (35:3)	「乗る」
	ün'en (3:6)		ün'en (46:2)	「真実」

(3) 子音字 の字形のゆれ

「文書」では、子音字 の末位形に  と  という 2 種類字形が見られる。ローマ字転写では、 の字形を b' と転写する。

 の例 (13 回) :

 j**öb** (32:5)

 の例 (2 回) :

 j**öb'** (42:8) 「正しい」



qalab(14:8)



qalab'(42:7) 「劫」

(4) 子音字 <q> の字形のゆれ

子音字 <q> は、頭位形、中位形、中絶末位形が現れる。ほとんどの字形で点を持たないが、中位形で点を持つ形が 1 回だけ現れる。ローマ字転写では、点を持つ <q> を q' で転写する。

点を持たない形：



bay'aqan (4:9)

点を持つ形 (1 回)：



bayaq'an (34:3) 「いささか」

(5) 子音字 <y> の字形のゆれ

子音字 <y> は点を持つ形と点を持たない形が現れる。「文書」の中で、点を持つ字形は 7 回、点を持たない字形は 772 回現れる。点を持つ形は母音字 <a> の前に 5 回、子音字の前に 2 回現れる。ローマ字転写では、母音字の前で点を持たない字形、および子音字の前で点を持つ字形を y' で転写する。

1)母音字 <a> の前：

点を持つ形 (5 回)：



bayilya=ysan(20:5)
「止めさせた」

点を持たない形：



bayily'_a=(28:02)
「止めさせろ」



bayilya=ba (20:6)
「止めさせた」



bolya=ji (40:8) 「成らせて」



bol'y'a=ba(3:3) 「成した」



bayaq'an(34:3)



bay'aqan(4:9) 「いささか」



dayay_a(30:8) 「二歳の馬」

2)子音字の前

点を持たない形:

 čin'aγsi (39:7)

 inaγsi(32:10)

点を持つ形 (2回):

 činaγ'si (42:8) 「そちらへ」

 inaγ'si(42:8) 「こちらへ」

(6) 子音字 <s> の字形のゆれ

子音字 <s> の末位形には  と  の2種類の字形が現れる。いずれの字形も語中スペースの前にも現れる。ローマ字転写では、 の字形を s' と転写する。

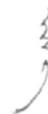
 の字形 (59回):

 ulus' (14:3) 「人々」

 es'_e(15:3)

 の字形 (2回):

 jobkis(1:1) 「方位」

 es_e(2:5) 「(否定詞)」

(7) 子音字 <y> の字形のゆれ

子音字 <y> には、2種類の字形が見られる。ひとつは、silbi (シルビ) で、もうひとつはその先端が上にハネている形である。先端が上にハネている字形は8回であるのに対し、silbi (シルビ) の字形 (まっすぐな線) は911回現れる。

先端をハネる字形 (8回):

 yala (38:19)

 yabu=(7:3)

silbi (シルビ) と同じ字形:

 yala (32:11) 「罰」

 yabu=(32:12) 「行け」

 yabu=ba(29:1) 「行った」

 yabu=basu(2:5) 「行けば」

 ayan(37:1)

 ayan(35:4) 「旅」

 Yangsimu (23:6) 「ヤンシモ(地名)」

 Bayari (30:2) 「バヤリ(人名)」

2. 分綴と連綴のゆれ

「文書」では、ひとつの単語に対して、語中スペースを入れて分綴する表記と、語中スペースを入れずに連ねて綴る表記が両方用いられる場合がある。分綴と連綴の交替として、次のような場合がある。

- (1) 語末の母音字 <a> <e> の分綴と連綴
- (2) 形容詞形成接尾辞 tu/tü の分綴と連綴
- (3) 曲用語尾の分綴と連綴

(1) 語末の母音字 <a> <e> の分綴と連綴

語末に位置する母音字 <a> <e> は、それに先行する子音字から離して書かれる場合（分綴）と、続けて書かれる場合（連綴）がある。語末の母音字 <a> <e> が分綴されるか、連綴されるかを先行する子音字ごとに見ると次の通りである。

表 2. 語末の母音字 <a> <e> の分綴・連綴

先行する子音字	<m>	<l>	<r>	<n>	<s>	<q>	<γ>
連 綴	3	136	38	33	40	2	1
分 綴	12	16	64	16	23	27	65

1) 子音字 <m> が先行する場合

連綴 (3回) :

 eme (33:8)

分綴 (12回) :

 em_e(6:2) 「女」

2) 子音字 <l> が先行する場合

連綴 (136回) :

 ya1a (4:7)

分綴 (16回) :

 ya1_a (4:5) 「罰」

次の語は現代モンゴル語では連綴される語が、「文書」では連綴も分綴も見られる。

連綴 :

 čo1a (29:1)

分綴 :

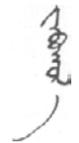
 čo1_a (29:3) 「称号」

条件副動詞語尾の末尾の母音字<a> <e>も、分綴される場合と接続される場合がある。

連綴 (129回) :

 yabu=qu1a (3:4)

分綴 (7回) :

 yabu=qu1_a (10:5) 「行けば」

 ebde=kü1e (14:6)

 ebde=kü1_e (4:16) 「壊せば」

 bayi=ta1a (15:11)

 bayi=ta1_a (12:5) 「有ったのに」

限界副動詞語尾の末尾の母音字<a> <e>も、分綴される場合と接続される場合がある。

連綴 (15回) :

 ge=tele (15:26)

分綴 (6回) :

 ge=tel_e (4:4) 「～であるが」

3) 子音字 <r> が先行する場合

連綴 (38回) :

 sara (17:3)

分綴 (64回) :

 sar_a (14:2) 「月」

ire= (19:3)

ir_e=(15:9) 「来い」

次の語は、現代モンゴル語では連続される。「文書」では、連続される表記が 29 回、分綴される表記は 5 回現れる。

連続 (29 回) :

tere(2:3)

分綴 (5 回) :

ter_e(10:3) 「その」

4) 子音字 <n> が先行する場合

連続 (33 回) :

qoyin'a(6:5)

分綴 (16 回) :

qoyin'_a(4:5) 「後」

分綴される 16 回の中には、位格語尾の -a が 2 回が含まれている。

5) 子音字 <s> が先行する場合

連続 (23 回) :

basa(5:8)

分綴 (40 回) :

bas'_a(4:9) 「また」

ese(6:4)

es'_e(2:5) 「(否定詞)」

6) 子音字 <q> が先行する場合

連続 (2 回) :

Qalqa(26:4)

分綴 (27 回) :

Qalq_a(4:7) 「ハルハ」



aq(27:7)



aq_a(32:2)

「兄」

7) 子音字 <γ> が先行する場合

連綴 (1回) :

分綴 (65回) :



ulay'a(41:5)



ulay'_a(15:9)

「駅伝の馬」

(2) 形容詞形成接尾辞 tu/tü の分綴と連綴

名詞に接尾辞 tu/tü がついて「～をもつ」という意味の形容詞がつくられる。この語尾は語幹から離して書かれる場合（分綴）と、語幹に連ねて書かれる場合（連綴）がある。「文書」では、分綴される場合が 29 回、連綴される場合が 17 回現れる。この接尾辞の子音字 <t> は、分綴される場合には  と  の両方の字形が使われる。連綴される場合の字形は  である。

表 3. 形容詞形成接尾辞の分綴・連綴と字形

分 綴		連 綴
		
25 回	4 回	17 回

連綴される 17 回のうち、固有名詞の中に使われているものが 12 回ある。

分綴 (29回) :

連綴 (17回) :



yala_tu(15:9)



yalatu(33:17)

「罪を持つ」



ilegü_tü(23:2)



ilegütü(24:3)

「多く持つ」

Handwritten vertical text in Arabic script, likely a list of words or phrases corresponding to the entries on the right.

Tüsiy_e_tü^qay'an(39:2)

Tüsiyetü^qay'an (14:1)
「トシェート・ハーン」

Biruy'u_tu^qangγ'an(38:5)

「ビロート・ハンガン」

emege1_t'ü(41:6) 「鞍を持つ」

erden'i_tü(39:8) 「宝を持つ」

Γ'al_tu^bay'atur (16:3) 「ガルト・バートル (人名)」

sedki1_tü (4:2) 「心を持つ」

tamay'_a_t'u (41:3) 「印璽を持つ」

(3) 曲用語尾の分綴と連綴

「文書」では、若干の名詞の曲用語尾（格語尾、所属語尾）においても、語尾が語幹から分綴される場合と、語幹に連綴される表記が併存している。そうした曲用語尾における表記のゆれを、次の場合に分けて検討する。

- 1) 属格語尾  と  の表記
- 2) 対格語尾  の表記
- 3) 与位格語尾  と  の表記
- 4) 造格語尾  の表記
- 5) 再帰所属・対格語尾  の表記
- 6) 再帰所属・位格語尾  と  の表記

- 1) 属格語尾  と  の表記

「文書」では、属格語尾の  と  は、語幹から分綴される場合と語幹に連綴される場合がある。属格語尾の  は、対格語尾と同形である。

属格語尾  (-yin/+yin)

ローマ字転写では、属格語尾  が分綴される場合には -yin と転写し、連綴される場合には +yin と転写する。分綴される表記は 93 回、連綴される表記は 5 回現れる。

分綴 (93 回) :

 törü-yin(42:8)

 sara-yin(17:3)

連綴 (5 回) :

 törü+yin(40:6) 「道の」

 sara+yin(19:5) 「月の」

属格語尾  (-I/+I)

属格語尾  を同じ字形の対格語尾と区別するため、ローマ字転写では分綴される場合 -I と転写し、連綴される場合 +I と転写する。分綴される表記は 110 回、接続される表記は 16 回現れる。

分綴 (110 回) :

 biden-I(9:7)

連綴 (16 回) :

 biden+I(43:5) 「我らの」

	tan-I(11:4)		tan'+I(13:3)	「汝らの」
	tegün-I(12:4)		tegün'+I(14:6)	「彼の」

2) 対格語尾  の表記

対格語尾  は、分綴される場合もあり、連綴される場合もある。分綴される表記は 128 回、連綴される表記は 10 回現れる。

ローマ字転写では、分綴される場合 -i と転写し、連綴される場合 +i と転写する。

分綴 (128 回) :

連綴 (10 回) :

	egün-i(34:2)		egün'+i(5:1)	「これを」
	mal-i(5:1)		mal+i(33:17)	「家畜を」
	tan-i(9:8)		tan+i(31:8)	「汝らを」
	tegün-i(26:6)		tegün+i(8:6)	「彼を」

3) 与位格語尾  と  の表記

「文書」では与位格語尾の  と  は分綴される形であり、連綴される場合には  と  という形で現れる。与位格語尾の  は、形容詞形成接尾辞  と同形である。

与位格語尾  

与位格語尾  は 147 回現れて分綴され、 は 8 回現れて連綴される。

表 4. 与位格接尾辞   の分綴・連綴

分綴	連綴
	
147 回	8 回

分綴（ㇿ）の例：

 tus-tu(18:1)

 may'u-d'u(38:20)

連綴（ㇾ）の例：

 tus+tu(4:11) 「当主に」

 may'u+du(33:6) 「悪いことに」

与位格語尾 ㇿ ㇾ

与位格語尾 ㇿ は3回現れ分綴される、ㇾ は2回現れ接続される。

表5. 与位格接尾辞 ㇿ ㇾ の分綴・連綴

分綴	連綴
ㇿ	ㇾ
3回	2回

分綴（ㇿ）の例：

 sin'e-d'e(38:47)

連綴（ㇾ）の例：

 sin'e+de(38:2) 「初～日に」

4) 造格語尾 ㇿ の表記

造格語尾 ㇿ は、分綴される場合もあり、連綴される場合もある。ローマ字転写では分綴される場合 -bar/-ber と転写し、連綴される場合 +bar/+ber と転写する。分綴される表記は16回、接続される表記は6回現れる。

分綴（16回）：

 yosu-bar(38:35)

連綴（6回）：

 yosu+bar(32:12) 「道理によって」

čay'aĵa-**bar**(15:6)čay'aĵa+**bar**(37:3) 「法によって」

5) 再帰所属・対格語尾 の表記

再帰所属・対格語尾 は、分綴される場合もあり、連綴される場合もある。ローマ字転写では分綴される場合 -ban/-ben と転写し、連綴される場合 +ban/+ben と転写する。分綴される表記は 10 回、接続される表記は 11 回現れる。

分綴 (10 回) :

連綴 (11 回) :

aduy'u-**ban**(26:9)aduy'u+**ban**(15:12) 「自分の馬を」üge-**ben**(46:2)üge+**ben**(4:11) 「自分の言葉を」

6) 再帰所属・位格語尾 と の表記

再帰所属・位格語尾 と は、分綴される場合もあり、連綴される場合もある。
 は、分綴されて 4 回現れる。 は、分綴されて 4 回、連綴されて 2 回現れる。
 は、語幹末の文字が <i> <l> <n> で終わる語についているので -d'egen (4 回) と転写する。 は、分綴される場合 -degen (4 回)、連綴される場合 +degen (2 回) と転写する。

分綴 (8 回) :

連綴 (2 回) :

ügen-**d'egen**(4:14)ügen+**degen**(28:4) 「自分の言葉に」törül-**d'egen**(34:1)törül+**degen**(40:7) 「自分の世に」



ügen-**degen** (11:3) 「自分の言葉に」

3. 語幹の表記のゆれ

「文書」では同じ単語に異なった表記がされている場合が少なくない。ここでは、語尾の部分を除いて、語幹の表記のゆれについて検討する。語幹の表記のゆれを、異なった母音字が書かれている場合、母音字1字が脱落している場合、異なった子音字が書かれている場合に分けて例示する。

次の語では、同じ単語で母音字1字が異なっている：



tab**du**γ'ar(15:30)



tab**da**γ'ar(21:5) 「第五の」



elči(6:2)



ilči(1:2) 「使者」



kü**č**i(20:5)



kü**č**ü(43:7) 「力」



n'ij**e**ged(15:4)



n'ij**i**ged(37:4) 「一つずつ」



boljuγ'**a**n(36:3)



boljuγ'**u**n(19:4) 「約束」

次の語では、母音字1字の有無が表記の違いとなっている：



as**γ**'ulča=ju (42:8)



asqulča=ji (39:8) 「伺い合う」



tngri (2:3)



tengri (3:5)

「天」



morda=qu (15:2)



morida=qu (26:8)

「出兵する」

次の語は、表記の違いに異なった子音字が含まれている



tabar (43:4)



tawar (43:7)

「物」



boljuy'an (36:3)



boljiyan (15:5)

「約束」



bosqay'ul (15:14)



bosqul (33:2)

「逃亡者」



jisiy_a (14:9)



jisiyaG'_a (38:2)

「割当」



sidam (6:1)



siddam (42:1)



čiddam (40:1)

「成就」



šasin (42:8)



šajin (39:5)

「宗教」

4. 文法的語尾の表記のゆれ

「文書」では、名詞の格語尾や動詞の活用語尾に、複数の異なった表記が現れることがある。このように文法的語尾が交替する現象には、次のようなものがある。

- (1) 属格語尾の交替
- (2) 対格語尾の交替
- (3) 並列副動詞語尾の交替
- (4) 完了形動詞語尾の交替

(1) 属格語尾の交替

属格語尾の交替には 2 種類がある。ひとつは、子音字<n>で終わる語幹に付く語尾の交替であり、他はそれ以外の（語幹が母音字あるいは<n>以外の子音字で終わる）語幹に付く語尾の交替である。

1) 子音字 <n> で終わる語幹に付く属格語尾

「文書」では、子音字<n>で終わる語幹に、**の** **ウ** **ウ** **え** という 4 種類の属格語尾が現れる。古典式モンゴル文語や現代モンゴル語の規範では、子音字 <n> で終わる語幹に付く属格形語尾は **の** だけであるが、「文書」ではこれに加えて **ウ** が多く用いられているのが特徴である。4 種類の語尾の出現回数は次のとおりである。

表 5. 子音字 <n> に終わる語幹に付く属格語尾

子音字 <n> に終わる 語幹に付く属格語尾	の	ウ	ウ	え
出現回数	47	129	1	1

ローマ字転写では、属格語尾の **ウ** を、対格語尾 -i と区別して -I と転写する。また、**え** は、母音字で終わる語幹に付く場合 -yin と区別して、-Yin と転写する。

語尾 **の** の例：

Bay'arin-u (5:3)

biden-ü(4:5)

語尾 **ウ** の例：

Bay'arin-I (12:6)「バーリンの」

biden-I (9:7) 「我々の」

	kümün- ü (39:8)		kümün- I (1:1)	「人の」
	qay'an- u (7:1)		qay'an- I (2:5)	「皇帝の」
	tan- u (43:2)		tan- I (11:4)	「汝の」
	tegün- ü (4:5)		egün- I (12:4)	「彼の」

語尾 -ni の例 :

 tegün-**ni** (8:2) 「彼の」

語尾 -Yin の例 :

 čin'un-**Yin** (17:2) 「チノンの (川)」

2) <n> 以外の子音字で終わる語幹に付く属格語尾  

古典式モンゴル文語と現代モンゴル文語では、属格語尾は <n> 以外の子音字で終わる語幹には、 という語尾が、母音字で終わる語幹には  という語尾が付く。これに対して「文書」では、<n> 以外の子音字で終わる語幹に  と  の両方の語尾が使われている。 は 59 回、 は 47 回現れる。ローマ字転写では、 が母音字で終わる語幹に付く場合の -yin と区別して、子音字に付く場合を -Yin と転写する。

4 の例 :

ayil-un(15:13)

bosqay'u1-un(15:17)

čaqar-un(3:1)

čerig-ün(23:5)

γ'aǰar-un(2:3)

iǰay'ur-un(41:5)

Ĵaray'ud-un(5:4)

ĵasay-un(15:2)

1 の例 :

ayil-Yin(38:21) 「戸の」

bosqu1-Yin(25:1) 「逃亡人の」

čaqar-Yin(31:3) 「チャハルの」

čerig-Yin(19:4) 「軍の」

γ'aǰar-Yin(44:3) 「土地の」

iǰay'ur-Yin(13:3) 「元の」

Ĵaray'ud-Yin(30:5) 「ジャラゴドの」

ĵasay-Yin(38:39) 「ジャサクの」

(2) 対格語尾の交替

古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語では、対格形語尾は、母音字で終わる語幹には語尾 **ᠤ** (-yi) が付き、子音字で終わる語幹には語尾 **ᠤ** (-i) が付く。「文書」においても、これと同様の傾向がみられるが、母音字で終わる語幹には、それ以外にも **ᠤ** (-gi)、および語幹に接続した **ᠤ** (+i)、それらの組み合わせも見られる。

1) 母音字で終わる語幹に付く対格語尾

	yala- yi (15:7)		yala- gi (15:7)	「罪を」
	yala+ i_yi (12:7)		yala+ i_gi (38:38)	「罪を」
	üge- yi (10:9)		üge+ i_gi (19:4)	「言葉を」
	čay'aĵa- yi (16:6)		čay'aĵa+ i_yi (37:1)	「法を」

2) 子音字で終わる語幹に付く対格語尾

	qoyar- i (15:11)		qoyar+ i_gi (32:6)	「二人を」
	man'+ i (5:1)		man'+ i_gi (32:7)	「我らを」

 tan-i (9:8)
  tan+i_yi (10:7)
  tan+i (31:8) 「汝等を」

(3) 並列副動詞語尾の交替

「文書」では、動詞の副動詞語尾として、 (=ju/=jü/=ču/=čü) と  (=ji/=či) が現れる。 は 266 回、 は 55 回現れる。

 の例：

 ala=ju (7:2)

 bari=ju (2:5)

 kür=čü (4:14)

 の例：

 ala=ji (8:6) 「殺して」

 bari=ji (33:8) 「捕まえて」

 kür=či (15:6) 「着いて」

(4) 完了形動詞語尾の交替

男性語の動詞語幹に付く完了形動詞語尾で子音字 <γ> と <g> が混用されている場合がある。多くの場合、男性語の語幹には語尾 =γsan が書かれるが、稀に =gsan が書かれている場合がある。男性語の動詞語幹に =gsan が付く例は 3 回現れる。

語尾=γsan の例：

 qayirala=γsan (4:14)

 son'us=u=γsan (5:8)

語尾=gsan の例：

 qayirala=gsan (2:2) 「愛しんだこと」

 son'us=u=gsan (1:2) 「聞いたこと」

モンゴル語文書
影印
ローマ字転写
日本語訳

凡 例

モンゴル文字のローマ字転写について

1. 各行の先頭に、原本における位置を表すタグを付した。コロン (:) の左側の数字は文書番号 (1~47)、コロンの右側は行番号を示す。例 : 32:7 は、文書 32 の第 7 行。
これらのタグは、単語・語尾の索引で出現位置を示すのに利用する。
2. 原本で字句が判別不能であるが、推定によって補った箇所は [] に入れた。
例 : [o]ry'an(1:2)
3. 原文が誤りと判断した個所は、正しい形をローマ字転写で示し、原文の形を [] に入れて「!」印を付した。例 : üge+ber[ügebei!] これは原文には、ügebei とあるが、üge+ber 「言葉によって (造格形)」の誤記とみなす。
4. 現代モンゴル文語および古典式モンゴル文語と異なる字形が使われていて、それらの規範からすれば不規則なローマ字転写となっているものに [!] の記号を付した。その通りに書かれていることを明示的に示して、注意を喚起している。例 : degeysi [!] (女性語に <γ> の中位形が書かれている)、jarlig [!] (男性語に <g> の末位形が書かれている)、ür_e-luy'_a [!] (女性語に -luy'_a の語尾がついている) 等。
5. 原文の語形に疑問がある場合、推定される代替の形を [] に入れて「?」印を付した。例 : mude=jü[mede=jü?]、jiryu'y'an[jiry'u'y'an?] 等。
6. モンゴル語のローマ字転写方式は Nicholas Poppe, *Grammar of Written Mongolian*. Wiesbaden, 1954. を基に、いくつかの変更を加えている。個々の語のローマ字転写、特にモンゴル文字では字形を区別しない t/d, k/g, o/u, ö/ü (および本書では q/γ) 等のローマ字転写に関しては主として

内蒙古大学蒙古学研究院蒙古語文研究所『蒙漢詞典 (増訂本)』(内蒙古大学出版社、1999)

により、上の辞書に採録されていない語については、

Ferdinand D. Lessing, *Mongolian-English Dictionary*. Berkeley, 1960 (reprint, with supplements, by Mongolia Society of Bloomington, Indiana, 1973, 1982, 1995)

を参照した。

第 2 音節以降の円唇母音には o と ö は用いず、すべて u と ü によって表記する。母音字が連続している場合にも、2 つ目以降の円唇母音は u と ü によって表記する。

例 : boγul, dotur_a, odun, qoγusun, toγuγ_a, yosun, qouᠰ 等。

この表記法は便宜的なものであり、こうした発音や起源を主張するものではない。

7. ローマ字転写に次のような記号を付す。
 - (1) 「=」(イコール) は、動詞の語幹と活用語尾の境界を示す。例 : ekile=n 「始めて」。
語幹と活用語尾の間に接合母音がある場合は、接合母音の前と後に「=」を付す。例 : bol=u=γsan 「成った」、üjegül=ü=n 「示し...」。動詞の語幹と同形の命令形では、「ゼロ語尾」と考えて語幹形の後に「=」イコールだけを付す。例 : ab= 「取れ」。

- (2) 「-」(ハイフン)は、名詞類の曲用語尾が語幹と分綴されている場合の境界、つまり「語幹末スペース」を示す。例：manju-yin「満洲の(属格)」、bičig-i「文書を(対格)」。
- (3) 「+」(プラス)は、名詞類の曲用語尾が語幹と連続されている場合の境界を示す。例：üile+ben「(自分の)事を(再帰所属・対格)」、sara+yin「月の(属格)」。
- (4) 「_」(アンダースコア)は、ひとつの語が、曲用語尾以外で分綴されている場合の境界、つまり「語中スペース」を示す。その典型的な事例は、母音字 <a> と <e> が語末に位置して、離して書かれる場合である。例：aq_a「兄」、kür=tel_e「～まで」等。
また、形容詞形成語尾 tu/tü「～を持つ」が語幹と分綴される場合もこれに相当するので _tu/_tü と転写する。例：yala_tu「罪ある」、sedkil_tü「心を持つ」等。
- (5) 「'」(アポストロフィ)のついた転写字(n' γ' q' d' t' ö' ü' 等)は、「'」を除いた文字(<n> <γ> <q> <d> <t> <ö> <ü> 等)の表記上の変種を表す。主に、古典式モンゴル文語および現代モンゴル文語と異なる字形に「'」を付している。
その他の記号については、それぞれの字形の項目の説明および凡例の中で説明する。
- (6) 人名、地名等の固有名詞の語頭を大文字にしている。
- (7) 固有名詞で2語以上から成る語をカレット (^) 記号で繋げた。例：
Sečen^qay'an(14:1), Uuba^qung^tayiji(4:2), Maq_a^samadi^sečen^qay'an(39:2)
- (8) 冠頭記号は「○」「◎」、句読点は、二点を .. 四点を :: とした。

満洲文語のローマ字転写について

1. モンゴル語文書に関わる満洲語の部分に対して、ローマ字転写を付した。
2. 満洲語の行番号は () (まるかっこ) に入れた。モンゴル語の行の中に書かれている満洲語は 【 】 (すみつきかっこ) に入れた。
3. 満洲文字のローマ字転写は、基本的にメルレンドルフ (Möllendorff) 方式にもとづき、それに若干の変更を加えている。
4. 無圏点満洲文字は、有圏点満洲文字の単語に置き換えて (有圏点満洲文字とみなして)、ローマ字に転写した。
5. 原本に誤字・脱字等の間違いがある場合は、校訂した形を記し、その後に [] (カギかっこ) に入れて原本の形を示し、「!」(感嘆符) を付した。

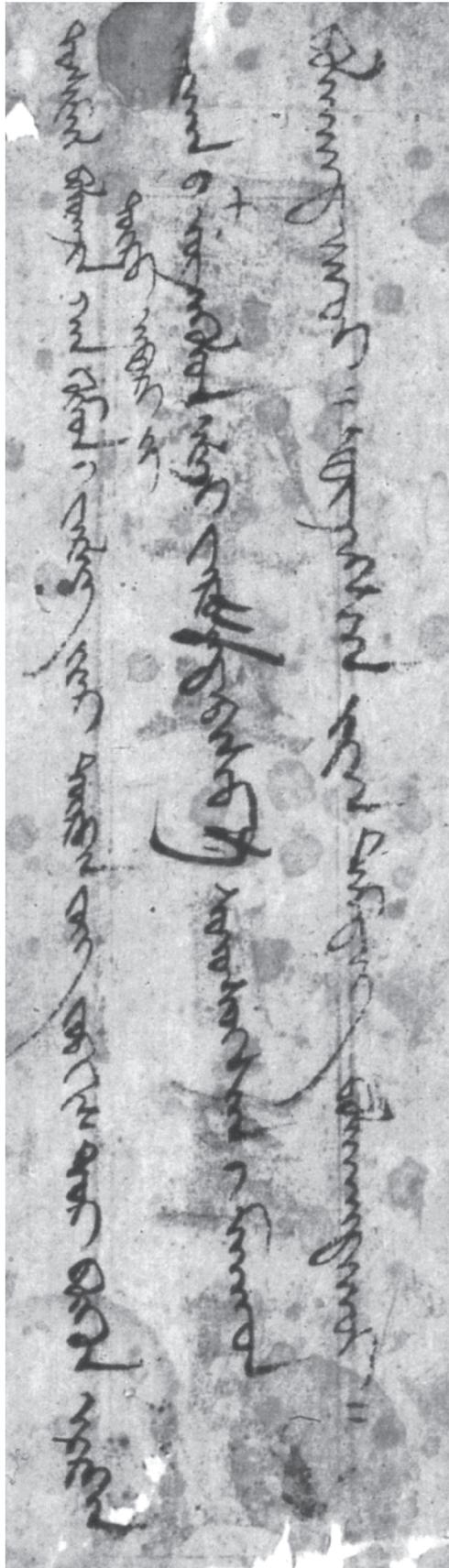
日本語訳について

1. モンゴル語と満洲語に日本語の逐語訳を付した。訳を付するに当たって、神田信夫・松村潤・岡田英弘譯註『舊満洲檔 天聰九年1・2』(1972,1975) および満文老檔研究会訳注『満文老檔』全7冊(1955-1963)の日本語訳を参考にした。
2. 訳が不明な箇所には「?」印を付した。

1

2

3



文書1 (無題) [天命6(1621)年7月]

- 1:1 tü'simel bol=u=γčin qan kümün-I jarlig[!]-iyar dörben жүг jobkis-tur bü=kün irgen
官人となった者たちは 皇帝たる 人の 詔によって 四方 (四) 隅に いる 民
- 1:2 [o]ry'an-u törü aburi-yi üjegül=ü=n ilči jaruyda=basu.. son'us=u=gsan[!]-i may'ad
百姓の 道と 徳を 示 し、 使者に 遣わされれば、 聞いた こと を 真実と
- 1:3 bolγ'ayda=qui.. üje=gsen-iyen temdeg bolγ'ayda=qui..
なすべきである。(自分が) 見たことを 証と なすべきである。

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7

1. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 2. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 3. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 4. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 5. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 6. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。
 7. 此處之文字，係指「...」而言，其意為「...」。

文書2 エンゲドルの誓い [天命8 (1623) 年7月3日]

- 2:1 ○ Gegen^qay'an tüsi=y_e ge=jü san'a=ju ire=le.. Gegen^qay'an qayirala=ju
ゲゲン・ハーン (に) 頼ろう と思って やって来た。ゲゲン・ハーンは愛しんで、
üre+yen
自分の子供と
- 2:2 ki=jü qayirala=ba.. qayirala=gsan[!] čag[!]+tu.. qay'an ečige-eče buruy'u
なして 愛しんだ。 愛しんだ 時に、 ハーンである 父に 背いて
yabu=basu
行けば、
- 2:3 deger_e tngri üje=tügei.. tere γ'aǰar-un ečige eke aq_a
上 天が 照覧あれ。 かの 土地の 父 母、 兄
- 2:4 degü-yi may'ui ge=jü ire=be.. ire=gsen čag[!]+tu yambar ba san'a=γsan-i
弟 が 悪いとて やって来た。 やって来た 時 に、 如何ようにも 思ったことを
güičege=be
叶えさせた。
- 2:5 qay'an-I güiče=gsen-i es_e san'a=ju may'ui sedkil bari=ju yabu=basu may'ui n'igül
ハーンが 叶えたことを 思わないで、 悪 心を 抱いて 行けば、 悪い 罰が
- 2:6 kür=čü ükü=tügei sayin sedkil bari=ju küčün-iyen ö'g=čü yabu=basu sayin
至って、 死ぬがよい。 良き 心を持って、 力 を 尽くして 行けば、 幸
- 2:7 jiry'alang-iyar engke amuy'ulang jiry'a=n a=tuy'ai..
福 に、 安 寧を 楽しんで いくがよい。

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8

~~Handwritten text, mostly illegible due to bleed-through and cursive script.~~

文書3 ウルドの誓い [天命8 (1623) 年7月4日]

- 3:1 ◎ Gegen^qay'an-I n'er_e son'us=ču Čaqar-un. qay'an-i may'u ge=jü
ゲゲン・ハーンの名を聞き チャハルのハーンは悪いと言って、
Gegen^qay'an-i
ゲゲン・ハーンに
- 3:2 tü'si=jü day'a=y_a ge=jü ire=le.. ire=gsen-i san'a=ju qay'an ö'rüsiye=jü
頼って 従がおうと やって来た。 やって来たことを 思って、 ハーンは 慈しみ
qayirala=ju
愛しんで
- 3:3 ür_e-luy'_a[!] adali bolγ'a=ba.. qay'an-I qayirala=gsan[!]-i ülü san'a=ju
子供 と 同じに してくれた。 ハーンが 愛しんでくれたことを 思わずに、
- 3:4 bide mongγ'ul n'oyad ken may'u sedkil bari=ju buruγ'u yabu=qula..
我ら モンゴルの ノヤン達の 誰かが 悪心を 抱いて 非を 行うならば、
- 3:5 tere n'oyad-i tengri urida üje=jü may'u n'igül kü'r=tügei..
その ノヤン達を 天が 先ず 見て、 悪い 罰が 至るがよい。
- 3:6 qay'an-I qayirala=gsan[!]-i san'a=ju čing ünən sedkil
ハーンが 愛しんでくれたことを 思って、 誠 真の心
- 3:7 -iyer yabu=basu tengri ö'rüsiye=jü qamtu-bar engke
で 行けば、 天が 慈しみ 共々に 安
- 3:8 amuy'ulang jiry'a=n a=tuy'ai..
寧を 楽しんで いくがよい。

(1) 1 2 3 4 5 6 7 8

1. 予は、此の書に於て、
 2. 予の平生の志を述べ、
 3. 予の平生の志を述べ、
 4. 予の平生の志を述べ、
 5. 予の平生の志を述べ、
 6. 予の平生の志を述べ、
 7. 予の平生の志を述べ、
 8. 予の平生の志を述べ、

文書4 オーバ・ホンタイジの誓い [天命11 (1626) 年6月6日]

(1) ooba hung taiji gashūha gisun
オーバ・ホンタイジが誓った言葉

4:1 ◎ deger_e möngke tngri-yin jāyay'an-bar.. tngri γ'aĵar-a ūr_e
上なる 永遠の 天 の 命運 により、 天が 地に 種を
saču=γsan-ača bol=u=γsan.. tangki=l_ügei
撒いたことから 生じた、 比類(?) なき

4:2 qad-un törül ol=u=γsan.. tegsi sedkil_tü Gegen^qay'an.. dūrbe=l_ügei
ハーンの 出自を 得た。 平らかな 心を持つ ゲゲン・ハーンと、 障り なく
učiraldu=γsan Uuba^qung^tayiji
出会った オーバ・ホンタイジの

4:3 qoyar.. tngri-d'ūr öčig öči=müi čing ün'en sedkil-iyer Čaqar Qalq_a-d'u
二人が 天 に 言を 捧げる。 誠 真の 心 で チャハルと ハルハに
Ĵasay_t'u^qay'an-ača
ジャサクト・ハーンから

4:4 in'aγsi Qorč'in-I n'oyad bide gem ügei day'a=ĵu sayin yabu=y_a ge=tel_e..
このかたホルチンのノヤンである我らは過失なく従って、良好に行こうというのに、
ülü bol=ĵu ala=qu ab=quyi+ban
言うことを聞かず殺し奪うことを

4:5 ülü bayi=ĵu.. Boru^qorč'in-i biden-ü day'usqa=ba.. tegün-ü qoyin'_a
やめず、 ボル・ホルチンを (←我らの) (奪い) 尽くした。その 後、
yal_a ügei böge=tel_e Dalai
罪がない のに、 ダライ・

4:6 ^tayiji-yi ala=ba.. tegün'+I qoyin'_a Ĵayisai ire=ĵü.. ĵiry'uγ'an
タイジを 殺した。 その 後、 ジャイサイが やって来て、 六人の
n'oyad-i ala=ba.. gem ügei sayin yabu=y_a
ノヤンたちを 殺した。 過失 なく 良好に 行こう

4:7 ge=küle.. ülü bol=ĵu.. yala ügei ala=qu ab=qu-d'u esergüle=be bide..
というのに言うことをきかず、罪がないのに殺し奪う時に、反抗した、我らは。
esergüle=kü-d'ü.. Čaqar Qalq_a
反抗するとき、 チャハルとハルハは

4:8 či yaγ'un-d'ur esergüle=be ge=ĵü ala=y_a ab=u=y_a ge=ĵü čerig morda=ĵu
汝は 何故 反抗した と言って 殺そう 奪おう と 兵を 出して
ire=gse-d'ü tngri ečige
来た時 父たる 天が

9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

- 4:9 ibege=ǰü γ'ary'a=ba.. Manǰu+i_yin qay'an bas'_a bay'aqan qayirala=ba..
 庇護して 追い出した。 満洲の ハーンも また 大いに 愛しんてくれた。
 tngri-yin ibege=ǰü γ'ary'a=γsan..
 天 が 庇護して 追い出したことと
- 4:10 Manǰu-yin qay'an-I qayirala=γsan-i marta=l_ügei san'a=ǰu yabu=y_a ge=ǰü..
 満洲の ハーンが 愛しんだことを 忘れずに 思って 行こう と、
 Manǰu-yin qay'an-d'u ǰolγ'a=r_a ire=ged..
 満洲の ハーン に 謁見するために やって来て、
- 4:11 tngri γ'aǰar-tu törü_e-yin tus+tu itegeltü üge+ben öči=ǰü amalda=n'am..
 天と 地 に、 国 の 当主に 信ずべき 言葉を 申し上げて 誓う。
 tngri-d'ü amalda=γsan-i
 天 に 誓ったことを
- 4:12 ebde=ged.. Manǰu-yin qay'an-I qayirala=γsan-i marta=ǰu Čaqar Qalq_a-luy'_a
 破り、 満洲のハーンが 愛しんてくれたことを忘れて、チャハルとハルハに
 else=küle.. Uuba^qung^tayiǰi-yi
 与するならば、オーバ・ホンタイジを
- 4:13 buruy'usiya=γsan deger_e buruy'usiya=tuy'ai.. ǰoba=γsan deger_e
 責めた 上に 責めるがよい。 苦しんだ 上に
 ǰobay'a=tuy'ai.. tngri-d'ü amalda=γsan..
 苦しめるがよい。 天に 誓った
- 4:14 ügen-d'egen kür=čü.. Manǰu-yin qay'an-I qayirala=γsan-i marta=l_ügei
 (自らの) 言葉に 従って、満洲の ハーンが 愛しんてくれたことを 忘れ ず
 sayin yabu=qula.. tngri qayirala=γsan
 良く 行えば、 天は 愛しんだ
- 4:15 deger_e qayirala=tuy'ai.. teǰiye=gsen deger_e teǰiye=tügei.. en'e
 上 に 愛しむがよい。 養った 上に 養うがよい。 この
 amalda=γsan-i qoyitu ači ür_e biden-ü
 誓ったことを 後世の 孫や 子が (←我らの)
- 4:16 ker be ebde=kül_e.. ebde=gsen kümün-i tngri buruy'usiya=γsan deger_e
 もしも 破るならば、 破った 者 を 天は 責めた 上に
 buruy'usiya=tuy'ai.. ǰobay'a=γsan deger_e
 責めるがよい。 苦しめた 上に

17 18 (2) (3) (4)

17 18 (2) (3) (4)
 17 18 (2) (3) (4)
 17 18 (2) (3) (4)
 17 18 (2) (3) (4)
 17 18 (2) (3) (4)

4:17 jobay'a=tuy'ai.. en'e amalda=γsan-i ülü ebde=ǰü ürgülǰi_de sayin
苦しめるがよい。この誓ったことを破らず、常に良く
yabu=qul_a tngri tejiye=gšen deger_e
行えば、天は養った上に

4:18 tejiye=tügei.. qayirala=γsan deger_e qayirala=tuy'ai::
養うがよい。愛しんだ上に愛しむがよい。

(2) gashūrade julergi birai dalin i ten de
誓う時、南の川の岸の壇に
šanggiyan morin.. sahaliyan ihan wafi.. hiyan dabufi yali be gemu yooni dobofi..
白い馬、黒い牛を殺して、香を焚き肉を皆すべて供えて、
han.. ooba
ハーンはオーバ・

(3) hung taiji be gaifi ilan jergi niyakūraha uyun jergi hengkilehe..
ホントイジを率いて三度跪き九度叩頭した。
hengkileme wajiha manggi
叩頭して終わった後、

(4) juwe bithe be geren de donjibume hūlafi deiǰihe[deǰihe!]..
二つの書を衆人に読み聞かせて焼いた。

- (1)
 - 1 2 3 4 5 6 7 8
- (2)
 - 1 2 3 4 5 6 7 8

文書5 トシエト額駙が満洲のハーンに送った文書 [天命11 (1626) 年7月6日]

(1) ◎ fulgiyan tasha aniya.. nadan biyai ice ninggun de.. horcin i tusiyetu efui
赤い 虎の 年の 七 月の 初 六日 に、ホルチンの トシエト額駙が

(2) unggihefi tumei gajiha bithei gisun
トメ を 送って、 持ってきた書 の言葉。

5:1 Kündülen^qay'an man'+i dobtul=ba.. egün'+i yay'aki=qu bui.. Qorčın-I
クンドレン・ハーンが我々を攻撃した。これを どうする か。 ホルチンが
ab=ču eči=gsen n'amai siri mal-i
奪って 行った 私を (?) (?) 家畜を

5:2 qariγ'ul=ju ög=güsei ge=ji.. Čaqar-un qay'an-du.. Qalq_a-yin arban
返してくれたらいいがと言って チャハルのハーンのところに、ハルハの十人の
n'oyad eči=be
ノヤン達が行った

5:3 ge=n'em.. Bay'arin-u Dügüreng.. Sereng qoyar.. Qung^bay'atur-un
そうだ。 バーリンの ドウグレンと、セレンの二人、ホン・バートルの、
Dayičing.. Bumbudai qoyar..
ダイチン と ボンボダイ の二人、

5:4 Bay'_a^darqan-I Badm_a.. Bayiγ'undai qoyar.. Jaray'ud-un qay'an..
バガ・ダルハンのバドマと、バイゴンダイの二人、 ジャロードのハーンと、
Qubiltu qoyar..
ホビルト の二人、

5:5 Bayay'ud-un Eseyin Sanggerjei.. Bay morin-ača un'a=ju qari=ji ire=be
バヤゴドのエセイン サンゲルジェイと、バグが馬から落ちて (?) 帰って来た
ge=n'em..
そうだ。

5:6 man'+I Güyeng Ubasi-yi.. Qung^bay'atur čiy'ulγ'an-I üge ab=ču qari= ge=ji
我らのグイエンはオバシを、ホン・バートルは集会の 言を持って 帰れと言って
say'ulγ'a=ji
留まらせて

5:7 bayi=n'am.. yambar ba üge Ubasi-du ire=n'em j_a.. Ubasi-yin üge ab=ču..
いる。 どんな言葉でもオバシのところに来るだろう。オバシの言葉を持って

5:8 qay'an-du basa ayiladqa=m j_a.. urid son'us=u=γsan üge en'e bui::
ハーンにも 奏上する だろう。 前もって 聞いた 話は これである。

(1) *to the point to point to the point "point point point"*
 (2) *"point point point"*

1 *point point point*
 2 *"point point point"*
 3 *point point point*
 4 *point point point*
 5 *point point point*
 6 *point point point*
 7 *point point point*

文書6 トシエト額駙がジャキチャンブクに送った文書 [天命11 (1626) 年8月17日]

(1) ○ fulgiyan tasha aniya.. jakūn biyai juwan nadan de jakican buku de
赤い 虎の 年の 八 月 十 七 日 に ジャキチャンブクに

(2) tusiy_e_tu efui unggihe bithei gisun..
トシエト 額駙が 送った 書 の 言葉。

6:1 oum suwasdi sidam::
オーム、繁栄 成就。

6:2 Qung^bay'atur-un elči dörben em_e ĵang ab=ču ire=ĵi..
ホン・バートルの 使者が 四頭の 雌の キバノロ (?) を 持って きて、

6:3 basa tabun n'oyad ire=kü ge=n'em.. ta em_e köbegün-iyen ab=usai..
また、五人のノヤン達が 来る そうだ。 汝らは 女 子供 を 取るがよい。

6:4 törü_e ĵokiya=la ge=ĵi.. man'+i ese ĵoki=qula man-d'u urid morda=ĵu
義を なした とて、 我らが 合意しなければ、我らに 先ず 出征して、

6:5 man+i ab=u=γsan qoyin'a.. tan-d'u morda=y_a ge=kü bayi=n'am.. tabun n'oyad
我らを 奪った 後、 汝らに 出征しよう と している。 五人の ノヤン達が

6:6 ire=küle ĵöble=küi-yin tulada.. qay'an-du elči yay'ara=ĵu
到着したら、相談する ために、 ハーンに 使者を 急いで

6:7 ĵaru=y_a..
遣わそう。

文書 7 天聰ハーンがハラチンとトゥメドに送った文書 [天聰 3 (1629) 年 10 月 29 日]

(1) ○ orin uyun de
二十 九日 に

7:1 haracin tumet de wasimbuha bithe..
ハラチン、トメドに 下付した 書。

(2) han hendume
ハーンが言う、

(3) suwe membe dahame dailaci muse de iselere nikan be wame
汝らが我々に従って討伐すれば、我々に抵抗する漢人を殺して

(4) gaime yabu meni dahabuha nikan be wame etuku
奪って行け。我々の投降させた漢人を殺して着物を

(5) sume gaime yabuci.. mende dain i hese kai.. tentehe niyalma be
奪い取って行けば、我々の敵と同様である。そのような人を

(6) bahaci wambi.
捕まえれば殺す。

7:1 【haracin tumet de wasimbuha bithe..】 qay'an-u jarlay Qaračin.. Tümed
ハーンの 詔。 ハラチンと、トゥメトよ。

7:2 ta man+i day'a=ju dayila=qula.. biden-d'ü qariγ'uča=qu Kitad-i ala=ju
汝らは 我らに 従って 討伐するならば、我らに 抵抗する 漢人を 殺し

7:3 ab=ču yabu=.. sai man+I oruy'ul=u=γsan Kitad-i ala=ju degel qubčasun-i
奪って 行け。 先ほど 我々の 降伏させた 漢人 を 殺して 衣 服 を

7:4 ton'u=ju ab=ču yabu=qula.. man-d'u dayin sitü bayi=n'am teyimü kümün-i
奪い 取って いくならば、我らに対して 敵 の様 である。 そのような 者を

7:5 ol=qula ala=qu bui..
見つければ 殺す。

文書8 天聰ハーンがモンゴルに送った文書 [天聰3 (1629) 年11月7日]

- (1) ○ lou uwen iui
羅文峪の
- (2) niyalma be monggo nungnembi seme mongorome nikanrame arafi unggihe
人 をモンゴルが侵害するとモンゴル語と、漢語で書いて送った
- 8:1 bithe..
書。
- (3) han hendume yaya beise ambasa seme
ハーンが言うには、いずれの諸王諸大臣というのは、
- (4) dahabuha gurun i ai jaka be nungneme cuwangname yabuci
投降した国人の如何なるものをも侵害したり略奪したりすれば
- (5) wa seme henduhebi
殺せと言った。
- (6) dahaha nikan be waci.. waha niyama be urunakū
投降した漢人を殺せば、殺した人を必ず
- (7) wambi.. gaici gaiha jaka i oron holbohon gaifi ejen de
殺す。奪えば奪ったもの代償を倍にして取上げて、持主に
- (8) bumbi.. ijilabume yabure gurun be fudarabume yabuci tere niyalma hutu kai
与える。互いに親しませている人々に背いていけば、その人は鬼であるぞ。
- (9) tere be warakūci ainambi..
それを殺さなければどうする。
- 8:1 【bithe..】 ○ Sečen^qay'an-u jarlay.. aliba n'oyad sayid ge=jü.. oruy'ul=u=γsan
セチェン・ハーンの詔。いかなるノヤン達大臣達でも、降伏させた
- 8:2 ulus'-un yay'un amitai-yi buliya=ju tata=ju yabu=qula tegün-ni ala= ge=jü
人々の何ら命あるものを奪い取って行くなれば、その者を殺せと
- 8:3 jarla=jam.. oru=γsan Kitad-i ala=qula.. ala=γsan kümün-i neke=jü ab=ču
命じた(ている)。投降した漢人を殺すならば、殺した人を追って捕えて
- 8:4 ala=qu.. ab=qula ab=u=γsan oru qolbay'_a ab=ču ejen-d'e ög=kü.. engke bolγ'a=ju
殺す。奪うならば、奪った代わりに倍を徴して(元の)主人に与える。平安になして
- 8:5 yabu=qu ulus'-i ebde=jü yabu=qula tere čidkür bisi buyu..
いる人々を壊して行くなればその者は、鬼ではないか。
- 8:6 tegün+i ülü ala=ji yaki=qu..
それを殺さないでどうする。

myself."

response " and a definite walk to the " response

an English man. in walk to the " walk

around the table for me for minutes now "

the table and the table " responded to "

around " and walk into the room now "

response " and the table and walk into the room

... and responded to the " and a walk to the table

response " and a walk to the table

... and a walk to the table

... and a walk to the table

(1)

(2)

1

2

3

4

5

6

7

8

9

文書9 ジルガラン、サハリヤンがソブディに送った文書 [天聰4 (1630) 年正月9日]

(1) subudi jese dosifi dahaha nikan be tabcilambi
ソブディが 境内に入って、降伏した漢人を略奪している

(2) seme donjifi juwe beile i takūraha gisun..
と 聞いて、二人のノヤンが 送った 言葉。

9:1 qoyar n'oyan-I bičig Sübüdi-d'ü ilege=be..
二人の ノヤンの 書。 スブディに 送った。

9:2 man'+I oruy'ul=u=γsan ulus'-i yay'un-u tulada ala=ju ab=ču
我らが 降伏させた 人々 を 何 の ため 殺し、奪って

9:3 yabu=n'am.. ta jügeger yabu=tala ta enggi=jü qal=u=ju[qal=ju?] yabu=n'am
行くのか。 汝らは 尋常に 暮らしているのに 汝らは このように 侵犯して 行って

9:4 bayi=n'am.. ta urida may'u ki=jü yabu=γsan γ'aǰar-a..
いる。 汝らが 以前に 悪事を なして 行った 土地で

9:5 bide jügeger talbi=ju ülü ög=kü.. olǰala=γsan em_e
我らは そのまま 放置しておか ない。 生け捕った 女と

9:6 köbegün-i bügüde mön qota-dan qariγ'ul=ju ög=..
子供 を すべて 元の 町 に 帰して やれ。

9:7 ta ger+tegen qari= en'e ügen-dü biden-I ülü
汝らは 自分の家へ 帰れ。この 言葉に (←我々の) 従わな

9:8 oru=qul_a.. tan-i talbi=qu ügei bide.. üdter
ければ、 汝らを 放って おかない、我らは。 速やかに

9:9 qari=..
帰れ。

(1) (2) (3) 1 2 3 4 5

(1) *Handwritten cursive script, possibly a signature or name.*
 (2) *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 (3) *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 1 *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 2 *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 3 *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 4 *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*
 5 *Handwritten cursive script, possibly a name or title.*

文書 10 ジルガラン、サハリヤンがハラチンに送った文書 [天聰 4 (1630) 年 2 月 1 日]

(1) ◎ juwe biya be ejehe dangse..

二 月 を 記した 檔案。

(2) ice inenggi haracin i monggoso ciyan an de jifi

初 日 ハラチンのモンゴル人達が 遷安 に 来て

(3) nungnemi seme donjifi takūraha bithei gisun..

侵害する と 聞いて、遣わした 書の 言葉。

10:1 qoyar n'oyan-I bičig.. Qaračin-u tayiji-n'ar tabun'ung-ud-tu ög=be

二人のノヤンの書。ハラチンのタイジ達とタボノン達に与えた。

10:2 qay'an-u jarlay-iyar ire=gsen bol=u=sa.. qay'an Jungq_a-d'u say'u=n'am

ハーンの詔によって来たのであれば、ハーンはジョンハに滞在している、
tende.

そこで。

10:3 qay'an-d'u eči=jü jolγ'_a.. qay'an yambar jarlay bol=u=sa ter_e

ハーンのところに 行って 謁見せよ。ハーンがなんらかの詔を仰せになれば、その

10:4 üge+ber[ügebei!] yabu=.. qay'an-u jarlay ügei ire=gsen bol=u=sa

言にしたがって 行け。ハーンの詔が 無くて 来たの であれば、

10:5 üdter qari=.. qari=l_ügei ende yabu=qul_a.. man-d'u oru=γsan

速やかに 帰れ。帰らずに ここに いれば、 我らに 投降した

6

Handwritten text on line 6

7

Handwritten text on line 7

8

Handwritten text on line 8

9

Handwritten text on line 9

10

Handwritten text on line 10

- 10:6 ulus.. tan-n'asa ayi=ju tariyan-I üile say'ad bol=qu bui.. bide+či
 人々が 汝ら を 恐れて、農 作業の 妨げと なる。 我ら
- 10:7 bol=ba tan-i_yi ende say'uly'a=qu bisi.. čerig qari=ju köge=jü kerem
 としても汝らを ここに 留まらせることはない。 兵が 帰って、追って、墻 (の外) に
- 10:8 γ'ary'a=qu.. ali man-d'u joly'a=qu duratai kümün bol=u=sa..
 出す。 誰か 我ら に 会い たいという 人が いるなら
- 10:9 čögečile=jü ire=jü joly'a=ju qari=.. en'e üge-yi man-I demen'e=jü
 人数を減らして 来て 会って 帰れ。 この 言葉を (←我らの) 疑い (?)
- 10:10 büü san'a=.. üdter yabu=..
 思う な。 速やかに 行け。

(1)

1

2

3

4

(2)

The image shows a fragment of a handwritten document in a medieval cursive script. The text is written on a piece of aged, yellowish paper with a jagged left edge. Above the text, there are six labels: (1), 1, 2, 3, 4, and (2). The handwriting is dense and fills most of the page. The script is a form of Gothic cursive, characterized by its compact, rounded letters and frequent use of ligatures. The ink is dark, and the paper shows signs of age, including some staining and discoloration. The overall appearance is that of an ancient manuscript fragment.

文書 11 天聰ハーンがナイマンのホン・バートルに送った文書 [天聰 4 (1630) 年 4 月 2 日]

(1) ◎.. naiman i hung baturi de unggihe bithe..

ナイマンのホンバートルに 送った 書。

11:1 qay'an-u jarliy.. Uiĵang^bay'atur-Yin Ğarm_a-d'u qosiy'un büri
ハーンの 詔。 オイジャン・バートルの ガルマに対して 旗 ごとが

11:2 tabuy'ad ger kümün ög= ge=gse-d'ü.. ta bügüdeger jöb
五つずつの 戸 人を与えよ と言ったことに、 汝らは皆 よろしい

11:3 ge=jü bile.. ög=gü=y_e ge=gse ger_e ügen-degen kür=čü
と言った のだった。 与えよう と言った (自らの) 約 言に 従って

11:4 ög=gesei.. tan-I törül bayi=n'am.. bi ab=u=n'am uu::
与えたらよい。 汝らの 親戚である。 我が 取る べきか。

(2) sure han i duici aniya duin biyai ice juwe

天聰ハーンの 第四 年 四 月の 初 二日

(1)

1

2

3

4

5

6

7

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7

文書 12 天聰ハーンがダルハン・バートルに送った文書 [天聰 4 (1630) 年 4 月 4 日]

- (1) ○ ice duin de monggo i darhan batur de unggihe bithe i gisun
初 四日 に モンゴルの ダルハン・バートルに 送った 書 の 言葉
- 12:1 qay'an-u jarliy.. Darqan^bay'a'tur-t'u ilege=be.. jögün γ'ar-Yin
ハーン の 詔。 ダルハン・バートルに 送った。 左 翼 の
n'oyad
ノヤン達が
- 12:2 Erkel-dü oru=ju abala=ju yabu=n'am ge=n'em..
エルケルに 入って 卷狩をしている そうだ。
- 12:3 tngri qayirala=qula Kitad-Yin törü biden-dü abta=n'am j_a..
天が 愛しむならば、キタド の 政道は 我ら に 取られる だろう。
ügei bol=u=sa
そうでなければ、
- 12:4 törü joki=n'am j_a.. tegün-I qoyin'_a abala=qu-du say'ad buyu..
政道が 合う だろう。 そ の 後で、 狩をすることに、 妨げがあるか。
- 12:5 dayila=qu dayisun jāy'urm_a bayi=tal_a.. ayta-yin kü'čü+ben ebde=gsen
討伐するべき 敵が 中 途 であるのに、 驢馬 の 力を 損なった
- 12:6 kümün ayan čerig-t'ü morida=l_ügei say'u=qu buyu.. Bay'arin-I
者 は 行 軍 に 出征することなく 留まる のか。 バーリン が
- 12:7 abala=γsan yala+i_yi bide bügüdeger kelelče=jü ab=qu bisi+ü..
卷狩をした 罪 を 我らは 皆で 協議して 取るのではないか。

(1) 1 2 3 4

Handwritten text in a cursive script, oriented vertically on a narrow strip of paper. The text is arranged in four columns, corresponding to the numbers 1, 2, 3, and 4 above it. The script is dense and characteristic of historical Japanese calligraphy.

文書 13 天聰ハーンが四子に送った文書 [天聰 5 (1631) 年正月 13 日]

(1) ◎ juwan ilan de arui duin beile de unggihe bithei gisun
十 三日に アロの四子に送った書の言葉

13:1 Sečen^qay'an-I jarliγ.. Dörben^kegüked-tü ög=be.. törü čay'aǰa
セチェン・ハーンの詔。四子に与えた。政道と法度が
n'iged=be ge=jü ire=ged qulay'ai
一つになったと やって来て盗みや

13:2 qudal ki=jü aduy'u köge=jü yabu=n'am ge=n'em ta.. Auqan N'aiman
虚偽を行い、馬群を追い立てている という、汝らは。アオハン、ナイマン、
Bay'arin Ĵaruy'ud Qorčin bügüdeger n'ige
バーリン、ジャロード、ホルチン、皆で 一つに

13:3 bol=jü.. tan'+I aduy'u-yi köge=küle aduy'u tan'+I üle=kü buyu..
なって 汝らの馬群を 追い立てるならば、馬群は (←汝らの)、残るであろうか。
iǰay'ur-Yin samay'u may'ui-gi
元の乱行 悪行を

13:4 orki=l_ügei yabu=qu tan'+I may'u bisi buyu..
捨てることなく 行くのは (←汝らの) 非 ではないか。

(1) 1 2 3 4 5 6 7

0
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7

文書 14 辛未年の法典 1 [天聰 5 (1631) 年 4 月 7 日]

(1) ○ ineku tere inenggi monggo i naon i horcin.. abaga horcin i beise abka na de
同じ その 日、 モンゴルのノンの ホルチン、アバガホルチンの 諸王が天と地に
akdulame gashūha gisun
固く 誓った 言葉

14:1 Sečen^qay'an ekile=n.. qoyar yeke n'oyan.. Tüsiy_e_tü^qay'an..
セチェン・ハーンを はじめとして、 二人の 大臣、 トシェート・ハーン、
Sün^dügüreng.. Dalai^čükegür.. Sengge^qosiy'uči.. čay'an qon'in ĵil-ün
スン・ドゥーレン、ダライ・チュケグル、セング・ホショーチは 辛 未 の 年 の
ĵun-u
夏の

14:2 ekin sar_a-yin sin'_e-yin doluy'an'-a.. čay'aĵa kelelče=ĵü aman alda=ba..
初の 月 の 初 七日に、 法度を 協議して、 誓いをした。
aru-ača öber-tür oru=ĵu ire=gsen n'oyad-i.. Tüsiy_e_tü
北 から、別のところに 降して 来た ノヤン達を、 トシェート・

14:3 ^qay'an-u čay'aĵan-d'ur adali ese yabuγ'ul=qula.. ulus' mal-i tan-I
ハーンの 法度 に 同じく 行わせなければ、 民と 家畜を (←汝らの)
küčü-ber ab=qula..
かづくで 奪うならば、

14:4 tngri γ'aĵar buruγ'usiya=ĵu man-d'ur may'u n'igül kür=tügei.. aru-yin
天と 地が 責めて、 我らに 悪い 罪が 至るがよい。 北 の
n'oyad kelelče=gsen üge-yi ebde=ĵü.. man-ača qay'ača=ĵu ĵisiyan-I
ノヤン達が協議した 言を 破って、 我らから 離脱して、 割当の
n'utuγ-ača
牧地から

14:5 öber_e qola γ'ar=qula..
他の 遠くへ 行くなれば、

14:6 tngri γ'aĵar buruγ'usiya=ĵü.. aru-yin n'oyad-tu may'u n'igül kür=tügei..
天と 地が 責めて、 北 のノヤン達に 悪い 罪が 至るがよい。
en'e kelelče=gsen čay'aĵa-yi ebde=küle bide aru-yin n'oyad-i
この 協議した 法度を 破れば、 我らは 北 のノヤン達を

14:7 dayisun ki=kü bui.. kelelče=gsen ügen-d'egen.. ken kür=čü yabu=qula..
敵に する のだ。 協議した (自らの) 言を 誰でも 守って 行くなれば、

8

9

8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

14:8 tngri γ'aǰar örüsiye=ǰü.. amin n'asun urtu bol=u=γ'ad.. ači üre in'ü
天と地が慈しんで、寿命が長くなり、子孫は
mingγ'an ġalab-tur kür=tele engke amuy'ulang bol=tuy'ai.. n'utuγ-un
千劫に至るまで安寧になるがよい。牧地の

14:9 ǰisiy_a.. baray'un ǰaq_a ʃ'aqai Šar Mončuy Altan.. Dongqur.. Ükilǰin..
割当は、西の端はガハイ、シャル、モンチョク、アルタン、ドンホル ウキルジン、
Uǰiyar.. ǰegün ǰaq_a-d'ur ǰin^γ'oul-Yin moquγ'_a..
オジヤル。東の端はジン川の河口。

(1)

1
 2
 3

Handwritten text in Arabic script, consisting of three lines. The text is written in a cursive style on a light-colored background.

4
 5
 6
 7

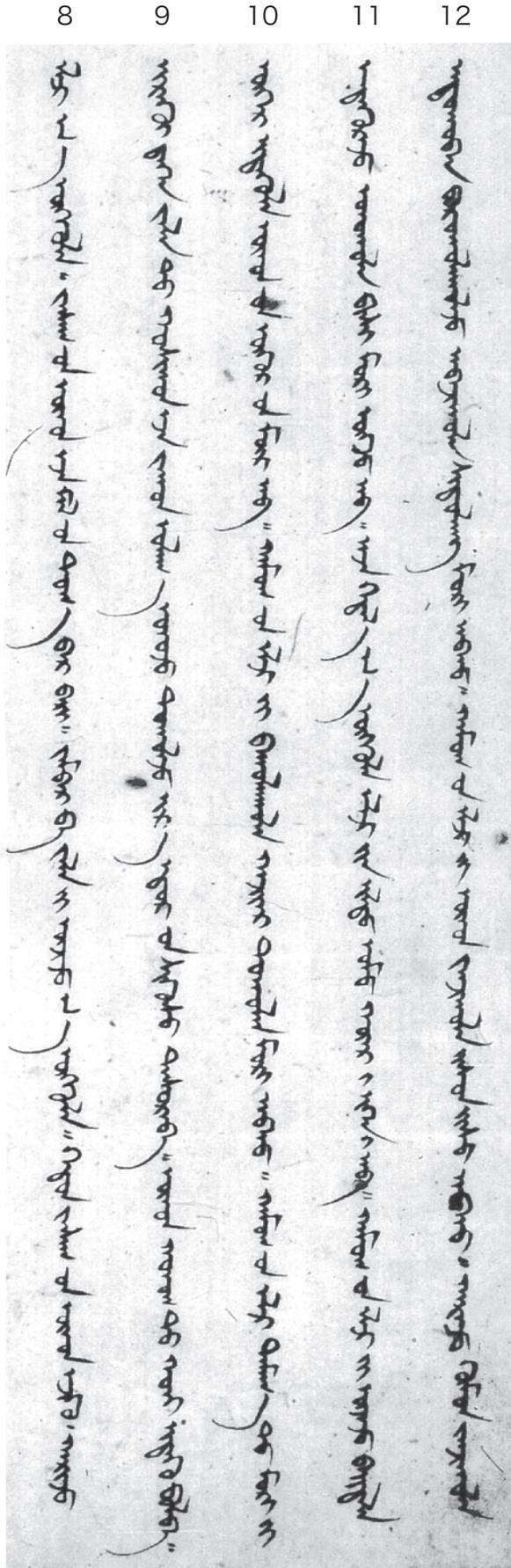
Handwritten text in Arabic script, consisting of four lines. The text is written in a cursive style on a light-colored background.

文書 15 辛未年の法典 2 [天聰 5 (1631) 年 4 月 12 日]

- (1) ○ ineku tere inenggi
同じ その 日

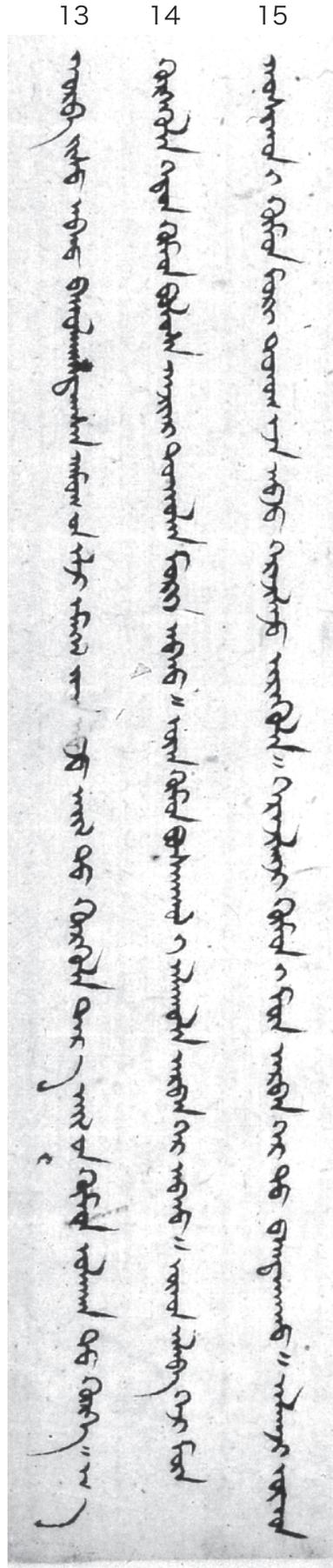
- 15:1 Sečen[^]qay'an ekile=n.. Tüsiy_e_tü[^]qay'an.. Sün[^]dügüreng..
セチェン・ハーンを はじめとして、 トシェート・ハーン、 スン・ドゥーレン、
Dalai[^]čükegür.. Sengge[^]qosiγ'uči.. yeke bay'_a n'oyad-un kelelče=gsen
ダライ・チュケグル、 センゲ・ホショーチ、 大 小 ノヤン達が 協議した
čay'aǰa.. Čaqar-tu
法度。 チャハルに
- 15:2 morda=qula arban γ'urbatu-ača degegsi dalan γ'urbatu-ača doγ'uysi bügüde
出征するならば、 十 三 歳 から 上、 七 十 三 歳 から 下 の すべてが
morda=qu.. ǰasay-un n'oyad es'_e morda=qul_a ǰay'un aduy'u
出征する。 ジャサクの ノヤン達が 出征しないならば、 百頭の 馬群
- 15:3 arban temege.. ömči öber_e n'oyad es'_e morda=qul_a tabin aduy'u tabun
十頭の 駱駝。 財産が 別の ノヤン達が 出征しなければ、 五十頭の馬群 五頭の
temege.. Kitad-tu morda=qula.. yeke qosiγ'un-ača
駱駝。 漢人 に 出征するならば、 大 旗 から
- 15:4 n'iǰeged n'oyad qosiγ'ad tayiǰi-n'ar ǰay'un sayin čerig_tei morda=qu..
一人ずつの ノヤン、 二人ずつの タイジが 百人の すぐれた 兵を連れて出征する。
es'_e morda=qula.. yeke qosiγ'un-ača ǰay'un aduy'u arban temege ab=qu..
出征しなければ、 大 旗 から 百頭の 馬群、 十頭の 駱駝を 徴する。
- 15:5 bolǰiyan-I γ'aǰar-a γ'urba qon'u=tala es'_e kür=küle arban aduy'u ab=qu
約 束 の 地 に 三 日 経つまでに 到着しなければ、 十頭の 馬群を 徴する。
bolǰiyan-I urida dobtul=qula ǰay'un aduy'u arban temege ab=qu.. oru=ǰi
約束の日の 前に 攻撃すれば 百頭の 馬群、 十頭の 駱駝を 徴する。 進攻して
- 15:6 γ'ar=tala es'_e kür=či ire=küle.. Čaqar Kitad alin-d'u bol=u=sa mön
出るまでに、 到 着 しなければ チャハルか、 漢人の いずれかに また
es'_e morda=γsan čay'aǰa-bar ab=qu.. arba qon'uγ-un γ'aǰar-a arban tabu..
出征しなかった 法度によって 徴する。 十日 (行程) の 所に 十五日、
- 15:7 arban tabu qon'uγ-un γ'aǰar-a qorin qon'u=ǰu kür=kü.. yambar ba yala-yi
十 五日 (行程) の 所に 二十 日 かかって 到着する、 どのような 罪をも
ǰasay-un n'oyad-ača elči ab=či kür=kü bol=ba.. ǰasay-un n'oyad
ジャサクのノヤン達から使者を取って到着するようになった。 ジャサクのノヤン達が
qoyar qon'u=tala
二 日 経つまで、

8
 9
 10
 11
 12



Handwritten text in Arabic script, lines 8 through 12. The text is written in a cursive style on a light-colored background.

13
 14
 15



Handwritten text in Arabic script, lines 13 through 15. The text is written in a cursive style on a light-colored background.

- 15:8 elči es'_e ög=küle.. ĵasay-un n'oyad-ača mal-un toy'_a-bar bari=..
 使者を与えなければ、 ジャサクのノヤン達から家畜の 数によって捕らえよ (徴せ)。
 yambar ba yala-yi öči=ĵü es'_e ög=küle.. kedün ĵasay-un n'oyad eči=kü. qari=ĵu
 どのような罪をも申し立てしないならば、 何人かのジャサクのノヤン達が行き戻って
- 15:9 ire=küi-degen yala_tu qosiy'un-ača ĵay'un ulay'_a un'u=ĵu tuy'ul=ĵu ir_e=
 来る ときに罪のある 旗 から 百頭の(?) 馱馬に乗って 真直ぐ(?) 来い。
 edür-ün sigüsü tasura=ba.. n'oyad qon'uγ-tu qon'i ide=kü bol=ba..
 一日の 糧食が 絶えた。 ノヤン達が 宿所で 羊を 食べることに なった。
- 15:10 üker ide=küle n'oyad-un n'ökür-ün mör ab=.. qamuy-un elči-yi
 牛を 食べるならば、ノヤン達の 僚友の 一様を (?) 徴せ。衆の 使者を
 bay'ul'y'a=qula qaĵiyar tuy'ulan mori ab=qu.. qamuy-un elči tamay'_a_tu
 留めさせるならば、 轡、 胃、 馬を 徴する。衆の 使者が 烙印のある
 mori-yi
 馬に
- 15:11 endegüre=ĵü un'u=qula bisi mori ög=ču ab=.. ača= ge=tel_e
 間違って、 乗れば、 別の 馬を 与えて、(その馬を) 取れ。持ってこい と言うのに、
 es'_e ög=küle elči-yin ildü n'umu qoyar-i n'igen-i ab=.. qamuy-un elči-gi
 与えなければ、 使者の 刀と 弓の 二つを 一つを 取れ。衆の 使者を
 üĵe=ĵü bayi=tala
 見て しながら
- 15:12 aduy'u+ban buruy'ulay'ul=ĵu abači=qula sidüleng mori ab=qu.. qamuy-un
 (自分の) 馬群を 逃がして 連れて行くならば、 三歳 馬を 徴する。衆の
 elči-yi n'oyad ĵanči=qula yisün yisü ab=qu.. qaraču kümün ĵanči=qula
 使者を ノヤン達が 打てば 九 九罰 徴する。平 民が 打てば、
- 15:13 γ'urba yisü ab=qu bay'ul'y'ayda=γsan qamuy-un elči emegel-iyen ab=ču
 三 九罰 徴する。留まらせられた 衆の 使者が (自分の) 鞍を 持って
 ayil-d'u kür=küle ter_e ayil-un kümün ulay'an-d'u kürge=.. es'_e
 民家に 至れば、 その 家の 者は 馱所まで 送り届けよ。
- 15:14 kürge=küle kedün kümün bol=u=sa qaĵiyar tuy'ulan morin ab=qu.. n'oyan
 送り届けなければ、何 人 でも、 轡、 胃、 馬を 徴する。ノヤンたる
 kümün bosqay'ul-i ala=qula arban ger ab=qu.. n'oyad ala=ba ge=ĵi mön
 者が 逃亡人を 殺せば、 十 戸を 徴する。ノヤン達が 殺した と言って その
- 15:15 qosiy'un-I kümün mori ton'uγ-ača ab=ču gerečile=ĵü ire=küle..
 旗の 者が 馬や 道具を 持って 訴えて 来るならば、
 gerečile=gčü kümün-i mön arban ger-tü baytay'a=qu.. ala=γči n'oyad
 訴えている 者を また 十 戸の中に 含める。(逃亡人を) 殺した ノヤン達が

16

Handwritten text line 16

17

Handwritten text line 17

18

Handwritten text line 18

19

Handwritten text line 19

20

Handwritten text line 20

21

Handwritten text line 21

22

Handwritten text line 22

23

Handwritten text line 23

24

Handwritten text line 24

- 15:16 melji=besü törültei n'i siq_a=.. buča=qula mön čay'ağa-bar
 言い逃れをすれば、親族とともに（←彼の）審問せよ。拒めば 同じ 法度によって
 ab=qu.. qaraču kümün ala=qula γ'urban jay'un anju ab=qu.. ire=kü
 徴する。 平民 が 殺せば 三 百の 罰を 徴する。 やって来る
- 15:17 bosqay'ul-i aliba kümün učara=qula jori=γsan n'oyad-tu kürge=jü ög=..
 逃亡人をいかなる者も出会ったならば、 目指した ノヤン（の所）に送り届けてやれ。
 kürge=gsen qoyin'_a ter_e bosqay'ul-un mal-ača qoyar-ača degegsi
 送り届けた 後、 その 逃亡者の 家畜から 二つ 以上
- 15:18 arban-ača doγ'uysi n'ige ab=.. n'ige bol=u=sa bügse ab=.. arban
 十 以下であれば、一つを取れ。一頭であればそれを（？）取れ。十頭の
 boda-ača n'ige.. qorin boda-ača qoyar mön tegüber toy'ula=ju ab=..
 大型家畜から一頭、二十頭の大型家畜から二頭、同様に そのように 数えて取れ。
- 15:19 Manju.. Qorčin Abay'_a-d'u eči=jü yambar ba yala ki=küle.. Qorčin
 満洲 と ホルチンがアバガに 行って、どんな 罪でも 犯せば、ホルチンと
 Abay'_a-yin čay'ağa-bar bol=tuy'ai. Qorčin Abay'_a.. Manju-d'u
 アバガの 法度によって 行うがよい。ホルチンと アバガが 満洲 に
- 15:20 ire=jü yambar ba yala ki=küle.. Manju-yin čay'ağa-bar bol=tuy'ai.. qoyar
 来て、どんな 罪でも 犯せば、満洲 の 法度によって 行うがよい。 両
 ulus'-Yin qoy'ur dumda yala kilče=küle öber öber-ün
 国 の 中 間で 罪を 犯せば、 それぞれの
- 15:21 čay'ağa-bar bol=tuy'ai.. Ay'un-I Qorčin.. Abay'_a.. Auqan.. N'aiman..
 法度によって行うがよい。アゴンのホルチン、アバガ、アオハン、ナイマン、
 Qalq_a.. Qaračin.. Tümed.. n'oyad qulay'ai ki=küle.. jay'un
 ハルハ、ハラチン、トゥメトのノヤン達が 盗みを行えば、 百頭の
- 15:22 aduy'u arban temege ab=qu.. qaraču kümün qulay'ai ki=küle.. kedün
 馬群、十頭の駱駝を 徴する。平 民が 盗みを行えば、何人の
 qulay'ayiči-gi ala=ju em_e köbegün-i jolij ügei
 盗 人 でも 殺して 女 子供 を 償わ（？） ず
- 15:23 bari=ju ög=kü.. qulay'ai ki=gsen kedün mal bol=u=sa oru qolbay'_a elči
 捕えて 与える。盗みを行った 何頭の家畜であれ、代わりに 倍を 使者が
 γ'ar=qu ab=qu.. tegün-eče üle=gsen mal-i qulay'ayiči-yin
 出て 徴する。その 残った 家畜を 盗人の
- 15:24 n'oyan ab=qu bol=ba.. eber ama mör qoyar-tu n'oyad-un bey_e aq_a degü-yin
 ノヤンが 取る ことになった。（訴えた側と 訴えられた側の）双方にノヤン達の兄弟の
 dö'rben jary'učitai-yi siqa=qu.. siqay'an-ača buča=qula oru
 四人の（関係者？）を 審問する。 審問 に 背けば 代わりの

25

26

27

28

29

30

... ..

- 15:25 qolbay'_a ab=qu.. n'oyad qulay'ai ki=küle abay'_a-gi n'i siqa=qu.. abay'_a
 倍を 徴する。ノヤン達が盗みを行えば、叔父を(←彼の)審問する。叔父が
 ügei bol=u=sa üyegelid-i siq_a=.. ile γ'ar=u=γsan
 いなければ、従兄弟を 審問せよ (罪が) 明らかになった
- 15:26 qulay'ayiçi-yi ača= ge=tele es'_e ög=čü alda=qul_a.. ter_e alda=γsan
 盗人を 連れて来い と言うのに 差し出さずに、逃したならば、その 逃した
 n'oyan-ača mön ĵay'un aduγ'u arban temege ab=qu..
 ノヤン から 同様に 百頭の馬群、十頭の駱駝を 徴する。
- 15:27 aliba yala_tu n'oyad.. ĵasay-un n'oyad-un ügen-d'ü es'_e oru=qula
 なんらかの 罪をもつ ノヤン達が ジャサクの ノヤン達の 言に 従わなければ
- 15:28 Sečen^qay'an-d'u ayiladqa=qu bol=ba.. ĵasay-un n'oyad ayda+ban ebde=küle
 セチェン・ハーンに 申し上げる ことになった。ジャサクのノヤン達が信を 破れば、
 qorin aduγ'u qoyar temege.. ömči öber_e n'oyad
 二十頭の馬群、二頭の駱駝、財産が 別の ノヤン達が
- 15:29 ayda ebde=küle arban aduγ'u n'ige temege ab=qu..
 信を 破れば、十頭の馬群、一頭の駱駝を 徴する。
- 15:30 Sečen^qay'an-u tabduγ'ar on dö'rben sar_a-yin arban qoyar..
 セチェン・ハーンの 第五 年 四 月 十 二日。

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9

1. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 2. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 3. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 4. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 5. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 6. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 7. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 8. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000
 9. 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000

文書 16 辛未年の法典 3 [天聰 5 (1631) 年 4 月 11 日]

- 16:1 【○ ineku tere inenggi..】 čay'an qon'in ĵil-ün ĵun-u ekin sar_a sin'_e-yin arban
同じ その 日 辛 未 年 の 夏 の 初 の 月 初 十
n'igen'-e..
一 日 に、
- 16:2 Sečen^qay'an-u emün'_e.. Tü'siy_e_tü^qay'an.. Qatan^bay'atur.. Uγsan..
セチェン・ハーンの 前で、 トシェート・ハーン、 ハタン・バートル、 オグサン、
Iltuči.. Day'ur^qatan^bay'atur..
イルトチ、 ダグル・ハタン・バートル、
- 16:3 Muĵai.. ʎ'al_tu^bay'atur.. Bandi^iltuči.. yeke bay'_a n'oyad öčügen
ムジャイ、ガルト・バートル、 バンディ・イルトチ、大 小の ノヤン達がいささか
čay'aĵa eske=be.
法度を 剪裁した。
- 16:4 degedü ĵaq_a-yin Day'ur Gelčerkü-eče Čolman kür=tele say'u=qu.. Ula-yin
上方の 境 の ダグルは ゲルチェルクから チョルマン まで 住む。 オラの
Ĵürčin Qorqun-ača
ジュルチンは ホルホンから
- 16:5 doγ'uysi say'u=qu.. Ula-yin Ĵürčid Ĵačin-ača degeysi[!] say'u=qu.. yeke
下方に 住む。 オラの ジュルチドは ジャチンから上方へ 住む、 大
qosiuγbur[!] n'igen
旗は、旗ごとに 一つの
- 16:6 yeke qota ki=kü.. en'e čay'aĵa-yi ken ebde=besü ĵay'un aduy'u arban temege
大 城を 造る。 この 法度を 誰か 破れば、百頭の 馬群、十頭の 駱駝、
egün-d'ür
これに対して
- 16:7 öči=ĵü ese bol=u=γsan kümün-i.. arban ĵasay-un arban n'oyad
申し出て 従わなかった 者 を、十の ジャサクの 十人の ノヤン達が
mude=ĵü[mede=ĵü?]
決めて
- 16:8 qay'an-ača elči ab=ču n'egülge=kü bol=ba.. čay'an qon'in ĵil-ün ebül-ün
ハーン から 使者を 取って 移住させることになった。 辛 未 年 の 冬 の
ekin sara-ača in'aysi
初 の 月 より 前に
- 16:9 n'egülge=kü bol=ba..
移住させること になった。

1

2

3

4

1. ...
 2. ...
 3. ...
 4. ...

文書 17 辛未年の法典 4 [天聰 5 (1631) 年 4 月 11 日]

- 17:1 【○ ineku tere inenggi..】 baray'un jaq_a-yin qaray'ul Auqan-I Dügüreng-Yin
同じ その 日 西の 境の 見張りは アオハンの ドグレン
süm[sümen?]-I Ulay'an^qada-du.. tegün-eče jëgün-de
廟 の オラーン・ハダに。それより 東 では
- 17:2 qoyar Qaljan-du. Čin'un-Yin γ'oul-Yin Qoraqu-du.. Čorji-yin
二つ ハルジャンに、チノン 川 の ホラホ に、チョルジ
süm_e-yin Abjin'an-du.. Miratu^γ'oul-Yin γ'oul.. Tour-Yin
廟 の アブジナンに、ミラト 川 の 川、 トール
- 17:3 γ'oul.. n'ige sara-yin kün'esü.. qosiy'un-I tabin kümün qaray'ul γ'ar=qu..
川。 一ヶ月 の 糧食(を持ち)、旗 の 五十 人が 見張りに 出る。
tabin kümün-eče duta=qula kümün-I n'ige mori ab=qu.
五十 人 に 足りなければ、一人につき 一頭の 馬を 徴する。
- 17:4 boljiyan-I γ'aĵar-a ese ire=küle tabu qon'uy-ača doγ'uysi üker ab=qu..
約 束 の 地 に 到着しないならば、五 日 以 内 は、牛を 徴する。
tabu qon'uy-ača degegsi mori ab=qu..
五 日 以 上は 馬を 徴する。

文書 18 天聰ハーンがソブディ・ドーレンに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 4 月 20 日]

(1) orin de haracin i subudi dureng de takūraha bithei gisun..

二十日にハラチンの ソブディドーレンに 遣わした 書の 言葉。

18:1 qay'an-I jarliγ.. Sübüdi^dügüreng-d'ü ilege=be.. Gümüdei-yin bari=γsan

ハーン の 詔。 ソブディ・ドーレンに 送った。 グムデイ の 捕えた

γ'urban ger kümün-i tus'-tu Dügüreng γ'ajar

三 戸 人者 は それぞれ ドーレンが (自分の) 土地

18:2 -t'ay'an yabu=qu-d'u Gümüdei-d'ü jarγ'u ög=či tere γ'urban ger-i

に 行く 時、グムデイに召使として (?) 与え (たもので) その 三 戸は

Gümüdei γ'ar-t'ay'an ab=u=γsan bisi..

グムデイが自分で 手に 入れたの ではない。

18:3 Darmadi ire=küi-d'egen ab=či ire=gsen bayi=n'am.. Darmadi-d'u qariγ'ul=ji

ダルマディが 来るときに 連れて 来た ものだ。 ダルマディに 返して

ög=..

やれ。

文書 19 天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 5 日]

(1) ○ ice sunja de.. horcin i tusiy_e_tu han de elbege be takūraha.. arui
初 五日 に、ホルチンのトシエトハーンにエルベグを遣わした。アロの
sun dureng..

スン・ドゥーレン

(2) dalai cukekur.. duin taiji de baindari be takūraha..

ダライチュケクル、四 王 に バインダリを遣わした。

19:1 【tusiy_e_tu han de unggihe bithei gisun】 qay'an-I ĵarliγ.. Tü'siyetü^qay'an-d'u
トシエト・ハーンに送った書の言葉 ハーンの詔。 トシェート・ハーンに

19:2 ilege=be Kitad-tu morda=qula qosiy'un-I ĵay'uγ'ad čerig morda=qu ge=ĵi
送った。漢人に出征するならば、旗の 百人ずつの兵が 出征すると言って
bile.. ĵay'uγ'ad morda=qu bayi=tuγ'ai..

いた。百人ずつ 出征するのは止めるがよい。

19:3 tabiyad čerig morda=ĵu ire=.. bisi olan aγta-yin küči-gi bütegei ebde=
五十人ずつの兵が 出征して 来い。他の多くの驍馬の力を 損なうな。
qoyitu qabur n'oγ'uγ'an γ'ar=qu

来 春に 青草が 出る

19:4 -yin urida Čaqar-tu čerig morda=qu bui.. en'e üge+i_gi yeke ulus'-tu
前 に チャハルに 出征する だろう。この言を 大 国 に
büü kele=.. čerig-Yin bolĵuγ'un

告げるな。兵 の 約束 は

19:5 Yangsimu-yin Dorbi-d'u en'e sara+yin qorin doluγ'an-d'u kür=či ire=..
ヤンシムのドルビに、この月の二十七日に到着せよ。

1
 1
 2
 3
 4
 5
 6

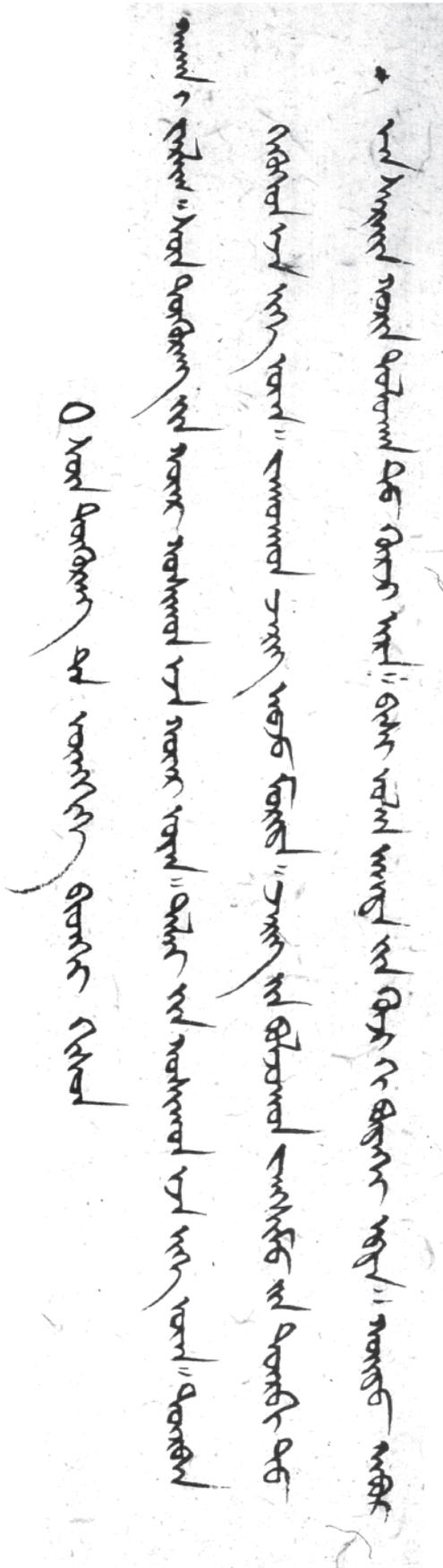
2
 3
 4
 5
 6

文書 20 天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書 [天聰5 (1631) 年7月5日]

- 20:1 qaq'an-I ĵarliγ.. qosiy'un-I n'ijeged n'oyad ĵay'uy'ad čerig morda=ĵu
ハーンの 詔。 旗の 一人ずつの ノヤン、百人ずつの 兵が 出征して
ire=.. bisi olan ayta-yin küči-gi
来い。 他の 多くの 驃馬の 力を
- 20:2 bütegei ebde=.. qoyitu qabur n'oy'uy'an γ'ar=qu-yin urida Čaqar-tu čerig
損なうな。 来 春 青草が 出る 前に チヤハルに 出征
morda=qu bui.. en'e üge+i_gi
する だろう。 この 言葉
- 20:3 yeke ulus'-tu büü kele=.. čerig-Yin bolĵuy'un Yangsimu-yin Dorbi-d'u
大 国に 告げるな。 兵の 約束は ヤンシムの ドルビに
en'e sara+yin qorin doluy'an-d'u
この 月の 二十 七日に
- 20:4 kür=či ire=.. Sün^dügüreng-Yin qoyar qosiy'un-ača qoyar n'oyan..
到 着せよ。 スン・ドゥーレンの 二つの 旗から 二人の ノヤン、
Dalai-yin qosiy'un-ača n'ige n'oyan..
ダライの 旗から 一人の ノヤン、
- 20:5 Dörben^kegüked-eče n'ige n'oyan ire=.. tabiyad čerig-i bayilya=γsan
四 子から 一人の ノヤンが 来い。 五十人ずつの 兵を 留めさせた
siltay'an ayta-yin küči ebdere=kü-yin
理由は、 驃馬の 力が 損なわれる
- 20:6 tula bayilya=ba::
ので 止めさせた。

(1)

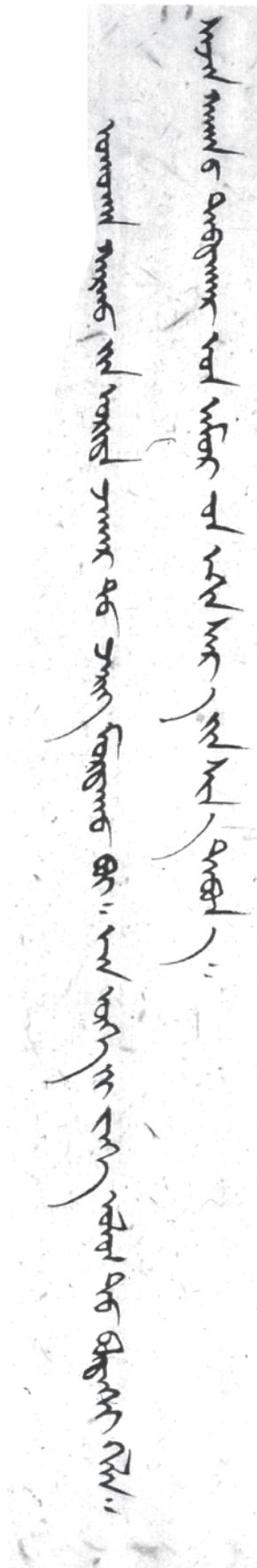
1
 2
 3



0
 1
 2
 3

4

5



4
 5

文書 21 天聰ハーンがスン・ドゥーレンに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 5 日]

- (1) ○ sun dugureng de unggihe bithei gisun
スン・ドゥーレン に 送った 書 の 言葉

21:1 qay'an-I jarliy.. Sün^dügüreng-Yin qoyar qosiy'un-ača qoyar n'oyan..
ハーン の 詔。 スン・ドゥーレン の 二つの 旗から 二人の ノヤンが、
Dalai-yin qosiy'un-ača n'ige n'oyan.. Dörben
ダライの 旗 から 一人の ノヤンが、 四

21:2 ^kegüked-eče n'ige n'oyan.. jāy'uy'ad čerig ab=ču morida=.. čerig-Yin
子 から 一人の ノヤンが、百人ずつの兵を 率いて 出征せよ。 兵 の
boljuγ'un Yangsimu-yin Döribi-d'ü
約束は ヤンシム の ドゥルビに

21:3 en'e sara+yin qorin doluγ'an-d'u kür=či ire=: bisi olan ayta-yin küči-gi
この 月 の 二十 七日 に 到着せよ。 他の 多くの 驃馬 の 力 を
bütegei ebde=.. qoyitu qabur
損なう な。 来 春

21:4 n'oγ'uy'an γ'ar=qu-yin urida Čaqar-tu čerig morda=qu bui.. en'e üge-yi
青 草 が 出る 前に チャハルに 出征 する だろう。 この 言 を
yeke ulus'-tu bütegei kele=..
大 国 に 告げる な。

21:5 Sečen^qay'an-u tabday'ar on n'amur-un ekin sar_a-yin sin'_e tabun'-a..
セチェン・ハーン の 第五 年 秋 の 初の 月 の 初 五日 に。

(1) 1 2 3

1774 in March 21st
 1774 in March 21st
 1774 in March 21st
 1774 in March 21st

文書 22 天聰ハーンがダライ・チュケグル、四子に送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 5 日]

(1) ○ dalai cukegur duin taiji de unggihe bithei gisun
ダライ・チュケグル、四子に送った書の言葉

22:1 qay'an-I jarliy.. Dalai^čükegür Sengge^mergen^qosiuči-d'u ilege=be
ハーンの詔。ダライ・チュケグル、セング・メルゲン・ホショーチに送った。
ta bügüdeger kelelče=jü Urad-tu elči
汝らは皆で協議して、オラドに使者を

22:2 ilege= in'aysi ire=kü.. ülü ire=küi-yi labda üge ab=či ire=tügei
派遣せよ。此方へ来る(か)来ない(か)を確かな言質を取って来るがよい。
Urad Kingy'_a siqa=jü ire=gsen-i
オラドがヒンガに糺して(?)来たのを

22:3 Eljige-yin kegüked Jalayid may'u üge kele=jü qoyisi qari=ba ge=n'em
エルジゲの子供のジャライドが悪言を告げて、戻って帰ったという。
yay'ara=jü ilege=...:
急いで派遣せよ。

(1) 1 2 3 4 5 6

1. 2. 3. 4. 5. 6.

and, there is a great deal of...
 and, there is a great deal of...

文書 23 天聰ハーンがアオハン、ナイマン、バーリン、ジャルドに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日]

(1) ○ ice uyun de aohan.. naiman.. barin.. jarut beise de unggihe bithei gisun..
初 九日に アオハン、 ナイマン、バーリン、ジャルドの諸王に送った書の 言葉。

23:1 qay'an-I jarliy.. Auqan N'aiman-I n'oyad-tu. Bay'arin-I n'oyad-tu..
ハーンの 詔。 アオハン、ナイマンの ノヤン達に、 バーリンの ノヤン達に、
Jaruy'ud-Yin n'oyad-tu ilege=be mal üje=kü kümün-eče bisin-i bügüde
ジャロドの ノヤン達に 送った。 家畜を 見守る 者 以外 (の者) を すべて
ab=či
率いて

23:2 morida= ayta ilegü_tü kümün ayta-ban teske=.. man-d'u
出征せよ。 駙馬を余分に持っている者は (自分の) 駙馬を 割り当てよ。 我ら に
tusiya=γsan dayisun-i bide
委ね た 敵 を (に対して) 我らは

23:3 bügüdeger kičiye=küle.. tengri man'+i_gi qayirala=ju.. dayisun kümün-i
皆 で 努めれば、 天は 我ら を 愛しんで、 敵 人 を
doruyitay'ulγ'un=ju[doruyitay'ulγ'un=ju!]
弱めさせて

23:4 amura=qu bisi+ü dayisun kümün-I tari=γsan tariyan-d'u man'+I unu=γsan
安泰となる ではないか。 敵 人 の 耕した 畑 で 我ら の 乗った
ayta-ban
駙馬 を

23:5 borda=ju buday'_a ab=u=y_a.. čerig-ün boljuγ'_a[bonjuγ'_a!] en'e
飼養し、 穀を 奪おう。 兵 の 約束は この
sar_a-yin qorin doluy'an edür
月 の 二十 七 日

23:6 Yangsimu-yin Dorbi-d'u kür=či ir_e::
ヤンシムの ドルビに 到 着せよ。

文書 24 天聰ハーンがオモブチュケクルに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日]

- 24:1 ○ qay'an-I jarliγ.. Ombu^čüikügür.. Ay'un^tayiĵi.. Dügüreng-Yin
ハーンの 詔。 オンブ・チュイクグル、アゴン・タイジ、ドゥーレンの
Gümüski.. Siran_tu^kiy_a^taiĵi
グムスキ、 シラント・キヤ・タイジ、
- 24:2 Genggel^kiy_a^n'oyan.. Tonui^günĵi-d'ü ilege=be.. moritai yabay'an-i
ゲンゲル・キヤ・ノヤン、 トノイ・グンジに 送った。 騎 兵、 歩 兵 を
bügüde ab=či
すべて 率いて
- 24:3 morida=.. ilegütü kümün ayta-ban teske=.. man-d'u tusiya=γsan
出征せよ。 余分にもつ者は (自分の) 驢馬を割り当てよ。 我らに 委ねた
dayisun-i bide
敵を (に対して) 我らは
- 24:4 bügüdeger kičiye=küle.. tengri man+i_yi qayirala=ĵu.. dayisun kümün-i
皆で 努めれば、 天は 我々 を 愛しんで、 敵 人 を
- 24:5 doruyitay'uly'ul=ĵu bide amura=qu bisi+ü.. dayisun kümün-I tari=γsan
弱めさせて、 我らは 安泰になる ではないか。 敵 人 が 耕した
tariyan-d'u man'+I
畑 で 我らの
- 24:6 unu=γsan ayta-ban borda=ĵu buday'_a ab=u=y_a.. čerig-ün bolĵuy'_a en'e
乗った 驢馬を 飼養し、 穀を 奪おう。 兵 の 約束は この
sar-Yin qorin
月の 二十
- 24:7 doluy'an edür Yangsimu-yin Dorbi-d'u kür=či ir_e=..
七 日 ヤンシム の ドルビに 到 着せよ。

1
O amul... the... of... and in... of... and...

2
And... the... of... and... of...

3
the... of... and... of... and...

文書 25 天聰ハーンがチョクト太后に送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 9 日]

- 25:1 ○ qay'an-I jarliγ.. Čoy_tu^tayiqu-d'u ilege=be.. Kitad-ača Auqan-I
ハーンの 詔。 チョクト 太后 に 送った。 漢人 から アオハンの
Dara^eke-d'ü ire=gsen bosquł
ダラ・エケに やって来た 逃亡人
- 25:2 -Yin ĵiruy'uγ'an[ĵiry'uγ'an?] mori.. qoyar olbuy qoyar n'umu_tai-yi
の 六頭 の 馬を、 二領の 綿甲、 二張の 弓 とともに
ab=či ge=n'em čay'aĵa
奪った という。 法度が
- 25:3 n'ige_tü ulus' bayi=tal_a yay'un-d'u ab=u=bam.. tere ab=u=γsan-i
一つの 国 でありながら、 何 で 奪ったのか。 その 奪ったものを
qariγ'uł=ĵu ög=gü=ltei bisi+ü..
返してやるべき ではないか。

(1)

On the other hand, the...

(2)

On the other hand, the...

1

On the other hand, the...

2

On the other hand, the...

文書 26 天聰ハーンがトシエト額駙に送った文書 [天聰 5 (1631) 年 7 月 19 日]

- (1) ○ juwan uyun de caharaci ukame jihe niyalmai medege be alaname tusiy_tu efu
十九日 にチャハルから逃げて来た 者の 消息 を 告げるためにトシエト額駙
- (2) de boboi be takūraha.. sun dugureng de sibatai be takūraha..
に ボボイを 遣わした。 スン・ドゥーレンに シバタイを 遣わした。

26:1 【tusiy_tu efu.. sun dureng de takūraha bithei gisun】 Čaqar-ača
トシエト 額駙 スン・ドゥーレンに 遣わした 書 の 言葉 チャハルから

26:2 Boru^qorč'in-I n'ige tayiji.. Kündülen^čükegür-Yin n'ige kümün γ'urban
ボロ・ホルチンの一人の タイジ、クンドレン・チュケグルの 一人の 者 三人の
ere qoyar em_e_t'ei
男、二人の 女と一緒に

3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is written on a piece of paper with numbered lines (3-11) on the left side. The script is dense and difficult to decipher without a key.

- 26:3 bosaqul[bosqul?] ire=be.. Čaqar Kitad-ača sang ab=u=γ'ad čai-gi yekele=ǰü
逃亡人が 来た。チャハルは 漢人から 倉を 奪い、 茶を 大いに
ab=či Qurqan-I
奪い ホルハンの
- 26:4 qay_a-ača ǰegün qoyisi n'egü=be ge=nem.. olan-I üge aru-yin ǰin'üng
境 から 東 北 へ 移動した という。衆人 の 話は、北のジノンが
Qalqa-ača
ハルハから
- 26:5 qay'ača=ǰu in'aysi bol=ba ge=ǰü tos=u=y_a ge=kü ge=nem.. ǰarimud-Yin
離別して、こちら方になった とて 備えよう という そうだ。ある者たちの
üge aru-d'u n'ige
話は、北に 一
- 26:6 keseg ulus' bai ge=nem tegün-i dobtul=u=y_a ge=nem ge=ǰü.. ǰerdem üge bai
群の 人々がある そうだ。それを 攻撃しようと言っているというのは、流言 だ
ge=nem.. labda
という。確かに
- 26:7 kičiye=kü üge Sün^dügüreng Dö'rben^kegüked Sira^mören-eče qoyisi
気をつけるべき 話は、スン・ドゥーレンと、四 子が シラ・ムレンから 北の
ay'ulan-I ö'büdüg
山の 麓
- 26:8 -eče ab=u=n bai ge=nem.. tegün-d'ü morida=qu bui Gegen^qay'an-I qota-yin
から掠奪しているという。それに対して出征する だろう。ゲゲン・ハーンの 城市 の
ǰegün-d'e talbi=ǰu
東 に 配置した
- 26:9 ge=ǰü üker qoni-gi tariyačin-i silγ'a=ǰu čerig ab=či aduy'u-ban ab=u=γ'ad
と 牛、羊 を、農夫 を 選んで、兵を 率いて、馬群 を 連れて
yay'ara=ǰu morida=ǰu
急いで 出立して
- 26:10 n'egü=be ge=nem.. en'e qabur-Yin qubiya=γsan ǰisiyan-I γ'aǰar-a mön
移動した という。この 春 の 仕分けた 割り当て の土地に 同様に
tabiyad qaray'ul γ'ary'a=ǰu
五十人ずつ 見張りを 出して
- 26:11 yay'ara=ǰu ilege=..
急いで 派遣せよ。

文書 27 天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書 [天聰 5 (1631) 年 11 月 19 日]

(1) ○ juwan uyun de..
十 九 日 に。

27:1 Sečen^qay'an-u ĵaralay[ĵarlay?]. Tüsiy_e_tü^qay'an-du bičig ilege=be::
セチェン・ハーンの 詔。 トシェート・ハーン に 書 を 送った。

27:2 oda tan-du čaqar-ača emiyegde=kü ügei.. Aγ'un-I aq_a degü-degen
今、汝らは チャハルを 恐れるべきで ない。アゴンの 兄 弟 に
kele=ĵü.. n'utuγ-iyān
告げて、(自分の) 牧地を

27:3 baray'un degegsi n'utuγla=.. n'utuγ oyir_a bol=qula yay'um_a san'a=qu-du
西 方 に 居住せよ。 牧地が 近く ならば、 ものを 考えるの に
sayin bisi+ü..
よい ではないか。

27:4 teyimü-yin učir-i či ülü mede=kü buyu.. yambar ba sanay'_a-ban
そのようにする 理由を 汝は 知らない のか。 どんな (自分の) 考えであれ
Sangγ'arĵai-du kele=ĵem::
サンガルジャイに 告げる (?)。

27:5 tary'un ayta-ban büü ebde>:: turaqan ayta-gi borduy'ul=.. ʄ'orlus..
肥えた 騙馬を 損なうな。 瘦せた 騙馬 を 飼養せよ。 ゴルロス、
Ĵalayid.. doluy'an tayijī-n'ar..
ジャライド、七人の タイジ達、

27:6 Darqan^tayijī-yin kegüked-t'ü sayin kümün-i elči ĵaru=ĵü..
ダルハン・タイジの 子供 に すぐれた 者を 使者として 遣わして、
teden[tenden!]-I n'utuγ-i tan-I ĵüg tata=ĵü..
彼らの 牧地 を 汝らの 方へ 引き寄せて

27:7 kedün aqa degü bügüdeger n'eyile=ĵü.. aru-yin Abay'_a-luy'_a ürgülĵile=ĵü
何人かの 兄弟が 皆 合流して、 北 の アバガ と 連なって
n'utuγla=.. čin'adu tabun qosiy'un
居住せよ。 あちらの 五つの 旗の

27:8 n'utuγ-i in'aysi es'_e tata=qula.. ali ba yabudal-du n'utuγ qola ge=ĵü ese
牧地 を こちらに 引き寄せ なかったら、 どんな ことでも 牧地が 遠い と言って 到
kür=či ire=küle nige mösün
着しなければ、 ついには

9

Handwritten text on a vertical strip of paper, likely a fragment from page 379. The text is written in a cursive script and is oriented vertically.

10

Handwritten text on a vertical strip of paper, likely a fragment from page 380. The text is written in a cursive script and is oriented vertically.

11

Handwritten text on a vertical strip of paper, likely a fragment from page 380. The text is written in a cursive script and is oriented vertically.

- 27:9 dayisun bol=qu teden-I Day'uur-i iĵay'ur-un kelelče=gsen γ'aĵar-a
 敵に なる。彼ら の ダゴールを 元々 協議した 土地に、
 qabur ĵöge=tügei.. tan-I sibege-gi
 春に 運ぶがよい。汝らの 垣を
- 27:10 Ula-du ĵöge=y_e ge=ĵi kelelče=_be ge=nem.. büü ĵöge=.. ʄ'orlus'-ača
 ウラに 運ぼう と 協議した という。運ぶな。 ゴルロスから
 ab=u=γsan aduy'u-gi čay'aĵan-I toy'_a-bar
 徴した 馬群 を 法度 の 数 に従って
- 27:11 ab=.. ilegü aduy'u-gi qariγ'uł=ĵu ög=::
 徴せ。余った 馬群 を 返して やれ。

文書 28 天聰ハーンがトシェート・ハーンに送った文書 [天聰5 (1631) 年 11 月 28 日]

- 28:1 【○ tere inenggi horcin de unggihe bithei gisun..】 Sečen^qay'an-I jarliγ..
その 日、ホルチンに送った 書 の 言葉。セチェン・ハーンの 詔。
Tüsiy_e_tü^qay'an-d'u bičig ilege=be.. Aγ'un-I yalatai či
トゥシェート・ハーンに 書を 送った。アゴンの 罪がある
- 28:2 n'oyad.. yala ügei či n'oyad.. mendü asaγ'u=y_a ge=jü ire=küi-gi qori=ju
ノヤン達も、罪がないノヤン達も、ご機嫌を伺おう と やって来るのを禁じて
bayily'_a=.. ayta
やめさせよ。 騙馬
- 28:3 -yin küči ebdere=kü.. aliba yala-d'u tor=u=γsan n'oyad ayta-yin küči-gi
の 力が 損なわれる。いかなる 罪に 科された ノヤン達も 騙馬の 力 を
ebde=l_ügei yabu=ju..
損ねること なく 行って、
- 28:4 kelelče=gsen čay'aǰan-I ügen+degen kür=či yabu=qula keregtei bui j_a..
協議した 法度 の 言の 通りに 行うことが、 必要 だろう。
kelelče=gsen üge+ben ebde=ged
協議した (自分の) 言を 破って、
- 28:5 ayta-yin küči ebde=n.. aliba ayan-d'u kür=či ire=l_ügei yabu=ju bayi=ji..
騙馬 の 力を 損なって、いかなる 遠征に (も) 到来すること なく いながら、
mendü asaγ'u=y_a
機嫌を 伺おう
- 28:6 ge=jü ire=kü yaγ'un kereg..
と言って 来るのは なんの 事か。

文書 29 天聰ハーンがタンシャイに称号を与えた文書 [天聰 5 (1631) 年 12 月 11 日]

(1) ○ juwan emu de tangšai de gebu buhe gisun..
十 一 日に タンシャイに 名を 与えた 言葉。

29:1 Sečen^qay'an-u jarlay.. Dalingqu-yin bayiri-du Tangšai-yi sayin yabu=ba
セチェン・ハーンの 詔。 大陵河 の 陣で タンシャイが 立派に 行動した
ge=ǰü.. quyay ög=čü Darqan^qosiy'uči čola ög=be..
と、 鎧を 与え、 ダルハン・ホショーチの 称号を 与えた。

29:2 egün-eče qamuγ-un elčid. aliba n'oyad.. ulay'_a ülü unu=qu..
これ より、衆 の 使者達も、いかなるノヤン達も、(タンシャイの) 馱馬に乗らず、
sigüsü ülü ide=kü.. ene
糧食を 食べない。 この

29:3 Darqan čol_a ür_e-yin ür_e-dü kür=tele ülü tasura=qu..
ダルハン の 称号は 子々 孫々 に 至るまで 絶たれる ことがない。

文書 30 天聰ハーンがスン・ドゥーレン等に送った文書 [天聰 5 (1631) 年 12 月 21 日]

(1) ○ tere inenggi monggo de elcin unggihe..
その 日に モンゴルに 使者を 遣わした。

30:1 ○ Sün[^]dügüreng.. Bandi[^]üijeng.. Dalaqai[^]jayisang..
スン・ドゥーレン、バンディ・ウェイジェン、ダラハイ・ジャイサン、
Sayang[^]mergen.. Bambu[^]čükegür..
サヤン・メルゲン、バムブ・チュケグル、

30:2 Dung[^]dayičing.. egün-d'ü Bayari..
ドン・ダイチン、これ に バヤリ (を遣わし)、

30:3 ○ Dalai[^]čükegür.. Dara[^]eke.. Qayisa[^]bay'atur.. Dörben[^]kegüked..
ダライ・チュケグル、ダラ・エケ、ハイサ・バートル、四 子
egün-d'ü Güwendüi..
これ に グウエンドウイ (を遣わし)

30:4 ○ Bay'arin.. Jisud.. Qara[^]čerig.. Qaračin[^]tümed-Yin n'oyad
バーリン、ジソド、ハラ・チェリグ、ハラチン・トゥメトの ノヤン達、
tabunung-ud.. egün-dü Sundari..
タボノン達 これ に ソンダリ (を遣わし)、

30:5 ○ Auqan.. N'aiman.. Jaray'ud-Yin baray'un γ'ar jегün γ'ar.. egün-d'ü
アオハン、ナイマン、ジャロードの 右 翼、左 翼。これ に
Učitu.. 【ere duin】
オチト (を遣わした)。この 四

(2) niyalma be takūraha bithei gisun
人 を 遣わした 書の 言葉

30:6 ○ qay'an-I jarliγ.. qosiy'u+ban mede=kü n'oyad bügüde aliba ög=kü ab=qu
ハーンの 詔。(自分の)旗 を 司る ノヤン達は 皆 いかなる 渡し、受け取る
yalatan-i ab=u=n sin'_e sar_a-yin jirγ'uγ'an sine+de
罪人 を 連れて 正 月 の 六 日 初 に

30:7 Dörben[^]kegüked deger_e čuγla= en'e čiy'ulγ'an-d'u ese ire=küle..
四 子 の ところに 集まれ。この 集会 に 来なければ、
čiy'ulγ'ač'in n'oyad tegün-I
集まった ノヤン達は 彼 の

8

Handwritten text on a narrow strip of paper, likely a fragment from page 8. The script is cursive and runs vertically.

9

Handwritten text on a narrow strip of paper, likely a fragment from page 9. The script is cursive and runs vertically.

10

Handwritten text on a narrow strip of paper, likely a fragment from page 10. The script is cursive and runs vertically.

11

Handwritten text on a narrow strip of paper, likely a fragment from page 11. The script is cursive and runs vertically.

- 30:8 deger_e bay'u=ju ulay'_a unu=ju sigüsü ide=kü.. n'oyad üriy_e dayay_a
 ところに 留まり、 馱馬に 乗り、 糧食を 食す。ノヤン達は 三歳馬と 二歳馬に
 un'u=.. eng yalatan
 乗れ。 並の 罪人は
- 30:9 üker temege un'u=.. ayta-yin küči büü ebde=.. ile γ'ar=u=γsan kedün
 牛と 駱駝に 乗れ。 馱馬 の 力を 損なうな。 明らかに なった 何人の
 qulay'ayiči bol=u=sa
 盗人が であっても
- 30:10 bügüde bari=ju ab=či ire=.. qulay'ayiči-yi daldala=ju ker be orγ'u=ju
 皆 捕えて 連れて 来い。 盗人 を 隠して、 もし 逃がして
 bos=ču eči=küle
 逃げて 行けば、
- 30:11 tegün-I n'oyan-d'u_n'i yeke yalatai bui..
 そ のノヤン には、 大 罪と なる。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- 1

〇 何れも其の如く...
 〇 何れも其の如く...
 〇 何れも其の如く...
 〇 何れも其の如く...

文書 31 天聰ハーンがジャライト部などに送った文書 [天聰 6 (1632) 年正月 3 日]

- (1) ○ ice ilan de.. arui han i emu elcin.. taihū i emu elcin.. dubai emu elcin ere
初 三日 に。アロのハーンの一人の使者、太后の一人の使者、ドバの一人の使者この
ilan elcin de
三人の 使者 に
- (2) emde suje.. jakūda morin buhe.. erei emgi han i budu mal genehe..
一つずつの緞子、八頭ずつの馬を与えた。これとともに、ハーンの ? ? 行った。
esei gamaha bithei gisun..
彼等の持っていった書 の 言葉。
- (3) aroi urad gurun i han.. taihū.. kumu hong bagatur.. cok_tu buke noyan..
北部のオラト国の ハーンと太后、クムホンバートル、 チョクトブケノヤン、
tuba erke taiji..
トバエルケタイジ、
- (4) habu naiji noyan.. tumen darhan taiji.. mujai tural noyan.. tui hadan bagatur
ハブナイジ ノヤン、トメンダルハンタイジ、モジャイトレルノヤン、トイハダンバートル
ese de
彼等に
- 31:1 qay'an-I ĵarliy bičig.. Ĵalayid ʄ'orlus' Elĵige-yin kegüked.. n'ige morin-I
ハーンの 詔 書。 ジャライド、ゴルロス、エルジゲの 子供達が 一頭の 馬 の
ün'e+ber tan-ača dörbe tabu mori
値段 で 汝らから 四頭、五頭の 馬を

2

3

4

5

6

7

8

9

10

2 3 4 5 6 7 8 9 10
 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000

- 31:2 ab=qu-yin tula.. tan-d'u qudal-iyar ayily'a=ju öber-tü büü oru=tuy'ai
 買うので、汝らに嘘で恐れさせて、別の所(?)に入らないように
 ge=n'em bisi+ü.. teden-ü
 と言っているではないか。彼らの
- 31:3 ügen-d'ü büü oru=.. Čaqar-Yin qay'an Abay'_a-yin jin'üng-d'ü čerig
 言葉に乗るな。チャハルのハーンがアバガのジノンに兵を
 morda=γsan učir-tu
 出したが故に
- 31:4 bide Čaqar-ača kele bari=ju ire+=ge=ji ilege=jü bile.. ter_e ilege=gšen-i
 我らはチャハルから言質を取って来いと派遣していた。その派遣したことを
 mede=jü jin'üng-i simda=ju
 知って、ジノンを急いで
- 31:5 n'eke=l_ügei ger жүг yay'ara=ju qari=ji ge=le.. man'+I_ki Kitad-tu
 追わずに、家へ向かって急いで帰ったと言った。我らのものがキタドに
 morda=γsan-i Čaqar mede=jü
 出征したのをチャハルが知って
- 31:6 Dalayi-gi dobtal=u=γ'ad.. man'+I čerig bay'u=γsan-i son'us=ču..
 ダライを攻撃して、我らの兵が駐留したのを聞いて、
 n'eke=n'em ge=jü emiye=jü yay'ara=ju qari=ji
 追っていくと危惧して、急いで戻って
- 31:7 bayi=n'am.. Dalayi-yin ulus'-ača.. tan-I keltegei say'u=γsan-i
 いる。ダライの国から、汝らが偏って(?)居住したことを
 Čaqar mede=jü .. oda tan-d'u
 チャハルが知って、今や、汝らに(対して)
- 31:8 morda=qula tan'+i ken emügle=kü bui yay'ara=l_ügei yabu=ju mör-tü tan-I
 出征すれば、汝らを誰が守るのか。急ぐことなく行って道に(←汝らの)
 oru=ju ülü ab=qu buyu..
 入って略奪しないか。
- 31:9 ulus' mal-iyān abta=γsan qoyin'a man'+I жүг oru=bači kereg buyu.. man+du
 民と家畜が取られた後、我らの方に降っても役に立つのか。我らと
 n'eyile=küle tan-d'u
 合すれば汝らにとって
- 31:10 amur bisi+ü::
 安泰ではないか。

(1) (2) 1 2 3 4 5

Handwritten text on the left margin, possibly a date or reference.

Main body of handwritten text, organized into five numbered columns (1-5) from right to left. The text is written in a cursive script.

文書 32 天聰ハーンがガルジョー・セデルに送った文書 [天聰 6 (1632) 年正月 24 日]

(1) tere ubasi elcin

その使者・オバシ

(2) de unggihe bithei gisun

に 与えた 書 の 言葉

32:1 Sečen^qay'an-I jarliy bičig.. ʃ'aljay'u^seder-tü ilege=be.. ijay'ur-ača
セチェン・ハーンの 詔 書。 ガルジョー・セデル に 送った。 元 より
edüge bol=tala ende elči tasura=l_ügei
今 まで ここに 使者を 絶えることなく

32:2 yabuy'ul=ba či.. alus'-Yin yabudal-i ülü mede=kü aq_a degü-iyen[!] ügen-d'ü
遣わした、 汝は。 遠く の 出来事 を 知らない 自分の兄弟の 言 を
oru=ju buruy'u yabudal-iyar
信用して、 悪い 行い を

32:3 yabu=qu čini yay'u+bi.. Düngei-d'ü morda=qu-d'u es'_e morda=ba.. tegün-I
歩むのは (←汝が) 何だ。 ドウンゲイに 出征する時に 出征しなかった。 その
qoyin'_a Kitad-Yin qay'an-I
後、 キタド の ハーン の

32:4 qota-d'u morda=qu-d'u es'_e morda=ba.. tegün-I qoyin'_a qabur-Yin
城 に 出征する 時には 出征しなかった。 その 後、 春 の
čiy'ulγ'an-d'u es'_e ire=be..
集会 に 来なかった。

32:5 Dalingqu-d'u morda=γsan-d'u bas'_a ese morda=ba en'e yabudal tan'+I
大陵河 に 出征した 時にも 出征しなかった。この 行いは (←汝らの)
jöb buyu.. tengri ker be
正しいか。 天が もし

6

7

8

9

10

11

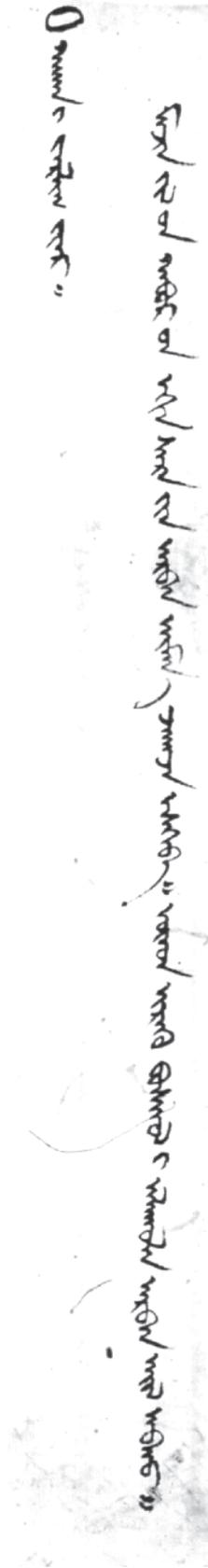
12

12
 11
 10
 9
 8
 7
 6

- 32:6 man'+i qayirala=ju Kitad Čaqar qoyar+i_gi doruyitay'ul=u=γsan qoyin'a..
 我ら を 愛しんで、 キタドと チャハル の二つを 衰えさせた 後、
 ta yabu=qu say'u=qu γ'aǰar ol=qu
 汝らが行く所 住む 所を 得るのは
- 32:7 berke bui j_a.. en'e üge min'ü bardam bisi.. tengri man'+i_gi qayirala=ju
 困難であらう。この言は(←私の)奢りではない。天が我ら を 愛しんで
 yabu=qu-d'u yeke törü
 いる 時には大 道 が
- 32:8 oyir_a bol=ǰam.. oda či bol=u=sa uridu buruy'u+ban mede=ǰü egün-I qoyin'a
 近くなる(だろう?)。今、汝は 以前の(自らの)非を 悟って、この 後
 aliba ayan čerig-tü
 いかなる遠 征 でも
- 32:9 bolǰiyan-I γ'aǰar-a urid kür=čü ire=ǰü ayta-yin küčü-gi ebde=l_ügei
 約束の所に 先に 到着して、 驢馬の 力を 損なうことなく
 yabu=ǰu.. n'utuy-ıyan
 行き、(自らの)牧地を
- 32:10 qoyisi qaru=l[qara=l?]-ügei yabu=ǰu.. N'eligüd^day'ur-ıyan inaysi
 戻り 見ることなく 行き、 ネリグド・ダグルを こちらへ
 ǰöge=ǰü yabu=qula uridu may'u-gi
 運んで(?) 行くなれば、 以前の 非を
- 32:11 tan'+I n'eke=ǰü yala ki=kü ügei.. mön iǰay'ur-Yin buruy'u yabudal-i
 (←汝らの) 追及して 罰 としない。同じ様に元の 悪 行を
 ese orki=ǰu
 捨てずに
- 32:12 yabu=qula man-d'u elči yabuy'ul=ǰu yay'u+ki=m.. dayisun-I yosu+bar yabu=
 行くなれば、我らに 使者を 派遣して どうするのか。敵の 道を行け、
 ta..
 汝らは。

1

2



文書 33 申年の法度 [天聰 6 (1632) 年正月 18 日]

33:1 ○ qay'an-I jarliγ-iyar
ハーンの詔 によって

33:2 mečin jil-ün qabur-un ekin sara-yin arban n'aiman'-a čay'aǰa eske=be..
申 の 年 の 春 の 初 の 月 の 十 八 日 に 法 度 を 剪 裁 し た。
n'oyad ire=kü bosqul-i ala=qula arban ayil ab=qu..
ノヤン達 が や っ て 来 る 逃 亡 人 を 殺 せ ば、十 戸 を 徴 す る。

3

Handwritten text line 3

4

Handwritten text line 4

5

Handwritten text line 5

6

Handwritten text line 6

7

Handwritten text line 7

8

Handwritten text line 8

9

Handwritten text line 9

10

Handwritten text line 10

11

Handwritten text line 11

12

Handwritten text line 12

- 33:3 qaraču kümün ala=qula kedün ala=γči kümün-i bügüde-yi ala=qu..
 平民が 殺せば 何人でも 殺しをした者 を、皆 殺す。
 n'oyan-i[ni?] ala=γči kümün-i γ'ary'a=ji ög=küle tere ala=γči
 ノヤンが 殺しをした 者を 出して 与えれば、その 殺しをした
- 33:4 kümün-I mal-i n'oyan-i[ni?] ab=qu.. gereči-ber γ'ar=qula tere kümün-I
 者の 家畜を ノヤンが 取る。 訴えによって 発覚すれば、その 者 の
 mal-i ni bosqul-Yin jori=γsan n'oyan..
 家畜を 逃亡人 が 目指した ノヤンと
- 33:5 gerečile=gči kümün qoyar qay'as' ab=tuy'ai.. jori=γsan n'oyan-i[ni?]
 訴えた 人の 二人が 半分 (ずつ) 取るがよい。 目指した ノヤン が
 ese γ'ar=qula..
 出なければ、
- 33:6 qay'an ab=qu.. gerečile=gči kümün-d'ü qay'as'-yi+n'_i ög=kü.. n'oyad
 ハーンが 徴する。 訴えた 人 に 半分 を 与える。 ノヤン達が
 qulay'ai daldala=ju may'u+du oru=γsan qoyin'a qulay'ai
 盗人を 隠匿して、 悪い行いをした 後、 盗人
- 33:7 mön bol=ju qoyin'a gereči-ber γ'ar=qula tere n'oyan-ača qorin aduy'u qoyar
 になって、後に 訴えによって 発覚すれば、そのノヤン から 二十頭の馬群、二頭の
 temege ab=qu.. qulay'ayiči-yin eki
 駱駝を 徴する。 盗賊 の 頭
- 33:8 n'ige kümün-i ala=qu.. elči γ'ary'a=qu oru qolbay'_a eme köbegüd-i jolij
 一 人 を 殺す。 使者を 出す、代わりに 倍を取り、女と 子供を 代替
 ügei bari=ji ög=kü.. tere
 なく 捕えて 与える。 その
- 33:9 n'ökür qulay'ayiči-yi qara bey_e ni γ'ary'a=ju eme köbegüd ger mal-i ni
 仲間の 盗人 を 単 身 出して 女と 息子達、家と 家畜を
 tala=ji ab=ču mal-Yin ejen
 没収して、 家畜の 主と
- 33:10 gereči kümün qoyar qay'as' ab=qu.. n'oyan-i[ni?] öbesüben γ'ary'a=ju
 訴えた人 二人が 半分 (ずつ) 取る。 ノヤン が 自ら 出して
 ög=küle qulay'ayiči-yin eme köbegüd üle=gsen
 くれれば、盗人 の 妻と 息子達、 残った
- 33:11 ger mal-i ni n'oyan-i[ni?] ab=tuy'ai.. qara bey_e kümün qulay'ai ki=küle
 家と 家畜を ノヤンが 取るがよい。(単身の?) 者が 盗みを すれば、
 tere qosiy'un-I n'oyan-ača oru qolbay'_a
 その 旗 の ノヤン から 代わりに 倍を
- 33:12 ab=qu.. qulay'ai ab=u=γsan mal-i eber-iyer kür=či üsün-iyen bari=qula mön
 取る。 盗人が 取った 家畜の 角に 触って、毛を 握れば、 同様に
 alaly'an-I yala-d'u bayta=qu.. arban
 殺し の 罪 に 含まれる。 十

13 and note also:
 14 and note also:
 15 and note also:
 16 and note also:
 17 and note also:
 18 and note also:
 19 and note also:
 20 and note also:
 21 and note also:
 22 and note also:

- 33:13 ayil-d'u n'ige daruy'_a talbi= tere arban ayil-ača qulay'ai γ'ar=qula tere
戸に一人の長を置け。その十戸から盗人が出れば、その
daruy'_a-ača qoyar mori ab=qu..
長から二頭の馬を徴する。
- 33:14 daruy'_a γ'ary'a=ju ög=küle gereči-yin yosu+bar ab=tuy'ai.. daruy'_a
長が(盗人を)出してくれば、証人として取るがよい。長を
ese talbi=qula tere n'oyan-ača tabun
置かなければ、そのノヤンから五頭の
- 33:15 mori ab=qu.. tere ab=u=γsan mori-yi ežen gereči kümün qoyar qay'as'
馬を徴する。その徴した馬を主人と訴えた人の二人が半分(ずつ)
ab=tuy'ai.. aliba yala+i_yi
取るがよい。いかなる罪をも
- 33:16 γ'adaysi gerečile=be ge=jü n'oyan-i[ni?] bay'ala=qula tere n'oyan-ača
外に対して訴えたと言ってノヤンが処罰すれば、そのノヤンから
n'aiman mori n'ige temege ab=qu.. bay'ala=ji ab=u=γsan
八頭の馬、一頭の駱駝を徴する。処罰して徴した
- 33:17 mal+i ežen-d'üni qariγ'ul=ji ög=kü.. eber mör qoyar-tu
家畜をその主に戻して与える。訴えた人と訴えられた人の二人に、
elči eberle=gč'i kümün qoyar.. γ'agča[!] mal bol=qula yalatu
使者と密告者に二人は、一頭の家畜であれば、罪ある
- 33:18 kümün-eče ab=tuy'ai.. qoyar mal bol=qula mal-Yin ežen-eče ab=qu..
者から取るがよい。二頭の家畜であれば、家畜の主から取る。
- 33:19 ◎.. n'oyad ire=kü bosqul-i ala=γsan arban ayil.. n'oyad qulay'ai
ノヤン達が到来した逃人者を殺した(ら)十戸、ノヤン達が盗人を
dalđala=ju may'u+du oru=γsan qoyin'a.. qulay'ai
隠匿して、悪いことをした後、盗みが
- 33:20 γ'ar=qula tere n'oyan-ača qorin aduy'u qoyar temege.. n'oyad gereči-yi
出れば、そのノヤンから二十頭の馬群、二頭の駱駝、ノヤン達が訴えた人を
γ'adaysi gerečile=be ge=jü bay'ala=qu_la
外に対して訴えたと言って処罰すれば
- 33:21 tere n'oyan-ača n'aiman mori n'ige temege.. en'e jasay-iyar ab=u=γsan-i
そのノヤンから八頭の馬、一頭の駱駝。この法度によって徴したものは
- 33:22 qay'an ab=qu bol=ba..
ハーンが取ることになった。

(1) (2) (3) 1 (4) 2

Handwritten notes:

1. Handwritten notes:
 2. Handwritten notes:
 3. Handwritten notes:
 4. Handwritten notes:
 5. Handwritten notes:
 6. Handwritten notes:
 7. Handwritten notes:
 8. Handwritten notes:
 9. Handwritten notes:
 10. Handwritten notes:
 11. Handwritten notes:
 12. Handwritten notes:
 13. Handwritten notes:
 14. Handwritten notes:
 15. Handwritten notes:
 16. Handwritten notes:
 17. Handwritten notes:
 18. Handwritten notes:
 19. Handwritten notes:
 20. Handwritten notes:
 21. Handwritten notes:
 22. Handwritten notes:
 23. Handwritten notes:
 24. Handwritten notes:
 25. Handwritten notes:
 26. Handwritten notes:
 27. Handwritten notes:
 28. Handwritten notes:
 29. Handwritten notes:
 30. Handwritten notes:
 31. Handwritten notes:
 32. Handwritten notes:
 33. Handwritten notes:
 34. Handwritten notes:
 35. Handwritten notes:
 36. Handwritten notes:
 37. Handwritten notes:
 38. Handwritten notes:
 39. Handwritten notes:
 40. Handwritten notes:
 41. Handwritten notes:
 42. Handwritten notes:
 43. Handwritten notes:
 44. Handwritten notes:
 45. Handwritten notes:
 46. Handwritten notes:
 47. Handwritten notes:
 48. Handwritten notes:
 49. Handwritten notes:
 50. Handwritten notes:
 51. Handwritten notes:
 52. Handwritten notes:
 53. Handwritten notes:
 54. Handwritten notes:
 55. Handwritten notes:
 56. Handwritten notes:
 57. Handwritten notes:
 58. Handwritten notes:
 59. Handwritten notes:
 60. Handwritten notes:
 61. Handwritten notes:
 62. Handwritten notes:
 63. Handwritten notes:
 64. Handwritten notes:
 65. Handwritten notes:
 66. Handwritten notes:
 67. Handwritten notes:
 68. Handwritten notes:
 69. Handwritten notes:
 70. Handwritten notes:
 71. Handwritten notes:
 72. Handwritten notes:
 73. Handwritten notes:
 74. Handwritten notes:
 75. Handwritten notes:
 76. Handwritten notes:
 77. Handwritten notes:
 78. Handwritten notes:
 79. Handwritten notes:
 80. Handwritten notes:
 81. Handwritten notes:
 82. Handwritten notes:
 83. Handwritten notes:
 84. Handwritten notes:
 85. Handwritten notes:
 86. Handwritten notes:
 87. Handwritten notes:
 88. Handwritten notes:
 89. Handwritten notes:
 90. Handwritten notes:
 91. Handwritten notes:
 92. Handwritten notes:
 93. Handwritten notes:
 94. Handwritten notes:
 95. Handwritten notes:
 96. Handwritten notes:
 97. Handwritten notes:
 98. Handwritten notes:
 99. Handwritten notes:
 100. Handwritten notes:

文書 34 天聰ハーンがナイマンのダルハン・バートルに送った文書 [天聰 6 (1632) 年 2 月 2 日]

(1') jūwe biya
二 月

(1') jūwe šanggiyan
二日 庚

(1) ○ juwe biyai ice juwe de garma taiji de emu suje.. jakūn morin buhe.. garma taiji
二 月 初 二日に ガルマタイジ に 緞子一つ、馬八頭を与えた。ガルマタイジは
jušen gaji
奴才を持って来い

(2) seme habšame jihe bihe.. ede jafabufi naiman i darhan hūng bagatur de
と 告訴しに 来た のだ。 これらを手に取らせて、ナイマンのダルハン・ホンバートルに
unggihe bithe i gisun..
送った 書 の 言葉。

(3) han hendume.. cahar i han uksun mukun be gemu wafi.. funcehe uksun
ハーンの命令。 チャハルのハーンは自分の親戚 をすべて殺して、残った親戚である
suweni g'arm_a
汝らのガルマ、

(4) ahūn deo de acaki seme jihebikai.. ere be darhan hūng batur.. naiman i
兄弟と一緒になろう と 来たのだ。 これ をダルハンホンバートル、ナイマンの
beise suwe gemu gosime
ノヤン達が汝らを 愛しんで、

34:1 qay'an-I jarliy.. Čaqar-Yin qay'an törü=gšen törül-iyen güm ala=ju
ハーンの 詔。 チャハルの ハーンは (自分の) 肉 親を すべて 殺して、
üle=gšen törül tan+I Ğarm_a.. törül-d'egen
残った 親戚 (←汝らの) ガルマは、 (自分の) 親戚と

34:2 n'eyile=y_e ge=jü ire=jem bisi+ü.. egün-i Darqan^qung^bay'atur..
一緒になろうとやって来たのではないか。これをダルハン・ホン・バートル、
N'aiman-I n'oyad ta bügüdeger qayirala=ju
ナイマンのノヤン達 汝らは 皆で 愛しんで、

- (5) gurun ulha ajige ajige[ajiga!] bujiken.. ede buhe seme.. suwe yadambio..
 民と家畜を与えるべきだろう。それに与えても 汝らは貧乏になるのか。
 jobofi jihe
 苦しんできた
- (6) akūn deo be gosime ujici.. goroki donjici hanciki tuwaci gebu sain kai
 兄弟達 を愛しんで受け入れれば、遠くに聞けば 近くに 見れば 名が良いだろう。
- (7) jinung.. batur abai be gosime ujire be suwe gemu sahakūn..
 ジヌン・バートルがアバイを愛しんで養うのを 汝ら 皆が見ていないのか。
- 34:3 baḡaq'an čögūken ulus' mal ög=gü=ltei bisi+ü.. egün-d'ü ög=be ged ta
 いささか 少しく 民と家畜を与えるべきではないか。これに与えたとして 汝らは
 ügegüre=kü buyu.. ĵoba=ĵu ire=gšen
 困窮する か。 苦しんで やって来た
- 34:4 aq_a degü-ben qayirala=ĵu ab=ču yabu=qula qola oyir_a son'us=qu n'er_e-d'ü
 (自分の) 兄弟を愛しんで、受け入れて 行くならば、遠くに 近くに 聞く 名に
 sayin bisi+ü.. Ĵin'üng^baḡ'atur
 良い ではないか。ジノン・バートルが
- 34:5 Abai-gi qayirala=ĵu ab=ču yabu=qui-gi ta bügüdeger es'_e üĵe=be+ü..
 アバイを愛しんで受け入れて行くのを 汝らは 皆 見なかったか。
- 34:6 Sečen^qay'an-I ĵiry'uday'ar on qabur-un dumdadu sar_a-yin qoyar sin'_e..
 セチェン・ハーンの 第 六 年、春 の 中 の 月 の 二 日 初。

文書 35 天聰ハーンがハラチンのトゥメド・オムブチュケグルに送った文書 [天聰 6 (1632)
年 3 月 27 日]

(1) ○ orin nadan de qaracin i tumet ombu cuher de unggihe bithei gisun..
二十七日にハラチンのトメド・オムブチュケルに送った書の言葉。

35:1 qay'an-I jarliy.. čilay'un-d'u čabči=γsan bičig metü ge=kü bol=u=sa..
ハーンの詔。石に刻んだ書のようにだというならば、
n'idunun keüken ulus'-iyan.. eči=jü bolγ'uγ'a=jü ire=sü
去年、(自分の)娘と民を行って慰めて来よう

35:2 ge=gsen-d'ü.. jöb+ki=jü quyaγ mori ög=be.. eči= ge=gsen čay-tu
とした時、承諾して鎧と馬を与えた。行けと言った時に
eči=l_ügei.. öbesüben bayi=γ'ad ayan
行くことなく、自ら止めて、遠征が

35:3 siqam bol=u=γsan-d'u eči=y_e ge=kü tere üge čin'i yaγ'u+bi..
近くに なった ときに 行こう という その 言は (←汝の) 何か。
un'u=qu ayta ügei bol=u=sa en'e ayan-d'u
乗る 駟馬がない ならば、 この 遠征 に

35:4 čin'i bey_e say'u=.. ayan bay'u=γsan qoyin'_a eči=jü ulus' keüken-iyen
汝 自ら 留まれ。遠征が 終わった (?) 後、 行って、(自分の) 民 と娘を
bolγ'uγ'a=jü ire=..
慰めて 来い。

(1) 1 2 3

1. 夫て 二 諸君の 御座る 所 へ 二 参り 申す 所 へ 二
 2. 御座る 所 へ 二 参り 申す 所 へ 二 参り 申す 所 へ 二
 3. 御座る 所 へ 二 参り 申す 所 へ 二 参り 申す 所 へ 二

文書 36 天聰ハーンがハラチンのチョスキに送った文書 [天聰 6 (1632) 年 3 月 29 日]

(1) ○ orin uyun de horcin i cosgi de unggihe bithei gisun..
二十九日 に ホルチンのチョスキに 送った 書 の 言葉。

36:1 Sečen^qay'an-u jarliy bičig.. Čoski-d'u ilege=be.. ayan čiy'ulγ'an
セチェン・ハーンの 勅 書。 チョスキに 送った。 遠征と 集会の
qoyar-tu ülü ire=m ta.. qažiy'ai buruy'u
二つ に 来ない 汝らは。 間違った (ところに)

36:2 n'utuγla=žu yabu=žu ulus' mal-iyān abta=γ'ad ende kele=kü kereg buyu..
居住して 行って、(自分の) 民と家畜を取られて ここで言う ことがあるか。
bol=ba yay'u+bi tan-I may'u-gi
それでも、何があるのか。 汝らの 非を

36:3 san'a=mu.. čuγla=qu boljuγ'an-I γ'ažar-a ire=.. tende kelelče=y_e..
思う。 集まる 約束 の 土地 に 来い。 そこで 話し合おう。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

(1) ...
 (2) ...
 (3) ...
 (4) ...
 1 ...
 2 ...
 3 ...
 4 ...
 5 ...
 6 ...

文書 37 天聰ハーンがハラチンに送った文書 [天聰 6 (1632) 年 4 月 6 日]

- (1) ○ ice ninggun de hara hosio de deduhe tere dedun de emu ihan juwe honin wafi
初 六日 に ハラホシヨに宿泊した。その宿泊したところで牛一頭、羊二頭を殺して
- (2) han ini gūsai geren bayara.. bayarai tui ejede kirui ejede monggo taijisa ..
ハーンの 旗の 多くの護衛兵、 護衛兵 の 大臣、 旗の 主、 モンゴルのタイジ達、
talingkoo i ice
大 陵 河 の新しい
- (3) nikan hafan se be sarilaha.. tere dedun de haracin i monggo
漢 の 大臣達 を (招いて) 宴会をした。その 宿泊所でハラチン の モンゴル
beise de wasimbuha bithei
ノヤン達に 下付した 書の
- (4) gisun
言葉。
- 37:1 ○ qay'an-u jarlay ayan čerig morda=qu-d'u ger-teče γ'ar=u=n jasay
ハーンの 詔。 遠征 に 出る 時、(自分の) 家から 出て、法
čay'aǰa+i_gi umarta=l_ügei čing-e bari=ǰu yabu=..
度 を 忘れること なく、誠を 持って 行け。
- 37:2 qorin kümün-d'ü n'ige yeke daruy'_a.. n'ige bay'_a daruy'_a talbi=..
二十 人 に 一人の大 長と 一人の小 長を おけ。
čurkira=ǰu yeke day'un büü γ'ar=.. yeke day'un γ'ar=qula.. qosiy'un-I eǰen..
騒いで 大 声を 出すな。 大 声が 出るならば、旗 の 主、
- 37:3 n'utuy-Yin eǰen.. γ'al-Yin eǰen.. qorin kümün-I daruy'_a eden-dü
ノトク の 主、 火 の 主、 二十 人 の長、 これらに
yala_tai.. day'un γ'ar=u=γsan kümün-i čay'aǰa+bar ǰanči=qu.. yabu=qu-d'u
罪がある。 声が出た 人 を 法度によって 打つ。 行軍に際して
- 37:4 tuy-ača qay'ača=ǰu n'iǰiged qosiyay'ad yabu=qu kümün-i bari=ǰu tere
羶 から 離れて、一人ずつ、二人ずつ 行く 者 を 捕えて、その
qosiy'un-I eǰen-d'ün'i kürge=ǰü γ'urban lang mönggü ab=.. usun
旗 の 主 に 送り届けて三 両の銀を 徴せ。 水と
- 37:5 tülegen-d'ü ilege=kü+dü tabun kümün-eče degegsi qorsiy'ul=ǰu ilege=..
薪 (を取り) に (人を) 遣る時は五 人 以上を 協力させて 遣れ。
γ'al alda=qula ala=qu yala.. quyay-ača doγ'uγsi sidar-ača
火事を起こせば、死 罰。 鎧 より 下に、 身近 (?) より
- 37:6 degegsi aliba yay'uman-d'u bü'güde bičig biči=.. morin-d'u tamay'_a
上に いかなる物にも すべて 書を書け。 馬 に 烙印を
daru=.. del segül-dü bičig uy_a=.. qaǰay'ar n'oγta-gi qulay'ai
押せ。 鬣と尾 に 書 を 結び付けよ。 轡 と おもがいを 盗め

7

Handwritten text in a vertical column, likely a list or record, written in a cursive script.

8

Handwritten text in a vertical column, continuing the list or record from the previous page.

37:7 ki=küle.. ama+i n'i ĵay'a=qu.. toqum-i qulay'ai ki=küle n'iruy'un-i
ば、口を(←その)割る。鞍敷きを盗めば、背を
qay'ala=qu.. čider-i qulay'ai ki=küle borbi n'i oγtul=qu.. tulai
折る。(馬の)脚紐を盗めば、踵(←その)を切る。兔と
kirγ'uul-d'u
雉を

37:8 dobtul=qula sayin kümün bol=u=sa arban lang mönggü ab=qu.. may'u kümün-i
追えば、優秀な者ならば、十両の銀を取る。悪い者は
ĵanči=qu..
打つ。

(1) 1 2 3 4 5 6

[unintelligible]

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

文書 38 申年の法度 [天聰 6 (1632) 年 10 月 5 日]

(1') juwan biya
十 月

(1') juwe šanggiyan
二日 庚

(1) jirgalang beile.. sahalıyan beile monggo gurun de culgame
ジルガラン・ベイレ、サハリヤン・ベイレがモンゴル 国 に 集い
genefi šajin toktobume buhe bithei
来て、 法度を 定めて 与えた 書の

38:1 【gisun..】 qay'an-u jarlay-ıyar.. Ĵiry'alang^n'oyan.. Saqalıyan^n'oyan.. mečin
言葉。 ハーン の 詔 により、 ジルガラン・ノヤン、 サハリヤン・ノヤンは 申
ĵil-ün ebül-ün ekin
年 の 冬 の 初の

38:2 sar_a-yin tabun sin'e+de Sıralĵıtai-d'u eči=ĵü n'utuy-un ĵısiyay'_a-yi
月 の 五日 初 に シラルジタイ へ 行き、 牧地 の 割当 を
ĵay'a=ĵu ög=gü=ged..
教 えて やって、

38:3 čay'aĵa eske=be.. Mončuy-ača Bay'_a^sar-tu kür=tele Sün^dügüreng..
法度を 剪裁した。モンチョクからバガ・サル に までは スン・ドゥーレン (に)、
Bay'_a^sar-ača Qutači
バガ・サル から ホタチ

38:4 -d'u kür=tele Bay'arin.. Qutači-ača Quwadang-d'u kür=tele Auqan N'aiman..
ま だ は バーリン (に)、ホタチから ホワダン まで は アオハン・ナイマンに、
Quwadang-ača Biruy'u
ホワダン から ビロート・

38:5 _tu^qangy'an-d'u kür=tele Dörben^kegüked Dalai.. Biruy'u_tu^qangy'an-ača
ハンガン まで は 四 子 ダライ (に)、 ビロート・ハンガンから
Darqan-d'u kür=tel_e
ダルホン まで は

38:6 Ĵaray'ud.. ĵısiyan-I n'utuy-ača bisi kümün-I n'utuy-tu n'oyad oru=qula
ジャロード(に)。割当 の 牧地 から 他 人 の 牧地 に ノヤン達 が 入るならば、
arban aduy'u..
十頭の 馬群、

7
8
9
10
11
12

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document. The text is written on a light-colored background and is somewhat faded. The lines of text are roughly horizontal, following the numbered lines 7 through 12.

13
14
15
16

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written on a light-colored background and is somewhat faded. The lines of text are roughly horizontal, following the numbered lines 13 through 16.

- 38:7 qaraču kümün oru=qula daruy'_a-ača n'ige mori ab=qu.. Sira^mö'ren-i
 平 民が 入るならば 長 から 一頭の 馬を 徴する。シラ・ムレン を
 γ'ar=qula dayisun-I yosu
 越えれば 敵 とし
- 38:8 -bar ki=kü.. ire=kü bosqul-i n'oyad ala=qula.. arban ayil ab=qu.. qaraču
 て 扱う。 到来した 逃亡人を ノヤン達が 殺せば、 十 戸を 徴する。 平
 kümün ala=qula kedün
 民 が 人を殺せば、 何人 (でも)
- 38:9 ala=γči kümün-i bögüde-yi ala=qu.. em_e kegüked ger mal-i n'i jori=γsan
 殺しをした 者 を すべて を 殺す。 女、 子供、 家と家畜 は (逃亡人が) 目指した
 n'oyan-i[ni?] ab=tuy'ai
 ノヤン が 取るがよい。
- 38:10 n'oyad ala=γči kümün-i γ'ary'a=ji ög=küle tegün-I em_e kegüked ger mal-i
 ノヤン達が 人を殺した者を 差し 出せば、 その 女、 子供、 家、 家畜は
 γ'ary'a=γči n'oyan ab=tuy'ai..
 差し出した ノヤンが 取るがよい。
- 38:11 jori=γsan n'oyan-d'u oru qolbay'_a ög=tügei.. gereči-ber
 (逃亡人が) 目指したノヤン に 代わりに倍を 与えるがよい。 訴えによって、
 γ'ar=qula tere ala=γči kümün-I em_e kegüked
 (犯人が)出れば、その 人を殺した者 の 女、 子供
- 38:12 ger mal-i n'i bosqul-Yin jori=γsan n'oyan gerečile=gči kümün qoyar
 家、 家畜 を 逃亡者が 目指した ノヤンと 訴えた 人 の 二人が
 qay'as' ab=tuy'ai.. n'oyad
 半分 (ずつ) 取るがよい。 ノヤン達が
- 38:13 qulay'ai ki=küle jay'un aduy'u arban temege ab=qu.. qaraču kümün qulay'ai
 盗みを すれば、 百頭の 馬群、 十頭の 駱駝を 徴する。 平 民が 盗みを
 ki=küle kedün qulay'ayiči
 すれば、 何人の 盗人
- 38:14 -gi bögüde-gi ala=qu.. em_e kegüked ger mal-i jolij ügei bari=ju ög=kü..
 でも すべて を 殺す。 女、 子供、 家、 家畜を 代替 なく 捕えて 与える。
 mal-Yin ejen
 家畜の 主と
- 38:15 gerečile=gči kümün qay'as' ab=tuy'ai.. qulay'ayiči-yin daruy'_a-ača qoyar
 訴えた 人が 半分 (ずつ) 取るがよい。 盗人 (が出た所) の 頭 から 二頭の
 mori ab=qu.. qulay'ayiči
 馬を 徴する。 盗人
- 38:16 -gi n'oyan-i[ni?] öbesüben γ'ary'a=ju ög=küle oru qolbay'_a elči qara=qu
 を ノヤン が 自ら 差し 出せば、 代わりに 倍を、 使者が 見る (?),
 ög=tügei.. em_e kegüked üle=gsen ger
 与えよ。 女 子供、 残った 家と

- 38:17 mal-i n'i n'oyan-i[ni?] ab=tuy'ai.. qara bey_e kümün qulay'ai ki=küle tere
 家畜を(←彼の)ノヤンが取るがよい。単身の(?)者が盗みをすれば、その
 qosiy'un-I n'oyan-ača oru
 旗のノヤンから代わりに
- 38:18 qolbay'_a elçi qara=qu ab=qu.. qulay'ai ab=u=γsan mal-i eber-iyer kür=čü
 倍を使者が見る(?), 徴する。盗人が奪った家畜の角に触れて、
 üsün-iyen bari=qula
 毛を握れば、
- 38:19 mön alalay'an-I yala-d'u bayta=qu.. qulay'ayiçi-gi daruy'_a γ'ary'a=ju
 同じく殺人の罪に含まれる。盗人をその長が差し
 ög=küle mön gereçi-yin
 出せば、同様に訴えの
- 38:20 yosu+bar ab=tuy'ai.. n'oyad qulay'ayiçi-gi daldala=ju may'u-d'u oru=ju
 きまりによって取るがよい。ノヤン達が盗人を隠して、悪事をして、
 qoyin'a qulay'ai mön bol=ju
 後で盗人となって
- 38:21 gereçi-ber γ'ar=qula tere n'oyan-ača qorin aduy'u qoyar temege ab=qu..
 訴えによって発覚すれば、そのノヤンから二十頭の馬群、二頭の駱駝を徴する。
 ayil-Yin daruy'_a
 戸の長
- 38:22 -gi ala=qu.. arban ayil-d'u n'ige daruy'_a talbi=.. daruy'_a
 を殺す。十戸に一人の長を置け。長を
 ese talbi=qula tere n'oyan-ača
 置かなければ、そのノヤンから
- 38:23 tabun mori ab=qu.. aliba yala-gi γ'adaysi gereçile=be ge=jü n'oyan-i[ni?]
 五頭の馬を徴する。いかなる罪をも外に対して訴えたと言ってノヤンが
 bay'ala=qula bay'ala=γçi
 処罰すれば、処罰した
- 38:24 n'oyan-ača arban aduy'u n'ige temege ab=qu.. bay'ala=ju ab=u=γsan mal-i
 ノヤンから十頭の馬群、一頭の駱駝を徴する。処罰して取った家畜を
 ejen-d'ün'i qariγ'ul=ju ög=kü..
 (元の)主に返してやる。

25 vor hat man de Rn vornt ofel adzmaef vj wogamf " gzmw wamh/ fca
 26 amtd/ amta ofel vth hahagw wogamf " adzmaef m wark vord eafpe vj
 27 wmd/ wmd wogm waktad ofel wog " wmd vj wogad wmd - fca de
 28 amgr wogm de fca vor hat wogad hmw ofel " amtd ofel vj wogm ofel
 29 vj wogm wogm wogm wogamf " wog vj vj wogad wog vj wogad
 30 wogm
 31 wogm
 32 wogm wogm wogm wogm wogm wogm wogm wogm wogm wogm

- 38:25 eber mör qoyar-tu elči eberle=gči kümün qulay'ayiçi-ača ab=tuγ'ai..
 訴えた者 訴えられた者 二人に 使者 訴えた 者が 盗人から 取るがよい。
 qulay'ai ab=u=γsan mal-i
 盗人が 奪った 家畜を
- 38:26 bari=qula bari=γči kümün n'ige songy'uday ab=tuγ'ai qulay'ayiçi-gi qoyar
 捕えれば、捕えた 者が 一頭を 選んで (?) 取るがよい。盗 人 を 二人の
 n'oyad jokiča=ju ese
 ノヤンが 合意して
- 38:27 ala=qula qoriyad aduγ'u qosiyad temege ab=qu.. nengjigül
 殺さないならば、二十頭ずつの馬群、二頭ずつの駱駝を徴する。探索を
 ese ög=küle alaly'an-I yala-d'u
 与えなければ、殺す 罪に
- 38:28 bayta=ba n'utuγ-tu mön edür mör oru=qula siqa=qu bol=ba.. jiy'ulčin
 含まれた。牧地 に 同じ日に訴えられた人が入れば、審問することになった。衆の(?)
 kümün-i ulay'ačila=qu bol=ba..
 人 に 乗馬を提供すること になった。
- 38:29 ese ulay'ačila=qula sidüleng üker ab=tuγ'ai.. aliba jüg-eče dayisun
 乗馬を提供しなければ、三歳の 牛を 徴するがよい。いかなる 方角からでも敵が
 ire=jü jaq_a-yin ulus'-i
 来て、境 の 民 を
- 38:30 dobtul=u=qula aliba qosiy'u ger mal-iyān dotaysi bolγ'u=γ'ad čerig-iyen
 攻撃 すれば、いかなる 旗も 家と家畜を 中へ 移動して、(自らの) 兵を
 bügüde ab=ču
 すべて 率いて
- 38:31 dobtul=u=γsan jüg-tür yay'ara=ju čuyła=.. ese čuyła=γsan n'oyad-i
 攻撃があった 方へ 急 き 集まれ。集まらなかった ノヤン達は
 ulus'-ača γ'ary'a=qu..
 国 から 追放する (?)。
- 38:32 čuyła=γsan qoyin'a n'eke=kü qal=qu-gi bügüdeger jöble=jü mede=.. qorin
 集結した 後、 追跡する (か) 討伐する (か) を皆で 議して決めよ。二十人の
 say'aday_tu kümün bos=qula öber
 矢筒を持つ 者が 逃亡すれば、自分

33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

- 38:33 -ün qosiy'u n'eke=tügei.. qorin say'aday_tu kümün-eče degegsi bos=qula
 の旗が 追うがよい。 二十人の 矢筒を持つ者 より 上が 逃亡すれば
 qorsi=γsan qosiy'u
 連合した 旗が
- 38:34 bosqul-Yin dang-iyar n'eke=tügei.. ese n'eke=küle qorin aduy'u qoyar
 逃亡者 の (単独?)で 追うがよい。 追跡しなければ、 二十頭の 馬群、二頭の
 temege ab=qu.. bükül_i
 駱駝を 徴する。 旗
- 38:35 qosiy'u bos=qula aliba qosiy'u ilγ'ay'_a ügei čerig-ün yosu-bar morda=ju
 全体が 逃亡すれば、如何なる 旗も 区別 なく、 軍 の 規則によって 出征して
 n'eke=kü.. ese
 追 う。
- 38:36 n'eke=gsen n'oyad-i mön ulus'-ača γ'ary'a=qu bol=ba.. aliba kümün
 追跡しなかったノヤン達を 同様に 国 から 追い出すこと になった。 いかなる者も
 bosqul n'eke=küle ekile=gči kümün-i
 逃亡人を 追跡すれば、(盗人の) 頭である 者を
- 38:37 ala=qula tegün-I olja-gi n'eke=gsen kümün ab=tuy'ai.. ekile=gsen kümün-i
 殺せば、 彼 の 獲物を 追跡した 者が 取るがよい。 頭である 者 を
 γ'ary'a=qula olja-gi
 逃がせば (?), 獲物を
- 38:38 ülü ög=kü.. aliba yala+i_gi ab=qu kümün yala-yin ejen tusay'ar eči=jü
 与えない。 いかなる 罪をも 受ける 者は 罪の 主人 (?) が 単独で 行って、
 kelelče=jü ab=..
 協議して 受けよ。
- 38:39 ker be ese ög=küle öber-ün qosiy'un-I jasay-Yin n'oyad-ača elči ab=či
 もし、与えなければ、自分の 旗 の ジャサクの ノヤン達から 使者が 取って
 yala_tu kümün
 罪ある 者
- 38:40 -d'ü kür=či ulay'_a un'u=ju sigüsü ide=jü kelelče=.. ile γ'ar=u=γsan
 のところに行つて、 馱馬に 乗り、 食糧を 食して 協議せよ。 明らかに なった
 alalγ'an-I yal_a γ'ar=qul_a
 人殺し 罪が 出れば
- 38:41 qaγ'an-ača elči ab=qu bol=ba:: n'oyad bosqul-i ala=γsan arban ayil-i
 ハーン から使者が 取ること になった。ノヤン達が 逃亡人を 殺した 十 戸 を
 morin-I joluy'_a mede=tügei ge=jü
 馬 の 手綱 (?) が 知るがよい と

42

43

44

45

46

47

42
 43
 44
 45
 46
 47

- 38:42 ire=gsen bosqul.. n'oyad qulay'ai ki=küle ĵay'un aduy'u arban temege..
 やって来た 逃亡人、ノヤン達が 盗みを すれば、百頭の 馬群、十頭の 駱駝、
 n'oyad qulay'ai-gi daru=ĵu maĵ'u-d'u
 ノヤン達が 盗人 隠して (?), 悪事に
- 38:43 oru=ĵu qoyin'a ĳ'ar=qula qorin aduy'u qoyar temege.. arban ayil-d'u
 入って 後に 出れ ば、二十頭の 馬群、二頭の 駱駝、十 戸 に
 daruy'_a ese talbi=ĳsan
 長 を 置かなかった
- 38:44 n'oyan-ača tabun morin.. bosqul-i ese n'eke=gsen qorin aduy'u qoyar
 ノヤン から五頭の 馬、逃亡人を 追跡しなかつた 二十頭の 馬群、二頭の
 temege.. ĳ'adaysi gerečile=gsen
 駱駝、外に対して 訴えた
- 38:45 kümün-i bay'ala=ĳsan n'oyan-ača arban aduy'u n'ige temege..
 者 を 罰 し た ノヤン からは 十頭の 馬群、一頭の 駱駝、
 qulay'ayiči-gi qoyar n'oyad ĵokiča=ĵu
 盗人 を 二人の ノヤンが 合意して
- 38:46 ese ala=qula qoriyad aduy'u qosiyad temege.. en'e ĵasay-iyar ab=u=ĳsan-i
 殺さなければ、二十頭ずつの馬群を、二頭ずつの駱駝、この 法度 で 徴したものを
- 38:47 qay'an ab=qu bol=ba:: Sečen^qay'an-u ĵiry'uday'ar on ebül-ün ekin
 ハーンが 取ることになった。セチェン・ハーンの 第六 年 冬 の 初の
 sar_a-yin tabun sin'_e-d'e..
 月 の 五日 初 に。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

بسم الله الرحمن الرحيم

الحمد لله رب العالمين والصلوة والسلام على سيدنا محمد وآله الطيبين الطاهرين

الذين هم خير خلق الله نبيهم وآلهم الطيبين الطاهرين

والصلاة والسلام على سيدنا محمد وآله الطيبين الطاهرين

الذين هم خير خلق الله نبيهم وآلهم الطيبين الطاهرين

والصلاة والسلام على سيدنا محمد وآله الطيبين الطاهرين

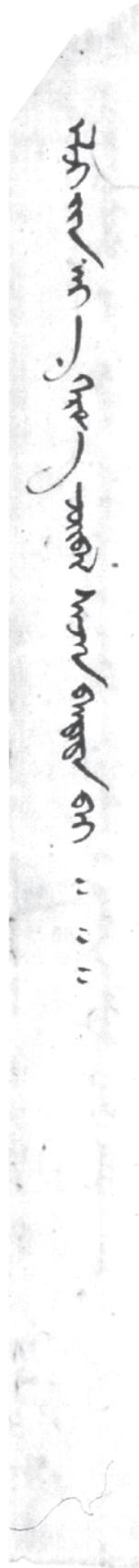
الذين هم خير خلق الله نبيهم وآلهم الطيبين الطاهرين

والصلاة والسلام على سيدنا محمد وآله الطيبين الطاهرين

الذين هم خير خلق الله نبيهم وآلهم الطيبين الطاهرين

文書 39 マハサマディ・セチェン・ハーン等が天聰ハーンに送った文書 [天聰 9 (1635) 年
5月27日]

- 39:1 oum suwasdi sidam sayin amuy'ulang bol=tuy'ai..
オーム 繁栄 成就 よく 安寧 になるがよい。
- 39:2 Maq_a^samadi^sečen^qay'an.. Tüsiyetü^qay'an.. Sečen^jin'üng
マハ・サマディ・セチェン・ハーン、トウシェート・ハーン、セチェン・ジノンを
ekile=n yeke bay'_a n'oyad..
はじめ 大 小 の ノヤン達は
- 39:3 usun-u jiran γ'urban omuytan-u ejen bol=u=γsan Sečen^qay'an-du
水 の 六 十 三 氏族 の 主 となつた セチェン・ハーンに
bičig örgü=n bari=ba..
書を 差し上げた。
- 39:4 bičig bari=qu-yin učir.. qan kümün-d'ü qas' yeke törü qamuy-tu son'usda=qu
書を 奉じる 理由 (は)、ハーンたる人には、玉の 大 道と 衆に 聞こえる
sayin aldar n'er_e
良き 名 声 が
- 39:5 keregtei-yin tulada.. qamuy-ača törü šajin-i manduy'ul=qu n'er_e-yi
必 要 な の で、 衆 から政道と宗教を 興 す 名 を
erildü=y_e.. jiry'uy'an tümen-ü
探し合おう。 六 万 の
- 39:6 ejen biden-ü jiluy'ad=_u=n es'_e čida=ba.. tere es'_e čida=bači qan
主は (←我らの) 導くことが 出来なかつた。 彼が 出来なくても ハーンの
törül-d'ü biden-I öber_e ügei-yin
一族 には (←我らの) 他に いない
- 39:7 tulada qas' yeke törü-yi qaday'ala=ji say'u=n'am bide.. en'e yeke törü-yi
ので、玉の 大 道 を 保持して いる、我らは。この 大 道 を
san'a=qula n'i in'aγsi čin'aγsi
思うならば (?) あちらへ こちらへ
- 39:8 elči-yuy'an[!] tasura=l_ügei mendü asqulča=ji yabu=y_a.. eyin ki=jü
(自らの) 使者を、絶えることなく 安否を 尋ね合つて いく。このようにして
yabu=qula erden'i_tü kümün-ü törül ol=jü..
いけば、 宝 を持つ 者 の 家系を得て
- 39:9 erke küčütü qan bol=u=n törü=gsen-ü γ'abiy_a biden-ü tere ajiyamu ge=ji
権 勢を持つ ハーンとして 生まれた 功績が (←我らの) それ だろうか と
ayiladqa=n'am..
申しあげる。



Handwritten text in Arabic script, oriented vertically on a narrow strip of paper. The text is written in black ink and appears to be a list or a series of entries. The characters are somewhat stylized and difficult to read precisely, but they seem to consist of several lines of text, possibly including numbers or names. The strip is slightly curved and has some wear and tear at the top and bottom edges.

39:10 elči-yin n'er_e Ğarm_a^čoyibal^sečen^bandida bai.. ..

使者の名は ガルマ・チョイバル・セチェン・バンディダ である。

1

... ..

2

... ..

3

... ..

4

... ..

5

... ..

6

... ..

7

... ..

文書 40 ハルハのマハサマディ・セチェン・ハーンが太后に送った文書 [天聰 9 (1635) 年
5月27日]

40:1 ◎ oum suwasdi čiddam::
オーム 繁栄 成就

40:2 olan'-a ergügde=gšen Maq_a^samadi..
衆 に 推戴 された マハ・サマディ・

40:3 ^sečen^qay'an-I ĵarliy..
セチェン・ハーンの 詔。

40:4 Tayiqu Erke keüken.. Ĵelm_e^darqan^'noyan terigüle=n. kedün
太后と エルケ 皇子、ジェルメ・ダルハン・ノヤン をはじめ、何人かの
Ĵayisang-ud-tu bičig ög=be.. urida či bol=u=sa.
ジャイサン達に 書を 与えた。前 に あっては

40:5 Qung^n'oyan-i bari=ĵu ög=či.. üge+ben kündülelče=ĵi. üile+ben
ホン・ノヤンを 捕えて 与えて、(自らの) 言葉を 尊重し合って、(自らの) 事を
bütegelče=ĵi yabu=la.. qoyin'a či bol=u=sa..
成し遂げ合っていた。後 に あっては、

40:6 gem ügei törü+yin samay'u-du in'aγsi čin'aγsi ese yabulča=la..
過失は なく 政道の 乱れ で こちらへ そちらへ 行き合わなかった。
bide tustan ügge[!] gem ügei ösiy_e
我らは 互いに 不和も ない、怨

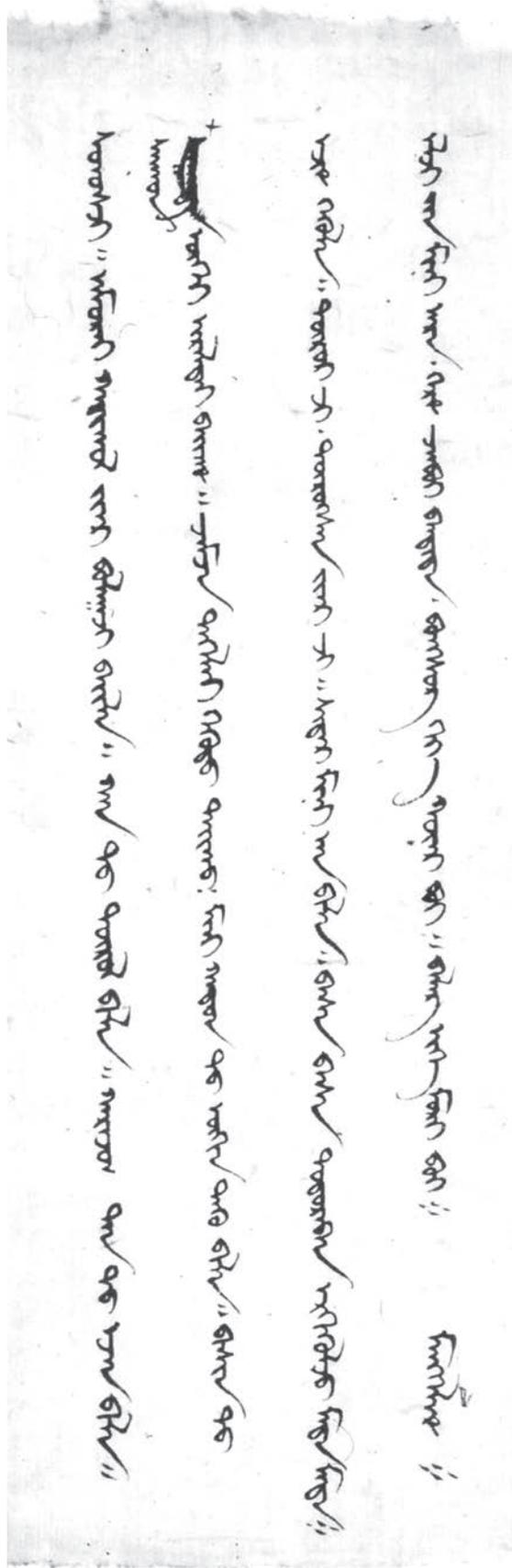
40:7 kisay'_a ügei bile.. qay'an degedü törül+degen ögede bol=ĵi. ta bügüde-yi
恨も なかったのだ。ハーンが 至上の 世に おでましになって、汝ら 皆が
ayisui ge=küi-yi
やってくる ということ

8

9

10

11



- 40:8 son'us=či.. n'amur+ai qayıγ'ul-iyar bolγa=ǰi bayi=la..
 聞いて、秋の見張りに決めて(?)いた。
 qan-d'u törül bile.. qaračus' tan-d'u eǰen bile..
 ハーンには親戚であったのだ。平民 汝らには主であったのだ。
- 40:9 saγ'ad ügei ire=ltei bayi=n'am.. čamča degel+ei ge=kü+dü Tayıqu : man'+I
 滞りなく来るべきである。下着、上着というとき、太后は我らの
 qatun-d'u ökin degü bile.. bisin-d'ü
 妃には妹であったのだ。他に
- 40:10 eči=m ge=küle.. törür[!] či törü=gsen-iyer či.. sidar mini en'e bile..
 行くと言え、道理でも、親縁でも、身近は(←我の)これであったのだ。
 basa basa dotura+ban ergigül=ǰü mede= mede::
 またまた心の中で(←自分の) (思い)巡らせてよくよく知れ。
- 40:11 elči-yin mini n'ere. Ğarm^čanbui^bandida. Bongsug^kiy_a qoyar bui..
 使者の名はガルマ・チャンボイ・バンディダとボンソグ・ヒヤの二人である。
 beleg n'ige mori bui:: mangǰalam::
 贈り物は一頭の馬である。マンガラム。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1. 1871年 1月 1日 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 2. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 3. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 4. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 5. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 6. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 7. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 8. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地
 9. 東京府 芝浦区 芝浦 1丁目 1番地

文書 41 天聰ハーンがゴルト・セチェンに号を与えた文書 [天聰 9 (1635) 年 7 月 24 日]

- 41:1 © qay'an-u jarlay ɮ'oltu^sečen Čaqar-un qay'an-u Nangnang^tayiqu-yi
ハーンの 詔。 ゴルト・セチェンが チャハルの ハーンの ナンナン 太后 を
yosuγ'ar
しかるべく
- 41:2 mendü ab=ču ire=gšen-ü tulada örüsü=jü Joriγtu^darqan^'oyan čola
無事に 連れて 来た ので、 慈しんで ジョリグト・ダルハン・ノヤンの 称号 (で)
- 41:3 day'uda=γ'ad altan tamay'_a_t'u bičig soyurqa=ba.. ayan-I terigün'-e
呼んで、 金 印 を押した 書を 賜った。 行軍の 先頭 に、
- 41:4 aba-yin dumda yabu=tuγ'ai.. qon'uγ-t'u sigüsü ide=kü bol=ba.. ür_e-yin
卷狩の 中央に 行くがよい。 宿泊に際して 糧食を 食す ことになった。 子々
- 41:5 ür_e-dür kür=tele ulay'a sigüsü ög=kü ügei.. iǰay'ur-un n'er_e-yi
孫々に 至る まで 馱馬と 糧食を 提供することがない。 元の 名 を
- 41:6 er_e kümün n'erele=besü emegel_tü mori.. eken'er kümün n'erele=besü
男 人が 呼べば、 鞍を付けた 馬を、 女 人が 呼べば
- 41:7 ay'uǰi degel ab=qu.. n'igen morin-du seyil=ü=gšen emegel toqu=ǰu
衣 服を 徴する。 一頭の 馬 に 彫った 鞍を 置いて
- 41:8 quyay tata=γsay'ar ög=be..
鎧を 付けたまま (?) 与えた。
- 41:9 Sečen^qay'an-u yisüdüger on n'amur-un terigün sara-yin qorin dö'rben'-e::
セチェン・ハーンの 第九 年の 秋 の 初の 月 の 二十 四日 に。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

1. ...
 2. ...
 3. ...
 4. ...
 5. ...
 6. ...
 7. ...
 8. ...
 9. ...

文書 42 ハルハのマハサマディ・セチェン・ハーンが天聰ハーンに送った文書[天聰 9(1635)
年 12 月 7 日]

- 42:1 ◎ oum suwasdi siddam:: sutu boyda Činggis^qay'an-u altan uruy
オーム 繁栄 成就。 偉大なる聖 チンギス・ハーンの 黄金の 一族である
Maq_a^samadi^sečen^qay'an ekile=n..
マハ・サマディ・セチェン・ハーンを 始め (とする者たちは)、
- 42:2 qotala-yi ilay'u=γsan
凡て に 勝利 した
- 42:3 Sečen^qay'an-du bičig ergü=n bari=ba.. bičig bari=qu-yin učir.. bide ende
セチェン・ハーンに 書を 差し 上げた。 書を 奉じる 次第、我らはこちらで
mendü a=mu.. tende
平安でいる。 そちらで
- 42:4 Sečen^qay'an amuy'ulang uu.. ebderesi ügei törü-yi ebde=be
セチェン・ハーンは 安寧 か。 壊れること なき 政道を 壊した、
Qutuy_t'u^qay'an..
ホトクト・ハーンは。
- 42:5 engkeǰigül=kü törü-yi tende..
平定 する 政道 を そちらで
- 42:6 Sečen^qay'an mede=.. qas' yeke törü qamuy'-a aldarsi=qu sayin n'er_e
セチェン・ハーンが 司れ。 玉の 大道と 衆 に 聞こえる よき 名 は
yirtinčü-yin čimeg bü=kü+yin tulada ende tende törü
世界 の 飾り なので こちらで そちらで 政道と
- 42:7 šasin-i n'aran metü manduy'ul=qula törü=gšen-I γ'abiy_a ğalab'-t'u kür=kü
宗教 を 太陽の ように 興隆させるならば、生まれた 功績 は、永劫 に 至る
sayin n'er_e tere aǰiyamu.. en'e üge-yi gegegen-degen
良き 名が それ であろうか。この 言葉を 明
- 42:8 ayilad=ču ǰöb' ge=küle inaysi činaysi tasura=l_ügei mendü-yuy'an[!]
察して、 是 とすれば、こちらへ そちらへ 絶えること なく ご機嫌 を
asay'ulča=ǰu törü-yin qaday'asu šasin-I n'aran bol=ǰi
伺い合って、 政道 の 釘 (要) と宗教 の 太陽に なって
- 42:9 ey_e n'er_e qoyar-i ebdere=l_ügei sakildu=y_a.. qay'an-I elči
和睦と 名声 の二つ を 壊すこと なく 守り合おう。 ハーン の 使者は、
Üiǰeng^blam_a Bičiyec̣i^darqan^obasi Darqan
ウイジェン・ラマ、ピチェーチ・ダルハン・オバシ、ダルハン・

10
 11

The image shows two pages of handwritten text in a cursive script, likely a historical document. The text is written vertically on the page. The first page (labeled 10) contains several lines of text, and the second page (labeled 11) continues the text. The handwriting is dense and characteristic of a specific historical period or region.

- 42:10 ^tabun'ang.. Tobudui^bingtu^kiy_a dörben kümün bai.. Üjümečin-I
タブナン、トボドイ・ビント・キヤの四人である。ウジュムチンの
Sečen^jin'üng.. Sün'id-Yin Bay'atur^jinüng..
セチェン・ジノン、スニドのバートル・ジノン
- 42:11 Quučid-Yin Yeldeng^tüsiyetü.. Abay'_a-yin Ĵasay_tu^jin'üng.. yerü
ホーチドのイエルデン・トシェート、アバガのジャサクト・ジノン。総じて
yeke bay'_a n'oyad-Yin elčid olan bai..
大小ノヤン達の使者が多くいる。

文書 43 天聰ハーンがマハサマディ・セチェン・ハーンに送った文書 [天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日]

(1) ○ ineku tere inenggi arui kalka de ui jaisang.. barai sanjin.. bebugei be
同じくその 日に アロのハルハに ウイジャイサン、バライサンジン、ベブゲイを
elcin unggihe.. tese de unggihe bithei gisun
使者として送った。 彼らに 送った 書 の 言葉。

43:1 Sečen^qay'an-u jarlay bičig:: Qalq_a-yin Maq_a^samadi^sečen^qay'an-d'ur
セチェンハーンの 詔 書。 ハルハ の マハ・サマディ・セチェン・ハーンに
ilege=be:: engkeji=kü yeke törü-yin učir-i
送った。 平和 になる 大 道 の ことを

43:2 namayi mede= ge=ji bayi=nam.. tere üge tan-u jöb.. bi aliba ulus'-t'ur
我に 司れ と言っている。 その 言葉は(←汝らの)正しい。我はいかなる国 に
gem siltay'an ügei ab=qu
対しても 答対しても 答・理由 なく 奪い

43:3 ide=kü-yin tulada dayila=γsan ügei bide.. erten-ü ö'siy_e_t'ü Kitad ulus'-i
貪る ために 討伐したことはない我らは。昔 の 仇 ある キタドの 国を
dayila=ju yabu=qui-d'ur..
討伐して 行く ときに、

43:4 Čaqar-un qay'an.. Kitad-un eD tabar-tur oru=ju.. čerig neme=gsen-ü
チャハルの ハーンが 漢人 の 財物 に 降って、 兵を 増援した
tulada.. Čaqar-i dayila=γsan
ので、 チャハルを 討伐した

43:5 siltay'an biden+I tere bö=lüge:: tegüber
理由は (←我らの) それ である。 それにより

43:6 tngri γ'ajar Čaqar-un qay'an-i buruy'usiya=ju.. Čaqar ulus'-i nadur
天と 地は チャハルの ハーンを 非として、 チャハル 国を 我に
soyurqa=ba:: edüge Kitad-tur
賜った。 今、 漢人 に

43:7 ayta-ban qudaldū=ju eD tawar ab=ču yabu=qu tan-u.. Kitad ulus'-tur küčü
驢馬 を 売って、 商品 を 買って いくのは (←汝らの)、キタドの 国 に 力を
neme=gsen bisi buyu..
増援したこと ではないか。

43:8 tere buruy'u yabu=γsan-i tan-I neke=jü sana=qu bisi bide.. törü čay'aža
その 非を 行ったことを (←汝らの) 追及しようと思わない、我らは。 政 法 が
niged=kü bayi=qu-yin učir-i
一つになる ことの 次第 を



Handwritten text in cursive (sōsho) style, likely a signature or a short note, written vertically on a narrow strip of paper. The characters are dark and fluid, typical of traditional Japanese calligraphy.

43:9 tan-I üge-yi son'us=ču mede=y_e::
 汝らの言葉を聞いて 知ろう。

1 2 3

1
 2
 3

1
 2
 3

1
 2
 3

文書 44 天聰ハーンがセチェン・ジノン送った文書 [天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日]

44:1 © Sečen^qay'an-u ĵarlay bičig..
セチェン・ハーンの 詔 書

44:2 Sečen^ĵinüng-d'ü ilege=be.. ilege=gsen bičig-i čin'ü.. bi ü'ĵe=be..
セチェン・ジノンに 送った。 送った 書を (←汝の) 我は 見た。
Qalq_a-d'u tüsi=gsen
ハルハ に 頼った

44:3 kümün-i ĵ'aĵar-Yin qola+ča yambar-i mede=ĵü kele=m bide.. aliba
者 を 土地 の 遠く から いかなるかを知って 言うべきか 我らは。いかなる
yabudal-iyān učir-i ta mede=nem ĵ_a::
事 の 次第 を 汝らは 知るであろう。

1

بسم الله الرحمن الرحيم
الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

الذين هم خير خلق
أخرجهم الله من عباده
الطالحين

2

والله اعلم
بما يعلنون
والله اعلم
بما يعلنون
والله اعلم
بما يعلنون

3

والله اعلم
بما يعلنون
والله اعلم
بما يعلنون
والله اعلم
بما يعلنون

文書 45 天聰ハーンがエルデニ・ノムチに送った文書 [天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日]

45:1 © Sečen^qay'an-u ĵarlay bičig.. Erdeni^nomči-d'u ilege=be.. ilege=gšen
セチェン・ハーンの 詔 書。 エルデニ・ノムチに 送った。 送った
bičig-i činü..
書 を (←汝の)

45:2 bi üĵe=be.. Qalq_a-d'u tüsi=gšen kümün-i ġ'aĵar-Yin qola+ča yambar-i
我は 見た。 ハルハ に 頼った 者 を土地 の 遠くから いかなるかを
mede=ĵü kele=m bide..
知って 言うべきか、我らは。

45:3 aliba yabudał-ıyan učir-i ta mede=nem ĵ_a::
いかなる 事 の 次第 を 汝らは 知るであろう。

1

بسم الله الرحمن الرحيم و الحمد لله رب العالمين و الصلوة على سيدنا محمد و آله الطيبين الطاهرين

2

عسى ان يفرحوا بفرحك و يفرحوا بك و يفرحوا بك و يفرحوا بك

3

بسم الله الرحمن الرحيم و الحمد لله رب العالمين و الصلوة على سيدنا محمد و آله الطيبين الطاهرين

文書 46 天聰ハーンがジャサクト・ジノンに送った文書 [天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日]

46:1 © Sečen^qay'an-u ĵarlay bičig.. Ĵasay_tu^ĵinüng-d'ü ilege=be..

セチェン・ハーンの 詔 書。 ジャサクト・ジヌンに 送った。

ilege=gsen bičig-i činü üĵe=be..

送った 書 を (←汝の) 見た。

46:2 čay'aĵa niged=dü=y_e ge=ĵü kelelče=ĵü yabulča=γsan biden-I ün'en..

法度を 一つにしよう と 話し合い、 行き合ったのは (←我らの) 真実である。

ta üge-ben ebde=ĵü Qalq_a-dur

汝らは (自分の) 言を 破って、ハルハ に

46:3 n'eyile=be.. bide ebde=gsen ügei.. edüge.. bi yay'u kele=m..

合した。 我らは 破ら なかった。 今、 我は 何を 言うべきか。

1
 4/1
 ① 明日の事
 2 明日の事
 3 明日の事
 4 明日の事
 5 明日の事
 6 明日の事
 7 明日の事
 8 明日の事
 9 明日の事
 10 明日の事
 11 明日の事
 12 明日の事
 13 明日の事
 14 明日の事
 15 明日の事
 16 明日の事
 17 明日の事
 18 明日の事
 19 明日の事
 20 明日の事
 21 明日の事
 22 明日の事
 23 明日の事
 24 明日の事
 25 明日の事
 26 明日の事
 27 明日の事
 28 明日の事
 29 明日の事
 30 明日の事
 31 明日の事
 32 明日の事
 33 明日の事
 34 明日の事
 35 明日の事
 36 明日の事
 37 明日の事
 38 明日の事
 39 明日の事
 40 明日の事
 41 明日の事
 42 明日の事
 43 明日の事
 44 明日の事
 45 明日の事
 46 明日の事
 47 明日の事
 48 明日の事
 49 明日の事
 50 明日の事
 51 明日の事
 52 明日の事
 53 明日の事
 54 明日の事
 55 明日の事
 56 明日の事
 57 明日の事
 58 明日の事
 59 明日の事
 60 明日の事
 61 明日の事
 62 明日の事
 63 明日の事
 64 明日の事
 65 明日の事
 66 明日の事
 67 明日の事
 68 明日の事
 69 明日の事
 70 明日の事
 71 明日の事
 72 明日の事
 73 明日の事
 74 明日の事
 75 明日の事
 76 明日の事
 77 明日の事
 78 明日の事
 79 明日の事
 80 明日の事
 81 明日の事
 82 明日の事
 83 明日の事
 84 明日の事
 85 明日の事
 86 明日の事
 87 明日の事
 88 明日の事
 89 明日の事
 90 明日の事
 91 明日の事
 92 明日の事
 93 明日の事
 94 明日の事
 95 明日の事
 96 明日の事
 97 明日の事
 98 明日の事
 99 明日の事
 100 明日の事

文書 47 天聰ハーンがトルボトに称号を与えた文書 [天聰 10 (1636) 年 2 月 2 日]

47:1 © qay'an-u jarlay Tolbutu-yi Qalq_a-du urba=ju es'_e say'u=ba ge=jü..
ハーンの 詔。 トルボトが ハルハ に 背いて 留まらなかった と
örüsiye=jü Darqan čola ög=gü=ged..
慈しんで ダルハン の称号を 与えて

47:2 altan tamay'_a_tu bičig soyurqa=ba::
金 印を 押した 書を 賜った。

モンゴル語全単語索引

索引凡例

1. 単語索引では、本文に現れるモンゴル語の全単語のローマ字転写形を見出し語としてアルファベット順に配列し、それぞれの単語の出現回数、および出現位置を示した。
2. 見出し語のアルファベットと配列順は次の通り：

a b č d e γ ğ g i ĵ k l m n o ö q r s š t u ü w y

- (1)大文字と小文字は配列に際しては同じ文字として扱う。つまり、次の大文字は配列に際してかっこ内の小文字と区別しない：A(a) Č(č) Γ(γ) K(k) M(m) S(s) Y(y)
 - (2)マイナス (-)、プラス (+)、イコール (=) の記号は、アルファベットに優先して配列する。つまり、語尾の付いた形はそれが見つからない形（語幹形）の直後に置く。
 - (3)アンダースコア (_)、アスタリスク (*)、カレット (^)、かぎかっこ ([]) は、配列に際しては無視する。
3. 見出し語は文中に実際に現れる語形である。名詞類では曲用語尾（複数語尾、格語尾、再帰所属語尾）がついた形であり、動詞類では活用語尾が付いた活用形をそのまま見出し語としている。
 4. 見出し語に続いて、それが出現する回数（頻度）、および出現位置を示した。
 5. 出現位置は、本文のローマ字転写の各行の先頭のタグに対応している。つまり、コロン (:) で区切られた左側の数字は文書番号（1～47）、コロンの右側は行数を示す。
例：31:7 は、文書 31 の第 7 行を指す。
 6. ローマ字転写の方式や記号の意味については本文のローマ字転写に準じている。

a

a=mu	1	42:3
a=tuy'ai	2	2:7, 3:8
ab=	9	15:10, 15:11, 15:11, 15:18, 15:18, 15:18, 27:11, 37:4, 38:38
ab=či	10	15:7, 18:3, 22:2, 23:1, 24:2, 25:2, 26:3, 26:9, 30:10, 38:39
ab=ču	19	5:1, 5:6, 5:7, 6:2, 7:3, 7:4, 8:3, 8:4, 9:2, 15:13, 15:15, 16:8, 21:2, 33:9, 34:4, 34:5, 38:30, 41:2, 43:7
ab=qu	51	12:7, 15:4, 15:5, 15:5, 15:6, 15:10, 15:12, 15:12, 15:13, 15:14, 15:14, 15:16, 15:16, 15:22, 15:23, 15:24, 15:25, 15:26, 15:29, 17:3, 17:4, 17:4, 30:6, 31:8, 33:2, 33:4, 33:6, 33:7, 33:10, 33:12, 33:13, 33:15, 33:16, 33:18, 33:22, 37:8, 38:7, 38:8, 38:13, 38:15, 38:18, 38:21, 38:23, 38:24, 38:27, 38:34, 38:38, 38:41, 38:47, 41:7, 43:2
ab=qu-d'u	1	4:7
ab=qu-yin	1	31:2
ab=qula	2	8:4, 14:3
ab=quyi+ban	1	4:4
ab=tuy'ai	15	33:5, 33:11, 33:14, 33:15, 33:18, 38:9, 38:10, 38:12, 38:15, 38:17, 38:20, 38:25, 38:26, 38:29, 38:37
ab=u=bam	1	25:3
ab=u=γ'ad	2	26:3, 26:9
ab=u=γsan	10	6:5, 8:4, 18:2, 27:10, 33:12, 33:15, 33:16, 38:18, 38:24, 38:25
ab=u=γsan-i	3	25:3, 33:21, 38:46
ab=u=n	2	26:8, 30:6
ab=u=n'am	1	11:4
ab=u=y_a	3	4:8, 23:5, 24:6
ab=usai	1	6:3
aba-yin	1	41:4
abači=qula	1	15:12
Abay'_a	2	15:19, 15:21
abay'_a	1	15:25
Abay'_a-d'u	1	15:19
abay'_a-gi	1	15:25
Abay'_a-luy'_a	1	27:7
Abay'_a-yin	3	15:19, 31:3, 42:11
Abai-gi	1	34:5
abala=γsan	1	12:7
abala=ju	1	12:2
abala=qu-du	1	12:4

Abjin'an-du	1	17:2
abta=γ'ad	1	36:2
abta=γsan	1	31:9
abta=n'am	1	12:3
aburi-yi	1	1:2
ača=	2	15:11, 15:26
ači	2	4:15, 14:8
adali	2	3:3, 14:3
aduγ'u	25	13:2, 13:3, 15:2, 15:3, 15:4, 15:5, 15:5, 15:22, 15:26, 15:28, 15:29, 16:6, 33:7, 33:20, 38:6, 38:13, 38:21, 38:24, 38:27, 38:34, 38:42, 38:43, 38:44, 38:45, 38:46
aduγ'u+ban	1	15:12
aduγ'u-ban	1	26:9
aduγ'u-gi	2	27:10, 27:11
aduγ'u-yi	1	13:3
aγda	1	15:29
aγda+ban	1	15:28
aγta	2	23:2, 35:3
aγta-ban	6	23:2, 23:4, 24:3, 24:6, 27:5, 43:7
aγta-gi	1	27:5
aγta-yin	10	12:5, 19:3, 20:1, 20:5, 21:3, 28:2, 28:3, 28:5, 30:9, 32:9
aγ'uǰi	1	41:7
aγ'ulan-I	1	26:7
Aγ'un^tayiji	1	24:1
Aγ'un-I	3	15:21, 27:2, 28:1
aǰiyamu	2	39:9, 42:7
ala=	1	8:2
ala=ba	3	4:6, 4:6, 15:14
ala=γči	7	15:15, 33:3, 33:3, 33:3, 38:9, 38:10, 38:11
ala=γsan	3	8:3, 33:19, 38:41
ala=ǰi	1	8:6
ala=ǰu	5	7:2, 7:3, 9:2, 15:22, 34:1
ala=qu	10	4:4, 4:7, 7:5, 8:4, 33:3, 33:8, 37:5, 38:9, 38:14, 38:22
ala=qula	10	8:3, 15:14, 15:16, 33:2, 33:3, 38:8, 38:8, 38:27, 38:37, 38:46
ala=y_a	1	4:8
alalγ'an-I	4	33:12, 38:19, 38:27, 38:40
alda=ba	1	14:2
alda=γsan	1	15:26
alda=qul_a	1	15:26
alda=qula	1	37:5

alдар	1	39:4
aldarsi=qu	1	42:6
ali	2	10:8, 27:8
aliba	19	8:1, 15:17, 15:27, 28:3, 28:5, 29:2, 30:6, 32:8, 33:15, 37:6, 38:23, 38:29, 38:30, 38:35, 38:36, 38:38, 43:2, 44:3, 45:3
alin-d'u	1	15:6
Altan	1	14:9
altan	2	41:3, 42:1
alus'-Yin	1	32:2
ama	1	15:24
ama+i	1	37:7
amalda=ysan	1	4:13
amalda=ysan-i	3	4:11, 4:15, 4:17
amalda=n'am	1	4:11
aman	1	14:2
amin	1	14:8
amitai-yi	1	8:2
amuy'ulang	5	2:7, 3:8, 14:8, 39:1, 42:4
amur	1	31:10
amura=qu	2	23:4, 24:5
anju	1	15:16
aq_a	5	2:3, 15:24, 27:2, 32:2, 34:4
aqa	1	27:7
arba	1	15:6
arban	34	5:2, 15:2, 15:3, 15:4, 15:5, 15:5, 15:6, 15:7, 15:14, 15:15, 15:18, 15:22, 15:26, 15:29, 15:30, 16:1, 16:6, 16:7, 16:7, 33:2, 33:2, 33:12, 33:13, 33:19, 37:8, 38:6, 38:8, 38:13, 38:22, 38:24, 38:41, 38:42, 38:43, 38:45
arban-ača	1	15:18
aru-ača	1	14:2
aru-d'u	1	26:5
aru-yin	5	14:4, 14:6, 14:6, 26:4, 27:7
asay'u=y_a	2	28:2, 28:5
asay'ulča=ju	1	42:8
asqulča=ji	1	39:8
Auqan	5	13:2, 15:21, 23:1, 30:5, 38:4
Auqan-I	2	17:1, 25:1
ayan	6	12:6, 32:8, 35:2, 35:4, 36:1, 37:1
ayan-d'u	2	28:5, 35:3
ayan-I	1	41:3

ayi=ju	1	10:6
ayil	3	33:2, 33:19, 38:8
ayil-ača	1	33:13
ayil-d'u	4	15:13, 33:13, 38:22, 38:43
ayil-i	1	38:41
ayil-un	1	15:13
ayil-Yin	1	38:21
ayilad=ču	1	42:8
ayiladqa=m	1	5:8
ayiladqa=n'am	1	39:9
ayiladqa=qu	1	15:28
ayily'a=ju	1	31:2
ayisui	1	40:7

b

ba	8	2:4, 5:7, 15:7, 15:8, 15:19, 15:20, 27:4, 27:8
Badm_a	1	5:4
Bay	1	5:5
bay'_a	5	15:1, 16:3, 37:2, 39:2, 42:11
Bay'_a^darqan-I	1	5:4
Bay'_a^sar-ača	1	38:3
Bay'_a^sar-tu	1	38:3
bay'ala=γči	1	38:23
bay'ala=γsan	1	38:45
bay'ala=ji	1	33:16
bay'ala=ju	1	38:24
bay'ala=qu_la	1	33:20
bay'ala=qula	2	33:16, 38:23
bay'aqan	1	4:9
bayaq'an	1	34:3
Bay'arin	3	13:2, 30:4, 38:4
Bay'arin-I	2	12:6, 23:1
Bay'arin-u	1	5:3
Bay'atur^jinüng	1	42:10
bayta=ba	1	38:28
bayta=qu	2	33:12, 38:19
baytay'a=qu	1	15:15
bay'u=γsan	1	35:4
bay'u=γsan-i	1	31:6

baγ'u=ju	1	30:8
baγ'ułγ'a=qula	1	15:10
baγ'ułγ'ayda=γsan	1	15:13
bai	6	26:6, 26:6, 26:8, 39:10, 42:10, 42:11
Bambu^čükegür	1	30:1
Bandi^iltuči	1	16:3
Bandi^üijeng	1	30:1
baray'un	4	14:9, 17:1, 27:3, 30:5
bardam	1	32:7
bari=	1	15:8
bari=ba	2	39:3, 42:3
bari=γči	1	38:26
bari=γsan	1	18:1
bari=ji	1	33:8
bari=ju	10	2:5, 2:6, 3:4, 15:23, 30:10, 31:4, 37:1, 37:4, 38:14, 40:5
bari=qu-yin	2	39:4, 42:3
bari=qula	3	33:12, 38:18, 38:26
bas'_a	2	4:9, 32:5
basa	4	5:8, 6:3, 40:10, 40:10
Bayay'ud-un	1	5:5
Bayari	1	30:2
bayi=γ'ad	1	35:2
bayi=ji	1	28:5
bayi=ju	1	4:5
bayi=la	1	40:8
bayi=n'am	8	5:7, 6:5, 7:4, 9:4, 11:4, 18:3, 31:7, 40:9
bayi=nam	1	43:2
bayi=qu-yin	1	43:8
bayi=tał_a	2	12:5, 25:3
bayi=tala	1	15:11
bayi=tuy'ai	1	19:2
Bayiy'undai	1	5:4
bayily'_a=	1	28:2
bayilya=ba	1	20:6
bayilya=γsan	1	20:5
bayiri-du	1	29:1
be	4	4:16, 30:10, 32:5, 38:39
beleg	1	40:11
berke	1	32:7
bey_e	5	15:24, 33:9, 33:11, 35:4, 38:17

bi	5	11:4, 43:2, 44:2, 45:2, 46:3
biči=	1	37:6
bičig	20	9:1, 10:1, 27:1, 28:1, 31:1, 32:1, 35:1, 36:1, 37:6, 37:6, 39:3, 39:4, 40:4, 41:3, 42:3, 42:3, 43:1, 44:1, 45:1, 46:1
bičig-i	3	44:2, 45:1, 46:1
Bičiyeči^darqan^ubasi	1	42:9
bide	19	3:4, 4:4, 4:7, 9:5, 9:8, 12:7, 14:6, 23:2, 24:3, 24:5, 31:4, 39:7, 40:6, 42:3, 43:3, 43:8, 44:3, 45:2, 46:3
bide+či	1	10:6
biden-d'ü	1	7:2
biden-dü	1	12:3
biden+I	1	43:5
biden-I	3	9:7, 39:6, 46:2
biden-ü	4	4:5, 4:15, 39:6, 39:9
bile	8	11:3, 19:2, 31:4, 40:7, 40:8, 40:8, 40:9, 40:10
Biruy'u_tu^qangγ'an-ača	1	38:5
Biruy'u_tu^qangγ'an-d'u	1	38:4
bisi	12	8:5, 10:7, 13:4, 15:11, 18:2, 19:3, 20:1, 21:3, 32:7, 38:6, 43:7, 43:8
bisi+ü	10	12:7, 23:4, 24:5, 25:3, 27:3, 31:2, 31:10, 34:2, 34:3, 34:4
bisin-d'ü	1	40:9
bisin-i	1	23:1
boda-ača	2	15:18, 15:18
boyda	1	42:1
bol=ba	16	10:7, 15:7, 15:9, 15:24, 15:28, 16:8, 16:9, 26:5, 33:22, 36:2, 38:28, 38:28, 38:36, 38:41, 38:47, 41:4
bol=jam	1	32:8
bol=ji	2	40:7, 42:8
bol=ju	5	4:4, 4:7, 13:3, 33:7, 38:20
bol=qu	2	10:6, 27:9
bol=qula	3	27:3, 33:17, 33:18
bol=tala	1	32:1
bol=tuy'ai	5	14:8, 15:19, 15:20, 15:21, 39:1
bol=u=γ'ad	1	14:8
bol=u=γčin	1	1:1
bol=u=γsan	3	4:1, 16:7, 39:3
bol=u=γsan-d'u	1	35:3
bol=u=n	1	39:9
bol=u=sa	17	10:2, 10:3, 10:4, 10:8, 12:3, 15:6, 15:14, 15:18, 15:23, 15:25, 30:9, 32:8, 35:1, 35:3, 37:8, 40:4, 40:5

bolγ'a=ba	1	3:3
bolγa=ǰi	1	40:8
bolγ'a=ǰu	1	8:4
bolγ'ayda=qui	2	1:3, 1:3
bolγ'u=γ'ad	1	38:30
bolγ'uγ'a=ǰu	2	35:1, 35:4
bolǰiyan-I	4	15:5, 15:5, 17:4, 32:9
bolǰuy'_a	1	24:6
bolǰuy'_a[bonǰuy'_a!]	1	23:5
bolǰuy'an-I	1	36:3
bolǰuy'un	3	19:4, 20:3, 21:2
Bongsug^kiy_a	1	40:11
borbi	1	37:7
borda=ǰu	2	23:5, 24:6
borduy'ul=	1	27:5
Boru^qorč'in-I	1	26:2
Boru^qorč'in-i	1	4:5
bos=ču	1	30:10
bos=qula	3	38:32, 38:33, 38:35
bosaqul[bosqul?]	1	26:3
bosqay'ul-i	2	15:14, 15:17
bosqay'ul-un	1	15:17
bosqul	2	38:36, 38:42
bosqul-i	5	33:2, 33:19, 38:8, 38:41, 38:44
bosqul-Yin	4	25:1, 33:4, 38:12, 38:34
bö=lüge	1	43:5
böge=tel_e	1	4:5
buča=qula	2	15:16, 15:24
buday'_a	2	23:5, 24:6
bui	15	5:1, 5:8, 7:5, 10:6, 14:7, 19:4, 20:2, 21:4, 26:8, 28:4, 30:11, 31:8, 32:7, 40:11, 40:11
buliya=ǰu	1	8:2
Bumbudai	1	5:3
buruy'u	6	2:2, 3:4, 32:2, 32:11, 36:1, 43:8
buruy'u+ban	1	32:8
buruy'ulay'ul=ǰu	1	15:12
buruy'usiya=γsan	2	4:13, 4:16
buruy'usiya=ǰu	3	14:4, 14:6, 43:6
buruy'usiya=tuy'ai	2	4:13, 4:16
buyu	12	8:5, 12:4, 12:6, 13:3, 13:4, 27:4, 31:8, 31:9, 32:5, 34:3,

		36:2, 43:7
bü=kü+yin	1	42:6
bü=kün	1	1:1
bügse	1	15:18
bü'güde	1	37:6
bügüde	7	9:6, 15:2, 23:1, 24:2, 30:6, 30:10, 38:30
bügüde-gi	1	38:14
bügüde-yi	3	33:3, 38:9, 40:7
bügüdeger	10	11:2, 12:7, 13:2, 22:1, 23:3, 24:4, 27:7, 34:2, 34:5, 38:32
bükül_i	1	38:34
büri	1	11:1
bütegei	4	19:3, 20:2, 21:3, 21:4
bütegelče=ji	1	40:5
büü	9	10:10, 19:4, 20:3, 27:5, 27:10, 30:9, 31:2, 31:3, 37:2

Č

čabči=γsan	1	35:1
čay-tu	1	35:2
čay'aja	9	13:1, 14:2, 15:1, 16:3, 25:2, 33:2, 38:3, 43:8, 46:2
čay'aja+bar	1	37:3
čay'aja-bar	5	15:6, 15:16, 15:19, 15:20, 15:21
čay'aja+i_gi	1	37:1
čay'aja-yi	2	14:6, 16:6
čay'ajan-d'ur	1	14:3
čay'ajan-I	2	27:10, 28:4
čay'an	3	14:1, 16:1, 16:8
čag[!]+tu	2	2:2, 2:4
čai-gi	1	26:3
čamča	1	40:9
Čaqar	9	4:3, 4:7, 4:12, 15:6, 26:3, 31:5, 31:7, 32:6, 43:6
Čaqar-ača	3	26:1, 27:2, 31:4
Čaqar-i	1	43:4
Čaqar-tu	4	15:1, 19:4, 20:2, 21:4
Čaqar-un	5	3:1, 5:2, 41:1, 43:4, 43:6
Čaqar-Yin	2	31:3, 34:1
čerig	14	4:8, 10:7, 19:2, 19:3, 19:4, 20:1, 20:2, 21:2, 21:4, 26:9, 31:3, 31:6, 37:1, 43:4
čerig-i	1	20:5
čerig-iyen	1	38:30

čerig-t'ü	1	12:6
čerig-tü	1	32:8
čerig-ün	3	23:5, 24:6, 38:35
čerig-Yin	3	19:4, 20:3, 21:2
čerig_tei	1	15:4
či	10	4:8, 27:4, 28:1, 28:2, 32:2, 32:8, 40:4, 40:5, 40:10, 40:10
čida=ba	1	39:6
čida=bači	1	39:6
čiddam	1	40:1
čider-i	1	37:7
čidkür	1	8:5
čiy'ulγ'ačin	1	30:7
čiy'ulγ'an	1	36:1
čiy'ulγ'an-d'u	2	30:7, 32:4
čiy'ulγ'an-I	1	5:6
čilay'un-d'u	1	35:1
čimeg	1	42:6
čin'adu	1	27:7
čin'aysi	2	39:7, 40:6
činaysi	1	42:8
čing	2	3:6, 4:3
čing-e	1	37:1
Činggis^qay'an-u	1	42:1
čin'i	2	35:3, 35:4
čini	1	32:3
Čin'un-Yin	1	17:2
čin'ü	1	44:2
činü	2	45:1, 46:1
Čoy_tu^tayiqu-d'u	1	25:1
čo_l_a	1	29:3
čola	3	29:1, 41:2, 47:1
Čolman	1	16:4
Čorji-yin	1	17:2
Čoski-d'u	1	36:1
čögečile=jü	1	10:9
čögüken	1	34:3
čuyla=	2	30:7, 38:31
čuyla=γsan	2	38:31, 38:32
čuyla=qu	1	36:3
čurkira=jü	1	37:2

d

day'a=ju	2	4:4, 7:2
day'a=y_a	1	3:2
dayay_a	1	30:8
day'uda=y'ad	1	41:3
day'un	3	37:2, 37:2, 37:3
Day'ur	1	16:4
Day'ur^qatan^bay'atur	1	16:2
day'usqa=ba	1	4:5
Day'uur-i	1	27:9
Dalai	1	38:5
Dalai^cükegür	4	14:1, 15:1, 22:1, 30:3
Dalai^tayiji-yi	1	4:5
Dalai-yin	2	20:4, 21:1
dalan	1	15:2
Dalaqai^jayisang	1	30:1
Dalayi-gi	1	31:6
Dalayi-yin	1	31:7
dalda=ju	4	30:10, 33:6, 33:19, 38:20
Dalingqu-d'u	1	32:5
Dalingqu-yin	1	29:1
dang-iyar	1	38:34
Dara^eke	1	30:3
Dara^eke-d'ü	1	25:1
Darmadi	1	18:3
Darmadi-d'u	1	18:3
Darqan	2	29:3, 47:1
Darqan^bay'a'tur-t'u	1	12:1
Darqan^qosiy'uči	1	29:1
Darqan^qung^bay'atur	1	34:2
Darqan^tabun'ang	1	42:9
Darqan^tayiji-yin	1	27:6
Darqan-d'u	1	38:5
daru=	1	37:6
daru=ju	1	38:42
daruy'_a	10	33:13, 33:14, 33:14, 37:2, 37:2, 37:3, 38:19, 38:22, 38:22, 38:43
daruy'_a-ača	3	33:13, 38:7, 38:15
daruy'_a-gi	1	38:21

Dayičing	1	5:3
dayila=γsan	2	43:3, 43:4
dayila=ǰu	1	43:3
dayila=qu	1	12:5
dayila=qula	1	7:2
dayin	1	7:4
dayisun	8	12:5, 14:7, 23:3, 23:4, 24:4, 24:5, 27:9, 38:29
dayisun-I	2	32:12, 38:7
dayisun-i	2	23:2, 24:3
degedü	2	16:4, 40:7
degeysi[!]	1	16:5
degeysi	7	15:2, 15:17, 17:4, 27:3, 37:5, 37:6, 38:33
degeł	2	7:3, 41:7
degeł+ei	1	40:9
deger_e	12	2:3, 4:1, 4:13, 4:13, 4:15, 4:15, 4:16, 4:16, 4:17, 4:18, 30:7, 30:8
degü	2	27:7, 40:9
degü-ben	1	34:4
degü-degen	1	27:2
degü-iyen[!]	1	32:2
degü-yi	1	2:4
degü-yin	1	15:24
deł	1	37:6
demen'e=ǰü	1	10:9
dobtul=ba	1	5:1
dobtul=qula	2	15:5, 37:8
dobtul=u=γ'ad	1	31:6
dobtul=u=γsan	1	38:31
dobtul=u=qula	1	38:30
dobtul=u=y_a	1	26:6
doγ'uysi	5	15:2, 15:18, 16:5, 17:4, 37:5
doluy'an	3	23:5, 24:7, 27:5
doluy'an'-a	1	14:2
doluy'an-d'u	3	19:5, 20:3, 21:3
Dongqur	1	14:9
Dorbi-d'u	4	19:5, 20:3, 23:6, 24:7
doruyitay'ul=u=γsan	1	32:6
doruyitay'ulγ'ul=ǰu	1	24:5
doruyitay'ulγ'ul=ǰu[doruyitay'ulγ'un=ǰu!]	1	23:3
dotaysi	1	38:30

dotura+ban	1	40:10
dörbe	1	31:1
dö'rben	2	15:24, 15:30
dörben	3	1:1, 6:2, 42:10
Dö'rben^kegüked	1	26:7
Dörben^kegüked	3	30:3, 30:7, 38:5
Dörben^kegüked-eče	2	20:5, 21:1
Dörben^kegüked-tü	1	13:1
dö'rben'-e	1	41:9
Döribi-d'ü	1	21:2
duin	1	30:5
dumda	2	15:20, 41:4
dumdadu	1	34:6
Dung^dayičing	1	30:2
duratai	1	10:8
duta=qula	1	17:3
Dügüreng	2	5:3, 18:1
Dügüreng-Yin	2	17:1, 24:1
Dünggei-d'ü	1	32:3
dürbe=l_ügei	1	4:2

e

ebde=	5	19:3, 20:2, 21:3, 27:5, 30:9
ebde=be	1	42:4
ebde=besü	1	16:6
ebde=ged	2	4:12, 28:4
ebde=gsen	3	4:16, 12:5, 46:3
ebde=ǰü	4	4:17, 8:5, 14:4, 46:2
ebde=kül_e	1	4:16
ebde=küle	3	14:6, 15:28, 15:29
ebde=l_ügei	2	28:3, 32:9
ebde=n	1	28:5
ebdere=kü	1	28:3
ebdere=kü-yin	1	20:5
ebdere=l_ügei	1	42:9
ebderesi	1	42:4
eber	3	15:24, 33:17, 38:25
eber-iyer	2	33:12, 38:18
eberle=gči	2	33:17, 38:25

ebül-ün	3	16:8, 38:1, 38:47
eči=	1	35:2
eči=be	1	5:2
eči=gsen	1	5:1
eči=ǰü	6	10:3, 15:19, 35:1, 35:4, 38:2, 38:38
eči=kü	1	15:8
eči=küle	1	30:10
eči=l_ügei	1	35:2
eči=m	1	40:10
eči=y_e	1	35:3
ečige	2	2:3, 4:8
ečige-eče	1	2:2
eD	2	43:4, 43:7
eden-dü	1	37:3
edüge	3	32:1, 43:6, 46:3
edür	3	23:5, 24:7, 38:28
edür-ün	1	15:9
egün-d'ü	4	30:2, 30:3, 30:5, 34:3
egün-dü	1	30:4
egün-d'ür	1	16:6
egün-eče	1	29:2
egün'+i	1	5:1
egün-I	1	32:8
egün-i	1	34:2
eǰen	10	33:9, 33:15, 37:2, 37:3, 37:3, 38:14, 38:38, 39:3, 39:6, 40:8
eǰen-d'e	1	8:4
eǰen-d'ün'i	2	37:4, 38:24
eǰen-d'üni	1	33:17
eǰen-eče	1	33:18
eke	1	2:3
eken'er	1	41:6
eki	1	33:7
ekile=gč'i	1	38:36
ekile=gsen	1	38:37
ekile=n	4	14:1, 15:1, 39:2, 42:1
ekin	7	14:2, 16:1, 16:8, 21:5, 33:2, 38:1, 38:47
elči	20	6:2, 6:6, 15:7, 15:8, 15:10, 15:13, 15:23, 16:8, 22:1, 27:6, 32:1, 32:12, 33:8, 33:17, 38:16, 38:18, 38:25, 38:39, 38:41, 42:9
elči-gi	1	15:11

elči-yi	2	15:10, 15:12
elči-yin	3	15:11, 39:10, 40:11
elči-yuy'an[!]	1	39:8
elčid	2	29:2, 42:11
Eljige-yin	2	22:3, 31:1
else=küle	1	4:12
em_e	9	6:2, 6:3, 9:5, 15:22, 38:9, 38:10, 38:11, 38:14, 38:16
eme	3	33:8, 33:9, 33:10
emegel	1	41:7
emegel-iyen	1	15:13
emegel_tü	1	41:6
em_e_t'ei	1	26:2
emiye=ǰü	1	31:6
emiyegde=kü	1	27:2
emügge=kü	1	31:8
emün'_e	1	16:2
ende	6	10:5, 10:7, 32:1, 36:2, 42:3, 42:6
endegüre=ǰü	1	15:11
en'e	25	4:15, 4:17, 5:8, 9:7, 10:9, 14:6, 16:6, 19:4, 19:5, 20:2, 20:3, 21:3, 21:4, 23:5, 24:6, 26:10, 30:7, 32:5, 32:7, 33:21, 35:3, 38:46, 39:7, 40:10, 42:7
ene	1	29:2
eng	1	30:8
enggi=ǰü	1	9:3
engke	4	2:7, 3:7, 8:4, 14:8
engkeǰi=kü	1	43:1
engkeǰigül=kü	1	42:5
Erdeni^nomči-d'u	1	45:1
erden'i_tü	1	39:8
er_e	1	41:6
ere	2	26:2, 30:5
ergigül=ǰü	1	40:10
ergü=n	1	42:3
ergügde=gšen	1	40:2
erildü=y_e	1	39:5
Erke	1	40:4
erke	1	39:9
Erkel-dü	1	12:2
erten-ü	1	43:3
es'_e	20	15:2, 15:3, 15:4, 15:5, 15:6, 15:6, 15:8, 15:8, 15:11, 15:13,

		15:26, 15:27, 27:8, 32:3, 32:4, 32:4, 34:5, 39:6, 39:6, 47:1
es_e	1	2:5
ese	21	6:4, 14:3, 16:7, 17:4, 27:8, 30:7, 32:5, 33:5, 33:14, 38:22, 38:26, 38:27, 38:29, 38:31, 38:34, 38:35, 38:39, 38:43, 38:44, 38:46, 40:6
esergüle=be	2	4:7, 4:8
esergüle=kü-d'ü	1	4:7
Eseyin	1	5:5
eske=be	3	16:3, 33:2, 38:3
ey_e	1	42:9
eyin	1	39:8

γ

γ'ary'a=ju	1	26:10
γ'abiy_a	2	39:9, 42:7
γ'adaysi	4	33:16, 33:20, 38:23, 38:44
γ'agča[!]	1	33:17
γ'ajar	5	14:4, 14:6, 14:8, 32:6, 43:6
γ'ajar-a	10	4:1, 9:4, 15:5, 15:6, 15:7, 17:4, 26:10, 27:9, 32:9, 36:3
γ'ajar-t'ay'an	1	18:1
γ'ajar-tu	1	4:11
γ'ajar-un	1	2:3
γ'ajar-Yin	2	44:3, 45:2
γ'al	1	37:5
γ'al-Yin	1	37:3
Γ'aljaj'u^seder-tü	1	32:1
Γ'al_tu^bay'atur	1	16:3
Γ'aqai	1	14:9
γ'ar	2	30:5, 30:5
γ'ar=	1	37:2
γ'ar=qu	2	15:23, 17:3
γ'ar=qu-yin	3	19:3, 20:2, 21:4
γ'ar=qul_a	1	38:40
γ'ar=qula	11	14:5, 33:4, 33:5, 33:7, 33:13, 33:20, 37:2, 38:7, 38:11, 38:21, 38:43
γ'ar=tala	1	15:6
γ'ar=u=γsan	4	15:25, 30:9, 37:3, 38:40
γ'ar=u=n	1	37:1
γ'ar-t'ay'an	1	18:2

γ'ar-Yin	1	12:1
γ'ary'a=ba	1	4:9
γ'ary'a=γči	1	38:10
γ'ary'a=γsan	1	4:9
γ'ary'a=ji	2	33:3, 38:10
γ'ary'a=ju	5	33:9, 33:10, 33:14, 38:16, 38:19
γ'ary'a=qu	4	10:8, 33:8, 38:31, 38:36
γ'ary'a=qula	1	38:37
Γ'oltu^sečen	1	41:1
Γ'orlus	1	27:5
Γ'orlus'	1	31:1
Γ'orlus'-ača	1	27:10
γ'oul	2	17:2, 17:3
γ'oul-Yin	1	17:2
γ'urba	2	15:5, 15:13
γ'urban	6	15:16, 18:1, 18:2, 26:2, 37:4, 39:3
γ'urbatu-ača	2	15:2, 15:2

ğ

ğalab'-t'u	1	42:7
ğalab-tur	1	14:8
Ğarm^čanbui^bandida	1	40:11
Ğarm_a	1	34:1
Ğarm_a^čoyibal^sečen^bandida	1	39:10
Ğarm_a-d'u	1	11:1

g

ge=gsen	2	11:3, 35:2
ge=gsen-d'ü	2	11:2, 35:2
ge=ji	8	5:2, 5:6, 6:4, 15:14, 19:2, 27:10, 39:9, 43:2
ge=ju	26	2:1, 2:4, 3:1, 3:2, 4:8, 4:8, 4:10, 8:1, 8:2, 11:3, 13:1, 26:5, 26:6, 26:9, 27:8, 28:2, 28:6, 29:1, 31:6, 33:16, 33:20, 34:2, 38:23, 38:41, 46:2, 47:1
ge=kü	4	6:5, 26:5, 35:1, 35:3
ge=kü+dü	1	40:9
ge=küi-yi	1	40:7
ge=küle	3	4:7, 40:10, 42:8
ge=le	1	31:5

ge=n'em	8	5:3, 5:5, 6:3, 12:2, 13:2, 22:3, 25:2, 31:2
ge=nem	8	26:4, 26:5, 26:6, 26:6, 26:6, 26:8, 26:10, 27:10
ge=tel_e	2	4:4, 15:11
ge=tele	1	15:26
ged	1	34:3
gegegen-degen	1	42:7
Gegen^qay'an	3	2:1, 2:1, 4:2
Gegen^qay'an-I	2	3:1, 26:8
Gegen^qay'an-i	1	3:1
Gelčerkü-eče	1	16:4
gem	5	4:4, 4:6, 40:6, 40:6, 43:2
Genggel^kiy_a^n'oyan	1	24:2
ger	12	11:2, 15:14, 18:1, 31:5, 33:9, 33:11, 38:9, 38:10, 38:12, 38:14, 38:16, 38:30
ger-i	1	18:2
ger-teče	1	37:1
ger+tegen	1	9:7
ger-tü	1	15:15
ger_e	1	11:3
gereči	2	33:10, 33:15
gereči-ber	4	33:4, 33:7, 38:11, 38:21
gereči-yi	1	33:20
gereči-yin	2	33:14, 38:19
gerečile=be	3	33:16, 33:20, 38:23
gerečile=gči	5	15:15, 33:5, 33:6, 38:12, 38:15
gerečile=gsen	1	38:44
gerečile=ǰü	1	15:15
gisun	1	38:1
güiče=gsen-i	1	2:5
güičege=be	1	2:4
güm	1	34:1
Gümüdei	1	18:2
Gümüdei-d'ü	1	18:2
Gümüdei-yin	1	18:1
Gümüski	1	24:1
Güwendüi	1	30:3
Güyeng	1	5:6

í

ibege=ǰü	2	4:9, 4:9
ide=ǰü	1	38:40
ide=kü	4	15:9, 29:2, 30:8, 41:4
ide=kü-yin	1	43:3
ide=küle	1	15:10
iǰay'ur-ača	1	32:1
iǰay'ur-un	2	27:9, 41:5
iǰay'ur-Yin	2	13:3, 32:11
ilay'u=γsan	1	42:2
ilči	1	1:2
ildü	1	15:11
ile	3	15:25, 30:9, 38:40
ilege=	4	22:2, 22:3, 26:11, 37:5
ilege=be	16	9:1, 12:1, 18:1, 19:2, 22:1, 23:1, 24:2, 25:1, 27:1, 28:1, 32:1, 36:1, 43:1, 44:2, 45:1, 46:1
ilege=gšen	3	44:2, 45:1, 46:1
ilege=gšen-i	1	31:4
ilege=ǰü	1	31:4
ilege=kü+dü	1	37:5
ilegü	1	27:11
ilegü_tü	1	23:2
ilegütü	1	24:3
ilγ'ay'_a	1	38:35
Iltuči	1	16:2
in'aγsi	7	4:4, 16:8, 22:2, 26:5, 27:8, 39:7, 40:6
inaysi	2	32:10, 42:8
in'ü	1	14:8
ir_e=	3	15:9, 23:6, 24:7
ire=	9	19:3, 19:5, 20:1, 20:4, 20:5, 21:3, 30:10, 35:4, 36:3
ire+=ge=ǰi	1	31:4
ire=be	4	2:4, 5:5, 26:3, 32:4
ire=ged	2	4:10, 13:1
ire=gšen	8	2:4, 10:2, 10:4, 14:2, 18:3, 25:1, 34:3, 38:42
ire=gšen-d'ü	1	4:8
ire=gšen-i	2	3:2, 22:2
ire=gšen-ü	1	41:2
ire=ǰem	1	34:2
ire=ǰi	1	6:2

ire=jü	5	4:6, 10:9, 15:20, 32:9, 38:29
ire=kü	7	6:3, 15:16, 22:2, 28:6, 33:2, 33:19, 38:8
ire=küi-d'egen	1	18:3
ire=küi-degen	1	15:9
ire=küi-gi	1	28:2
ire=küi-yi	1	22:2
ire=küle	6	6:6, 15:6, 15:15, 17:4, 27:8, 30:7
ire=le	2	2:1, 3:2
ire=ltei	1	40:9
ire=l_ügei	1	28:5
ire=m	1	36:1
ire=n'em	1	5:7
ire=sü	1	35:1
ire=tügei	1	22:2
irgen	1	1:1
itegeltü	1	4:11

ǰ

ǰ_a	8	5:7, 5:8, 12:3, 12:4, 28:4, 32:7, 44:3, 45:3
ǰačín-ača	1	16:5
ǰay'a=ǰu	1	38:2
ǰay'a=qu	1	37:7
ǰay'uy'ad	4	19:2, 19:2, 20:1, 21:2
ǰay'un	11	15:2, 15:4, 15:4, 15:5, 15:9, 15:16, 15:21, 15:26, 16:6, 38:13, 38:42
ǰay'urm_a	1	12:5
ǰalayid	3	22:3, 27:5, 31:1
ǰanči=qu	2	37:3, 37:8
ǰanči=qula	2	15:12, 15:12
ǰang	1	6:2
ǰaq_a	1	14:9
ǰaq_a-d'ur	1	14:9
ǰaq_a-yin	3	16:4, 17:1, 38:29
ǰaray'ud	1	38:6
ǰaray'ud-un	1	5:4
ǰaray'ud-Yin	1	30:5
ǰaralay[ǰarlay?]	1	27:1
ǰary'u	1	18:2
ǰary'učítai-yi	1	15:24

ǰarimud-Yin	1	26:5
ǰarla=ǰam	1	8:3
ǰarlay	12	7:1, 8:1, 10:3, 10:4, 29:1, 37:1, 41:1, 43:1, 44:1, 45:1, 46:1, 47:1
ǰarlay-iyar	2	10:2, 38:1
ǰarliy	19	11:1, 12:1, 13:1, 18:1, 19:1, 20:1, 21:1, 22:1, 23:1, 24:1, 25:1, 28:1, 30:6, 31:1, 32:1, 34:1, 35:1, 36:1, 40:3
ǰarliy-iyar	1	33:1
ǰarlig[!]-iyar	1	1:1
ǰaru=ǰu	1	27:6
ǰaru=y_a	1	6:7
ǰaruyda=basu	1	1:2
ǰaruy'ud	1	13:2
ǰaruy'ud-Yin	1	23:1
ǰasay	1	37:1
ǰasay-iyar	2	33:21, 38:46
ǰasay-un	8	15:2, 15:7, 15:7, 15:8, 15:8, 15:27, 15:28, 16:7
ǰasay-Yin	1	38:39
ǰasay_tu^ǰin'üng	1	42:11
ǰasay_tu^ǰinüng-d'ü	1	46:1
ǰasay_t'u^qay'an-ača	1	4:3
ǰayay'an-bar	1	4:1
ǰayisai	1	4:6
ǰayisang-ud-tu	1	40:4
ǰegün	4	12:1, 14:9, 26:4, 30:5
ǰegün-d'e	1	26:8
ǰegün-de	1	17:1
ǰelm_e^darqan^n'oyan	1	40:4
ǰerdem	1	26:6
ǰiy'ulčın	1	38:28
ǰil-ün	5	14:1, 16:1, 16:8, 33:2, 38:1
ǰiluy'ad=_u=n	1	39:6
ǰin^ǰ'oul-Yin	1	14:9
ǰin'üng	1	26:4
ǰin'üng^bay'atur	1	34:4
ǰin'üng-d'ü	1	31:3
ǰin'üng-i	1	31:4
ǰıran	1	39:3
ǰiry'a=n	2	2:7, 3:8
ǰiry'alang^n'oyan	1	38:1

ĵiry'alang-iyar	1	2:7
ĵiry'uday'ar	2	34:6, 38:47
ĵiry'uy'an	3	4:6, 30:6, 39:5
ĵiruy'uy'an[ĵiry'uy'an?]	1	25:2
ĵisiy_a	1	14:9
ĵisiyay'_a-yi	1	38:2
ĵisiyan-I	3	14:4, 26:10, 38:6
Ĵisud	1	30:4
ĵoba=γsan	1	4:13
ĵoba=ĵu	1	34:3
ĵobay'a=γsan	1	4:16
ĵobay'a=tuy'ai	2	4:13, 4:17
ĵobkis-tur	1	1:1
ĵoki=n'am	1	12:4
ĵoki=qula	1	6:4
ĵokiča=ĵu	2	38:26, 38:45
ĵokiya=la	1	6:4
ĵolγ'_a=	1	10:3
ĵolγ'a=ĵu	1	10:9
ĵolγ'a=qu	1	10:8
ĵolγ'a=r_a	1	4:10
Ĵoliγ	3	15:22, 33:8, 38:14
Ĵoluy'_a	1	38:41
ĵori=γsan	6	15:17, 33:4, 33:5, 38:9, 38:11, 38:12
Ĵoriγtu^darqan^n'oyan	1	41:2
ĵöb	3	11:2, 32:5, 43:2
ĵöb'	1	42:8
ĵöb+ki=ĵü	1	35:2
ĵöble=ĵü	1	38:32
ĵöble=küi-yin	1	6:6
ĵöge=	1	27:10
ĵöge=ĵü	1	32:10
ĵöge=tügei	1	27:9
ĵöge=y_e	1	27:10
ĵun-u	2	14:1, 16:1
Ĵungq_a-d'u	1	10:2
ĵüg	4	1:1, 27:6, 31:5, 31:9
ĵüg-eče	1	38:29
ĵüg-tür	1	38:31
ĵügeger	2	9:3, 9:5

Ĵürčid 1 16:5
Ĵürčin 1 16:4

k

kedün 10 15:8, 15:14, 15:22, 15:23, 27:7, 30:9, 33:3, 38:8, 38:13, 40:4
kegüked 7 22:3, 31:1, 38:9, 38:10, 38:11, 38:14, 38:16
kegüked-t'ü 1 27:6
kele 1 31:4
kele= 3 19:4, 20:3, 21:4
kele=ĵem 1 27:4
kele=ĵü 2 22:3, 27:2
kele=kü 1 36:2
kele=m 3 44:3, 45:2, 46:3
kelelče= 1 38:40
kelelče=_be 1 27:10
kelelče=gšen 7 14:4, 14:6, 14:7, 15:1, 27:9, 28:4, 28:4
kelelče=ĵü 5 12:7, 14:2, 22:1, 38:38, 46:2
kelelče=y_e 1 36:3
keltegei 1 31:7
ken 4 3:4, 14:7, 16:6, 31:8
ker 4 4:16, 30:10, 32:5, 38:39
kereg 3 28:6, 31:9, 36:2
keregtei 1 28:4
keregtei-yin 1 39:5
kerem 1 10:7
keseg 1 26:6
keüken 2 35:1, 40:4
keüken-iyen 1 35:4
ki=gšen 1 15:23
ki=ĵü 4 2:2, 9:4, 13:2, 39:8
ki=kü 4 14:7, 16:6, 32:11, 38:8
ki=küle 13 15:19, 15:20, 15:21, 15:22, 15:25, 33:11, 37:7, 37:7, 37:7,
38:13, 38:13, 38:17, 38:42
kičiye=kü 1 26:7
kičiye=küle 2 23:3, 24:4
kilče=küle 1 15:20
Kingγ'_a 1 22:2
kirγ'uul-d'u 1 37:7
kisay'_a 1 40:7

Kitad	4	15:6, 32:6, 43:3, 43:7
Kitad-ača	2	25:1, 26:3
Kitad-i	3	7:2, 7:3, 8:3
Kitad-tu	3	15:3, 19:2, 31:5
Kitad-tur	1	43:6
Kitad-un	1	43:4
Kitad-Yin	2	12:3, 32:3
köbegüd	2	33:9, 33:10
köbegüd-i	1	33:8
köbegün-i	2	9:6, 15:22
köbegün-iyen	1	6:3
köge=ǰü	2	10:7, 13:2
köge=küle	1	13:3
küči	4	20:5, 28:3, 28:5, 30:9
küči-gi	4	19:3, 20:1, 21:3, 28:3
küčü	1	43:7
kü'čü+ben	1	12:5
küčü-ber	1	14:3
küčü-gi	1	32:9
küčün-iyen	1	2:6
küčütü	1	39:9
kümün	37	10:8, 11:2, 12:6, 15:12, 15:13, 15:14, 15:14, 15:15, 15:16, 15:17, 15:22, 17:3, 23:2, 24:3, 26:2, 33:3, 33:5, 33:10, 33:11, 33:15, 33:17, 37:8, 38:7, 38:8, 38:12, 38:13, 38:15, 38:17, 38:25, 38:26, 38:32, 38:36, 38:37, 38:38, 41:6, 41:6, 42:10
kümün-d'ü	4	33:6, 37:2, 38:39, 39:4
kümün-eče	5	17:3, 23:1, 33:18, 37:5, 38:33
kümün-I	9	1:1, 17:3, 23:4, 24:5, 33:4, 33:4, 37:3, 38:6, 38:11
kümün-i	23	4:16, 7:4, 8:3, 15:15, 16:7, 18:1, 23:3, 24:4, 27:6, 33:3, 33:3, 33:8, 37:3, 37:4, 37:8, 38:9, 38:10, 38:28, 38:36, 38:37, 38:45, 44:3, 45:2
kümün-ü	1	39:8
kündülelče=ǰi	1	40:5
Kündülen^čükegür-Yin	1	26:2
Kündülen^qay'an	1	5:1
kün'esü	1	17:3
kür=či	11	15:6, 19:5, 20:4, 21:3, 23:6, 24:7, 27:8, 28:4, 28:5, 33:12, 38:40
kür=čü	6	2:6, 4:14, 11:3, 14:7, 32:9, 38:18
kür=kü	3	15:7, 15:7, 42:7

kür=küle	2	15:5, 15:13
kür=tel_e	1	38:5
kür=tele	8	14:8, 16:4, 29:3, 38:3, 38:4, 38:4, 38:5, 41:5
kü'r=tügei	1	3:5
kür=tügei	2	14:4, 14:6
kürge=	1	15:13
kürge=gšen	1	15:17
kürge=ǰü	2	15:17, 37:4
kürge=küle	1	15:14

l

labda	2	22:2, 26:6
lang	2	37:4, 37:8

m

may'ad	1	1:2
may'u	9	3:1, 3:4, 3:5, 9:4, 13:4, 14:4, 14:6, 22:3, 37:8
may'u+du	2	33:6, 33:19
may'u-d'u	2	38:20, 38:42
may'u-gi	2	32:10, 36:2
may'ui	3	2:4, 2:5, 2:5
may'ui-gi	1	13:3
mal	5	15:23, 23:1, 33:17, 33:18, 34:3
mal-ača	1	15:17
mal+i	1	33:17
mal-i	16	5:1, 14:3, 15:23, 33:4, 33:4, 33:9, 33:11, 33:12, 38:9, 38:10, 38:12, 38:14, 38:17, 38:18, 38:24, 38:25
mal-ıyan	3	31:9, 36:2, 38:30
mal-un	1	15:8
mal-Yin	3	33:9, 33:18, 38:14
man-ača	1	14:4
man+du	1	31:9
man-d'u	7	6:4, 7:4, 10:5, 10:8, 23:2, 24:3, 32:12
man-d'ur	1	14:4
man'+I	7	5:6, 9:2, 23:4, 24:5, 31:6, 31:9, 40:9
man'+i	3	5:1, 6:4, 32:6
man+I	1	7:3
man+i	2	6:5, 7:2

man-I	1	10:9
man'+i_gi	2	23:3, 32:7
man'+I_ki	1	31:5
man+i_yi	1	24:4
manduy'uł=qu	1	39:5
manduy'uł=quła	1	42:7
mangǵalam	1	40:11
Manǵu	1	15:19
Manǵu-d'u	1	15:19
Manǵu+i_yin	1	4:9
Manǵu-yin	5	4:10, 4:10, 4:12, 4:14, 15:20
Maq_a^samadi^sečen^qay'an	2	39:2, 42:1
Maq_a^samadi^sečen^qay'an-d'ur	1	43:1
Maq_a^samadi^sečen^qay'an-I	1	40:2
marta=ǵu	1	4:12
marta=l_ügei	2	4:10, 4:14
mečin	2	33:2, 38:1
mede=	5	38:32, 40:10, 40:10, 42:6, 43:2
mede=ǵü	6	31:4, 31:5, 31:7, 32:8, 44:3, 45:2
mede=kü	3	27:4, 30:6, 32:2
mede=nem	2	44:3, 45:3
mede=tügei	1	38:41
mede=y_e	1	43:9
melǵi=besü	1	15:16
mendü	5	28:2, 28:5, 39:8, 41:2, 42:3
mendü-yuy'an[!]	1	42:8
metü	2	35:1, 42:7
mingy'an	1	14:8
mini	2	40:10, 40:11
min'ü	1	32:7
Miratu^ǵ'oul-Yin	1	17:2
Mončuy	1	14:9
Mončuy-ača	1	38:3
mongy'uł	1	3:4
moquy'_a	1	14:9
morda=ba	3	32:3, 32:4, 32:5
morda=ysan	2	15:6, 31:3
morda=ysan-d'u	1	32:5
morda=ysan-i	1	31:5
morda=ǵu	5	4:8, 6:4, 19:3, 20:1, 38:35

morda=qu	7	15:2, 15:4, 19:2, 19:2, 19:4, 20:2, 21:4
morda=qu-d'u	3	32:3, 32:4, 37:1
morda=qu_l_a	2	15:2, 15:3
morda=qula	5	15:2, 15:3, 15:4, 19:2, 31:8
morda=y_a	1	6:5
mori	18	15:10, 15:11, 15:12, 15:15, 17:3, 17:4, 25:2, 31:1, 33:13, 33:15, 33:16, 33:21, 35:2, 38:7, 38:15, 38:23, 40:11, 41:6
mori-yi	2	15:10, 33:15
morida=	3	21:2, 23:2, 24:3
morida=ju	1	26:9
morida=l_ügei	1	12:6
morida=qu	1	26:8
morin	2	15:14, 38:44
morin-ača	1	5:5
morin-d'u	1	37:6
morin-du	1	41:7
morin-I	2	31:1, 38:41
moritai	1	24:2
mön	16	9:6, 15:6, 15:14, 15:15, 15:16, 15:18, 15:26, 26:10, 32:11, 33:7, 33:12, 38:19, 38:19, 38:20, 38:28, 38:36
mönggü	2	37:4, 37:8
möngke	1	4:1
mör	5	15:10, 15:24, 33:17, 38:25, 38:28
mör-tü	1	31:8
mösün	1	27:8
mude=ju[mede=ju?]	1	16:7
Mužai	1	16:3

n

nadur	1	43:6
N'aiman	4	13:2, 15:21, 30:5, 38:4
n'aiman	2	33:16, 33:21
n'aiman'-a	1	33:2
N'aiman-I	2	23:1, 34:2
n'amai	1	5:1
namayi	1	43:2
n'amur+ai	1	40:8
n'amur-un	2	21:5, 41:9
Nangnang^tayiqu-yi	1	41:1

n'aran	2	42:7, 42:8
n'asun	1	14:8
n'egü=be	2	26:4, 26:10
n'egülge=kü	2	16:8, 16:9
n'eke=gsen	3	38:36, 38:37, 38:44
n'eke=jö	1	32:11
neke=jö	2	8:3, 43:8
n'eke=kü	2	38:32, 38:35
n'eke=küle	2	38:34, 38:36
n'eke=l_ügei	1	31:5
n'eke=n'em	1	31:6
n'eke=tügei	2	38:33, 38:34
N'eligüd^day'ur-ıyan	1	32:10
neme=gsen	1	43:7
neme=gsen-ü	1	43:4
nengjigül	1	38:27
n'er_e	6	3:1, 39:4, 39:10, 42:6, 42:7, 42:9
n'ere	1	40:11
n'er_e-d'ü	1	34:4
n'er_e-yi	2	39:5, 41:5
n'erele=besü	2	41:6, 41:6
n'eyile=be	1	46:3
n'eyile=jö	1	27:7
n'eyile=küle	1	31:9
n'eyile=y_e	1	34:2
n'i	8	15:16, 15:25, 37:7, 37:7, 38:9, 38:12, 38:17, 39:7
ni	4	33:4, 33:9, 33:9, 33:11
n'idunun	1	35:1
n'ige	27	13:2, 15:18, 15:18, 15:18, 15:29, 17:3, 17:3, 20:4, 20:5, 21:1, 21:2, 26:2, 26:2, 26:5, 31:1, 33:8, 33:13, 33:16, 33:21, 37:2, 37:2, 38:7, 38:22, 38:24, 38:26, 38:45, 40:11
nige	1	27:8
n'iged=be	1	13:1
niged=dü=y_e	1	46:2
niged=kü	1	43:8
n'igen	2	16:5, 41:7
n'igen'-e	1	16:1
n'igen-i	1	15:11
n'ige_tü	1	25:3
n'igül	4	2:5, 3:5, 14:4, 14:6

n'iĵeged	2	15:4, 20:1
n'iĵiged	1	37:4
n'iruy'un-i	1	37:7
n'oyta-gi	1	37:6
n'oy'uγ'an	3	19:3, 20:2, 21:4
n'oyad	50	3:4, 4:4, 5:2, 6:3, 6:5, 8:1, 12:1, 14:4, 15:2, 15:3, 15:4, 15:7, 15:8, 15:9, 15:12, 15:14, 15:15, 15:21, 15:25, 15:27, 15:28, 15:28, 16:3, 16:7, 20:1, 28:2, 28:2, 28:3, 29:2, 30:4, 30:6, 30:7, 30:8, 33:2, 33:6, 33:19, 33:19, 33:20, 34:2, 38:6, 38:8, 38:10, 38:12, 38:20, 38:26, 38:41, 38:42, 38:42, 38:45, 39:2
n'oyad-ača	3	15:7, 15:8, 38:39
n'oyad-i	6	3:5, 4:6, 14:2, 14:6, 38:31, 38:36
n'oyad-tu	5	14:6, 15:17, 23:1, 23:1, 23:1
n'oyad-un	4	15:1, 15:10, 15:24, 15:27
n'oyad-Yin	1	42:11
n'oyan	12	14:1, 15:14, 15:24, 20:4, 20:4, 20:5, 21:1, 21:1, 21:2, 33:4, 38:10, 38:12
n'oyan-ača	13	15:26, 33:7, 33:11, 33:14, 33:16, 33:20, 33:21, 38:17, 38:21, 38:22, 38:24, 38:44, 38:45
n'oyan-d'u	1	38:11
n'oyan-d'u_n'i	1	30:11
n'oyan-I	2	9:1, 10:1
n'oyan-i	1	38:23
n'oyan-i[ni?]	9	33:3, 33:4, 33:5, 33:10, 33:11, 33:16, 38:9, 38:16, 38:17
n'ökür	1	33:9
n'ökür-ün	1	15:10
n'umu	1	15:11
n'umu_tai-yi	1	25:2
n'utuγ	2	27:3, 27:8
n'utuγ-ača	2	14:4, 38:6
n'utuγ-i	2	27:6, 27:8
n'utuγ-ıyan	2	27:2, 32:9
n'utuγ-tu	2	38:6, 38:28
n'utuγ-un	2	14:8, 38:2
n'utuγ-Yin	1	37:3
n'utuγla=	2	27:3, 27:7
n'utuγla=ju	1	36:2

O

oda	3	27:2, 31:7, 32:8
oytul=qu	1	37:7
ol=ju	1	39:8
ol=qu	1	32:6
ol=qula	1	7:5
ol=u=γsan	1	4:2
olan	4	19:3, 20:1, 21:3, 42:11
olan'-a	1	40:2
olan-I	1	26:4
olbuy	1	25:2
olja-yi	2	38:37, 38:37
olja=γsan	1	9:5
Ombu^čüikügür	1	24:1
omuytan-u	1	39:3
on	5	15:30, 21:5, 34:6, 38:47, 41:9
[o]ry'an-u	1	1:2
ory'u=ju	1	30:10
orki=l_ügei	1	13:4
oru	8	8:4, 15:23, 15:24, 33:8, 33:11, 38:11, 38:16, 38:17
oru=	1	31:3
oru=bači	1	31:9
oru=γsan	4	8:3, 10:5, 33:6, 33:19
oru=ji	1	15:5
oru=ju	7	12:2, 14:2, 31:8, 32:2, 38:20, 38:43, 43:4
oru=qul_a	1	9:8
oru=qula	4	15:27, 38:6, 38:7, 38:28
oru=tuy'ai	1	31:2
oruy'ul=u=γsan	3	7:3, 8:1, 9:2
oum	4	6:1, 39:1, 40:1, 42:1
oyir_a	3	27:3, 32:8, 34:4
öber	1	15:20

Ö

öber-tü	1	31:2
öber-tür	1	14:2
öber-ün	3	15:20, 38:32, 38:39
öber_e	4	14:5, 15:3, 15:28, 39:6

öbesüben	3	33:10, 35:2, 38:16
ö'büdüg-eče	1	26:7
öči=ǰü	3	4:11, 15:8, 16:7
öči=müi	1	4:3
öčig	1	4:3
öčügen	1	16:3
ög=	5	9:6, 11:2, 15:17, 18:3, 27:11
ög=be	7	10:1, 13:1, 29:1, 34:3, 35:2, 40:4, 41:8
ög=či	2	18:2, 40:5
ö'g=čü	1	2:6
ög=čü	3	15:11, 15:26, 29:1
ög=gesei	1	11:4
ög=gü=ged	2	38:2, 47:1
ög=gü=ltei	2	25:3, 34:3
ög=gü=y_e	1	11:3
ög=güsei	1	5:2
ög=kü	11	8:4, 9:5, 15:23, 30:6, 33:6, 33:8, 33:17, 38:14, 38:24, 38:38, 41:5
ög=küle	11	15:8, 15:8, 15:11, 33:3, 33:10, 33:14, 38:10, 38:16, 38:19, 38:27, 38:39
ög=tügei	2	38:11, 38:16
ögede	1	40:7
ökin	1	40:9
ömči	2	15:3, 15:28
örgü=n	1	39:3
ö'rüsiye=ǰü	2	3:2, 3:7
örüsiye=ǰü	3	14:8, 41:2, 47:1
ösiy_e	1	40:6
ö'siy_e_t'ü	1	43:3

q

qabur	4	19:3, 20:2, 21:3, 27:9
qabur-un	2	33:2, 34:6
qabur-Yin	2	26:10, 32:4
qad-un	1	4:2
qaday'ała=ǰi	1	39:7
qaday'asu	1	42:8
qay'ača=ǰu	3	14:4, 26:5, 37:4
qay'ała=qu	1	37:7

qay'an	13	2:2, 3:2, 4:9, 5:4, 10:2, 10:3, 31:3, 33:6, 33:22, 34:1, 38:47, 40:7, 43:4
qay'an-ača	2	16:8, 38:41
qay'an-d'u	2	4:10, 10:3
qay'an-du	3	5:2, 5:8, 6:6
qay'an-I	21	2:5, 3:3, 3:6, 4:10, 4:12, 4:14, 18:1, 19:1, 20:1, 21:1, 22:1, 23:1, 24:1, 25:1, 30:6, 31:1, 32:3, 33:1, 34:1, 35:1, 42:9
qay'an-i	2	3:1, 43:6
qay'an-u	10	7:1, 10:2, 10:4, 11:1, 12:1, 37:1, 38:1, 41:1, 41:1, 47:1
qay'as'	5	33:5, 33:10, 33:15, 38:12, 38:15
qay'as'-yi+n'_i	1	33:6
qaǰay'ar	1	37:6
qaǰiy'ai	1	36:1
qaǰiyar	2	15:10, 15:14
qal=qu-gi	1	38:32
qal=u=ǰu[qal=ǰu?]	1	9:3
Qalǰan-du	1	17:2
Qalq_a	2	4:7, 15:21
Qalqa-ača	1	26:4
Qalq_a-d'u	3	4:3, 44:2, 45:2
Qalq_a-du	1	47:1
Qalq_a-dur	1	46:2
Qalq_a-luy'_a	1	4:12
Qalq_a-yin	2	5:2, 43:1
qamtu-bar	1	3:7
qamuy'-a	1	42:6
qamuy-ača	1	39:5
qamuy-tu	1	39:4
qamuy-un	6	15:10, 15:10, 15:11, 15:12, 15:13, 29:2
qan	4	1:1, 39:4, 39:6, 39:9
qan-d'u	1	40:8
qara	3	33:9, 33:11, 38:17
Qara^čerig	1	30:4
qara=qu	2	38:16, 38:18
Qaračin	2	7:1, 15:21
Qaračin^tümed-Yin	1	30:4
Qaračin-u	1	10:1
qaraču	7	15:12, 15:16, 15:22, 33:3, 38:7, 38:8, 38:13
qaračus'	1	40:8
qaray'ul	3	17:1, 17:3, 26:10

qari= 5 5:6, 9:7, 9:9, 10:5, 10:9
qari=ba 1 22:3
qari=ži 3 5:5, 31:5, 31:6
qari=ju 2 10:7, 15:8
qari=l_ügei 1 10:5
qariγ'uča=qu 1 7:2
qariγ'ul(qayiy'ul?)-iyar 1 40:8
qariγ'ul=ži 2 18:3, 33:17
qariγ'ul=ju 5 5:2, 9:6, 25:3, 27:11, 38:24
qaru=l_ügei[qara=l_ügei?] 1 32:10
qas' 3 39:4, 39:7, 42:6
Qatan^bay'atur 1 16:2
qatun-d'u 1 40:9
qay_a-ača 1 26:4
qayirala=ba 2 2:2, 4:9
qayirala=γsan 2 4:14, 4:18
qayirala=γsan-i 3 4:10, 4:12, 4:14
qayirala=gsan[!] 1 2:2
qayirala=gsan[!]-i 2 3:3, 3:6
qayirala=ju 9 2:1, 3:2, 23:3, 24:4, 32:6, 32:7, 34:2, 34:4, 34:5
qayirala=qula 1 12:3
qayirala=tuy'ai 2 4:15, 4:18
Qayisa^bay'atur 1 30:3
qoγ'ur 1 15:20
qola 3 14:5, 27:8, 34:4
qola+ča 2 44:3, 45:2
qolbay'_a 8 8:4, 15:23, 15:25, 33:8, 33:11, 38:11, 38:16, 38:18
qon'i 1 15:9
qoni-gi 1 26:9
qon'in 3 14:1, 16:1, 16:8
qon'u=ju 1 15:7
qon'u=tala 2 15:5, 15:7
qon'uγ-ača 2 17:4, 17:4
qon'uγ-t'u 1 41:4
qon'uγ-tu 1 15:9
qon'uγ-un 2 15:6, 15:7
Qoraqu-du 1 17:2
Qorčin 5 13:2, 15:19, 15:19, 15:19, 15:21
Qorčin-I 2 4:4, 5:1
qori=ju 1 28:2

qorin	19	15:7, 15:18, 15:28, 19:5, 20:3, 21:3, 23:5, 24:6, 33:7, 33:20, 37:2, 37:3, 38:21, 38:32, 38:33, 38:34, 38:43, 38:44, 41:9
qoriyad	2	38:27, 38:46
Qorqun-ača	1	16:4
qorsi=γsan	1	38:33
qorsiy'ul=ju	1	37:5
qosiy'u	5	38:30, 38:33, 38:33, 38:35, 38:35
qosiy'u+ban	1	30:6
qosiy'un	2	11:1, 27:7
qosiy'un-ača	7	15:3, 15:4, 15:9, 20:4, 20:4, 21:1, 21:1
qosiy'un-I	9	15:15, 17:3, 19:2, 20:1, 33:11, 37:2, 37:4, 38:17, 38:39
qosiuγbur[!]	1	16:5
qosiyad	2	38:27, 38:46
qosiyay'ad	2	15:4, 37:4
qota	1	16:6
qota-dan	1	9:6
qota-d'u	1	32:4
qota-yin	1	26:8
qotala-yi	1	42:2
qoyar	39	4:3, 5:3, 5:3, 5:4, 5:4, 9:1, 10:1, 14:1, 15:7, 15:18, 15:20, 15:28, 15:30, 17:2, 20:4, 20:4, 21:1, 21:1, 25:2, 25:2, 26:2, 33:5, 33:7, 33:10, 33:13, 33:15, 33:17, 33:18, 33:20, 34:6, 38:12, 38:15, 38:21, 38:26, 38:34, 38:43, 38:44, 38:45, 40:11
qoyar-ača	1	15:17
qoyar-i	2	15:11, 42:9
qoyar+i_gi	1	32:6
qoyar-tu	4	15:24, 33:17, 36:1, 38:25
qoyin'_a	7	4:5, 4:6, 12:4, 15:17, 32:3, 32:4, 35:4
qoyin'a	11	6:5, 31:9, 32:6, 32:8, 33:6, 33:7, 33:19, 38:20, 38:32, 38:43, 40:5
qoyisi	4	22:3, 26:4, 26:7, 32:10
qoyitu	4	4:15, 19:3, 20:2, 21:3
qubčasun-i	1	7:3
Qubiltu	1	5:4
qubiya=γsan	1	26:10
qudal	1	13:2
qudal-iyar	1	31:2
qudaldu=ju	1	43:7
qulay'ai	22	13:1, 15:21, 15:22, 15:23, 15:25, 33:6, 33:6, 33:11, 33:12, 33:13, 33:19, 33:19, 37:6, 37:7, 37:7, 38:13, 38:13, 38:17,

38:18, 38:20, 38:25, 38:42
 qulay'ai-gi 1 38:42
 qulay'ayiči 1 30:9
 qulay'ayiči-ača 1 38:25
 qulay'ayiči-gi 7 15:22, 38:13, 38:15, 38:19, 38:20, 38:26, 38:45
 qulay'ayiči-yi 3 15:26, 30:10, 33:9
 qulay'ayiči-yin 4 15:23, 33:7, 33:10, 38:15
 Qung^bay'atur 1 5:6
 Qung^bay'atur-un 2 5:3, 6:2
 Qung^n'oyan-i 1 40:5
 Qurqan-I 1 26:3
 Qutači-ača 1 38:4
 Qutači-d'u 1 38:3
 Qutuy_t'u^qay'an 1 42:4
 Quučid-Yin 1 42:11
 Quwadang-ača 1 38:4
 Quwadang-d'u 1 38:4
 quyay 3 29:1, 35:2, 41:8
 quyay-ača 1 37:5

S

saču=γsan-ača 1 4:1
 say'ad 3 10:6, 12:4, 40:9
 say'aday_tu 2 38:32, 38:33
 say'u= 1 35:4
 say'u=ba 1 47:1
 say'u=γsan-i 1 31:7
 say'u=n'am 2 10:2, 39:7
 say'u=qu 5 12:6, 16:4, 16:5, 16:5, 32:6
 say'ułγ'a=ji 1 5:6
 say'ułγ'a=qu 1 10:7
 sai 1 7:3
 sakildu=y_a 1 42:9
 samay'u 1 13:3
 samay'u-du 1 40:6
 san'a= 1 10:10
 san'a=γsan-i 1 2:4
 san'a=ju 6 2:1, 2:5, 3:2, 3:3, 3:6, 4:10
 san'a=mu 1 36:3

sana=qu 1 43:8
san'a=qu-du 1 27:3
san'a=qula 1 39:7
sanay'_a-ban 1 27:4
sang 1 26:3
Sangy'arjai-du 1 27:4
Sanggerjei 1 5:5
Saqaliyan^n'oyan 1 38:1
sar-Yin 1 24:6
sar_a 1 16:1
sara-ača 1 16:8
sar_a-yin 8 14:2, 15:30, 21:5, 23:5, 30:6, 34:6, 38:2, 38:47
sara+yin 3 19:5, 20:3, 21:3
sara-yin 3 17:3, 33:2, 41:9
Sayang^mergen 1 30:1
sayid 1 8:1
sayin 16 2:6, 2:6, 4:4, 4:6, 4:14, 4:17, 15:4, 27:3, 27:6, 29:1, 34:4,
37:8, 39:1, 39:4, 42:6, 42:7
Sečen^jin'üng 2 39:2, 42:10
Sečen^jinüng-d'ü 1 44:2
Sečen^qay'an 4 14:1, 15:1, 42:4, 42:6
Sečen^qay'an-d'u 1 15:28
Sečen^qay'an-du 2 39:3, 42:3
Sečen^qay'an-I 4 13:1, 28:1, 32:1, 34:6
Sečen^qay'an-u 13 8:1, 15:30, 16:2, 21:5, 27:1, 29:1, 36:1, 38:47, 41:9, 43:1,
44:1, 45:1, 46:1
sedkil 3 2:5, 2:6, 3:4
sedkil-iyer 2 3:6, 4:3
sedkil_tü 1 4:2
segül-dü 1 37:6
Sengge^mergen^qosiuči-d'u 1 22:1
Sengge^qosiy'uči 2 14:1, 15:1
Sereng 1 5:3
seyil=ü=gsen 1 41:7
sibege-gi 1 27:9
sidam 2 6:1, 39:1
sidar 1 40:10
sidar-ača 1 37:5
siddam 1 42:1
sidüleng 2 15:12, 38:29

sigüsü	6	15:9, 29:2, 30:8, 38:40, 41:4, 41:5
sily'a=ju	1	26:9
siltay'an	3	20:5, 43:2, 43:5
simda=ju	1	31:4
sin'_e	3	21:5, 30:6, 34:6
sin'_e-d'e	1	38:47
sin'e+de	1	38:2
sine+de	1	30:6
sin'_e-yin	2	14:2, 16:1
siq_a=	2	15:16, 15:25
siqa=ju	1	22:2
siqa=qu	3	15:24, 15:25, 38:28
siqay'an-ača	1	15:24
siqam	1	35:3
Sira^mören-eče	1	26:7
Sira^mö'ren-i	1	38:7
Siraljítai-d'u	1	38:2
Siran_tu^kiy_a^taiji	1	24:1
siri	1	5:1
sitü	1	7:4
songy'uday	1	38:26
son'us=či	1	40:8
son'us=ču	3	3:1, 31:6, 43:9
son'us=qu	1	34:4
son'us=u=γsan	1	5:8
son'us=u=gsan[!]-i	1	1:2
son'usda=qu	1	39:4
soyurqa=ba	2	41:3, 43:6
Sundari	1	30:4
sutu	1	42:1
suwasdi	4	6:1, 39:1, 40:1, 42:1
Sübüdi^dügürens-d'ü	1	18:1
Sübüdi-d'ü	1	9:1
süm_e-yin	1	17:2
süm[sümen?]-I	1	17:1
Sün^dügürens	5	14:1, 15:1, 26:7, 30:1, 38:3
Sün^dügürens-Yin	2	20:4, 21:1
Sün'id-Yin	1	42:10
šajin-i	1	39:5
Šar	1	14:9

šasin-I 1 42:8
šasin-i 1 42:7

t

ta 19 6:3, 7:2, 9:3, 9:3, 9:4, 9:7, 11:2, 13:2, 22:1, 32:6, 32:12,
34:2, 34:3, 34:5, 36:1, 40:7, 44:3, 45:3, 46:2
tabar-tur 1 43:4
tabday'ar 1 21:5
tabduy'ar 1 15:30
tabin 3 15:3, 17:3, 17:3
tabiyad 3 19:3, 20:5, 26:10
tabu 5 15:6, 15:7, 17:4, 17:4, 31:1
tabuy'ad 1 11:2
tabun 10 6:3, 6:5, 15:3, 27:7, 33:14, 37:5, 38:2, 38:23, 38:44, 38:47
tabun'-a 1 21:5
tabunung-ud 1 30:4
tabun'ung-ud-tu 1 110:1
tala=ji 1 33:9
talbi= 3 33:13, 37:2, 38:22
talbi=γsan 1 38:43
talbi=ju 2 9:5, 26:8
talbi=qu 1 9:8
talbi=qula 2 33:14, 38:22
tamay'_a 1 37:6
tamay'_a_t'u 1 41:3
tamay'_a_tu 1 15:10
tan-ača 1 31:1
tan-d'u 5 6:5, 31:2, 31:7, 31:9, 40:8
tan-du 1 27:2
tan'+I 5 13:3, 13:3, 13:4, 32:5, 32:11
tan'+i 1 31:8
tan+I 1 34:1
tan-I 9 11:4, 14:3, 27:6, 27:9, 31:7, 31:8, 36:2, 43:8, 43:9
tan-i 1 9:8
tan-i_yi 1 10:7
tan-n'asa 1 10:6
tan-u 2 43:2, 43:7
tangki=l_ügei 1 4:1
Tangšai-yi 1 29:1

tary'un	1	27:5
tari=γsan	2	23:4, 24:5
tariyačın-i	1	26:9
tariyan-d'u	2	23:4, 24:5
tariyan-I	1	10:6
tasura=ba	1	15:9
tasura=l_ügei	3	32:1, 39:8, 42:8
tasura=qu	1	29:3
tata=γsay'ar	1	41:8
tata=ju	2	8:2, 27:6
tata=qula	1	27:8
taulai	1	37:7
tawar	1	43:7
tayiži	1	26:2
tayiži-n'ar	3	10:1, 15:4, 27:5
Tayiqu	2	40:4, 40:9
teden-I	1	27:9
teden-ü	1	31:2
teden[tenden!]-I	1	27:6
tegsi	1	4:2
tegüber	2	15:18, 43:5
tegün-d'ü	1	26:8
tegün-eče	2	15:23, 17:1
tegün'+I	1	4:6
tegün+i	1	8:6
tegün-I	6	12:4, 30:7, 30:11, 32:3, 38:10, 38:37
tegün-i	2	26:6, 32:4
tegün-ni	1	8:2
tegün-ü	1	4:5
težiye=gšen	2	4:15, 4:17
težiye=tügei	2	4:15, 4:18
temdeg	1	1:3
temege	24	15:3, 15:3, 15:4, 15:5, 15:22, 15:26, 15:28, 15:29, 16:6, 30:9, 33:7, 33:16, 33:20, 33:21, 38:13, 38:21, 38:24, 38:27, 38:34, 38:42, 38:43, 38:44, 38:45, 38:46
tende	5	10:2, 36:3, 42:3, 42:5, 42:6
tengri	6	3:5, 3:7, 23:3, 24:4, 32:5, 32:7
ter_e	5	10:3, 15:13, 15:17, 15:26, 31:4
tere	29	2:3, 3:5, 8:5, 18:2, 25:3, 33:3, 33:4, 33:7, 33:8, 33:11, 33:13, 33:13, 33:14, 33:15, 33:16, 33:20, 33:21, 35:3, 37:4,

		38:11, 38:17, 38:21, 38:22, 39:6, 39:9, 42:7, 43:2, 43:5, 43:8
terigüle=n	1	40:4
terigün	1	41:9
terigün'-e	1	41:3
teske=	2	23:2, 24:3
teyimü	1	7:4
teyimü-yin	1	27:4
tngri	12	2:3, 4:1, 4:8, 4:11, 4:14, 4:16, 4:17, 12:3, 14:4, 14:6, 14:8, 43:6
tngri-d'ü	2	4:11, 4:13
tngri-d'ür	1	4:3
tngri-yin	2	4:1, 4:9
Tobudui^bingtu^kiy_a	1	42:10
toy'_a-bar	2	15:8, 27:10
toy'ula=ju	1	15:18
Tolbutu-yi	1	47:1
ton'u=ju	1	7:4
ton'uy-ača	1	15:15
Tonui^günji-d'ü	1	24:2
toqu=ju	1	41:7
toqum-i	1	37:7
tor=u=γsan	1	28:3
tos=u=y_a	1	26:5
Tour-Yin	1	17:2
törü	10	1:2, 12:3, 12:4, 13:1, 32:7, 39:4, 39:5, 42:6, 42:6, 43:8
törü=gšen	1	34:1
törü=gšen-I	1	42:7
törü=gšen-iyer	1	40:10
törü=gšen-ü	1	39:9
törü-yi	4	39:7, 39:7, 42:4, 42:5
törü+yin	1	40:6
törü-yin	2	42:8, 43:1
törü_e	1	6:4
törü_e-yin	1	4:11
törül	5	4:2, 11:4, 34:1, 39:8, 40:8
törül+degen	1	40:7
törül-d'egen	1	34:1
törül-d'ü	1	39:6
törül-iyen	1	34:1
törültei	1	15:16

törür	1	40:10
tuy-ača	1	37:4
tuy'ul=ju	1	15:9
tuy'ulan	2	15:10, 15:14
tula	2	20:6, 31:2
tulada	8	6:6, 9:2, 39:5, 39:7, 41:2, 42:6, 43:3, 43:4
turaqan	1	27:5
tus'-tu	1	18:1
tus+tu	1	4:11
tusay'ar	1	38:38
tusiya=γsan	2	23:2, 24:3
tustan	1	40:6
tülegen-d'ü	1	37:5
Tümed	2	7:1, 15:21
tümen-ü	1	39:5
tüsi=gšen	2	44:2, 45:2
tü'si=ju	1	3:2
tüsi=y_e	1	2:1
tü'simel	1	1:1
Tü'siy_e_tü^qay'an	1	16:2
Tüsiy_e_tü^qay'an	2	14:1, 15:1
Tüsiyetü^qay'an	1	39:2
Tü'siyetü^qay'an-d'u	1	19:1
Tüsiy_e_tü^qay'an-d'u	1	28:1
Tüsiy_e_tü^qay'an-du	1	27:1
Tüsiy_e_tü^qay'an-u	1	14:2

U

Ubası-du	1	5:7
Ubası-yi	1	5:6
Ubası-yin	1	5:7
učara=qula	1	15:17
učir	2	39:4, 42:3
učir-i	5	27:4, 43:1, 43:8, 44:3, 45:3
učir-tu	1	31:3
učiraldu=γsan	1	4:2
Učitu	1	30:5
Uγsan	1	16:2
Uiǰang^bay'atur-Yin	1	11:1

Ujiiyar	1	14:9
Ula-du	1	27:10
Ula-yin	2	16:4, 16:5
ulay'_a	4	15:9, 29:2, 30:8, 38:40
ulay'a	1	41:5
ulay'ačila=qu	1	38:28
ulay'ačila=qula	1	38:29
Ulay'an^qada-du	1	17:1
ulay'an-d'u	1	15:13
ulus	1	10:6
ulus'	7	14:3, 25:3, 26:6, 31:9, 34:3, 35:4, 36:2
ulus'-ača	3	31:7, 38:31, 38:36
ulus'-i	5	8:5, 9:2, 38:29, 43:3, 43:6
ulus'-iyan	1	35:1
ulus'-tu	3	19:4, 20:3, 21:4
ulus'-t'ur	1	43:2
ulus'-tur	1	43:7
ulus'-un	1	8:2
ulus'-Yin	1	15:20
umarta=l_ügei	1	37:1
un'a=ju	1	5:5
un'u=	2	30:8, 30:9
unu=γsan	2	23:4, 24:6
un'u=ju	2	15:9, 38:40
unu=ju	1	30:8
un'u=qu	1	35:3
unu=qu	1	29:2
un'u=qula	1	15:11
Urad	1	22:2
Urad-tu	1	22:1
urba=ju	1	47:1
urid	3	5:8, 6:4, 32:9
urida	7	3:5, 9:4, 15:5, 19:4, 20:2, 21:4, 40:4
uridu	2	32:8, 32:10
urtu	1	14:8
uruγ	1	42:1
usun	1	37:4
usun-u	1	39:3
uu	2	11:4, 42:4
Uuba^qung^tayiji	1	4:2

Uuba^qung^tayijⁱ-yi 1 4:12

uy_a= 1 37:6

Ü

üdter 3 9:8, 10:5, 10:10

üge 13 5:6, 5:7, 5:7, 5:8, 22:2, 22:3, 26:4, 26:5, 26:6, 26:7, 32:7,
35:3, 43:2

üge+ben 3 4:11, 28:4, 40:5

üge-ben 1 46:2

üge+ber[ügebei!] 1 10:4

üge+i_{gi} 2 19:4, 20:2

üge-yi 5 10:9, 14:4, 21:4, 42:7, 43:9

ügegüre=kü 1 34:3

ügei 25 4:4, 4:5, 4:6, 4:7, 9:8, 10:4, 12:3, 15:22, 15:25, 27:2, 28:2,
32:11, 33:8, 35:3, 38:14, 38:35, 40:6, 40:6, 40:7, 40:9, 41:5,
42:4, 43:2, 43:3, 46:3

ügei-yin 1 39:6

ügen+degen 1 28:4

ügen-d'egen 2 4:14, 14:7

ügen-degen 1 11:3

ügen-d'ü 3 15:27, 31:3, 32:2

ügen-dü 1 9:7

ügge[!] 1 40:6

Üijeng^blam_a 1 42:9

üile 1 10:6

üile+ben 1 40:5

ü'je=be 1 44:2

üje=be 2 45:2, 46:1

üje=be+ü 1 34:5

üje=gsen-iyen 1 1:3

üje=jü 2 3:5, 15:11

üje=kü 1 23:1

üje=tügei 1 2:3

üjegül=ü=n 1 1:2

Üjümečin-I 1 42:10

üker 5 15:10, 17:4, 26:9, 30:9, 38:29

Ükiljin 1 14:9

ükü=tügei 1 2:6

üle=gsen 4 15:23, 33:10, 34:1, 38:16

üle=kü	1	13:3
ülü	17	3:3, 4:4, 4:5, 4:7, 4:17, 8:6, 9:5, 9:7, 22:2, 27:4, 29:2, 29:2, 29:3, 31:8, 32:2, 36:1, 38:38
ün'e+ber	1	31:1
ün'en	2	4:3, 46:2
ünen	1	3:6
ür_e	2	4:1, 4:15
üre	1	14:8
ür_e-dü	1	29:3
ür_e-dür	1	41:5
ür_e-luy'_a[!]	1	3:3
üre+yen	1	2:1
ür_e-yin	2	29:3, 41:4
ürgüljî_de	1	4:17
ürgüljîle=jü	1	27:7
üriy_e	1	30:8
üsün-iyen	2	33:12, 38:18
üyegelid-i	1	15:25

y

yabay'an-i	1	24:2
yabu=	5	7:3, 10:4, 10:10, 32:12, 37:1
yabu=ba	1	29:1
yabu=basu	4	2:2, 2:5, 2:6, 3:7
yabu=γsan	1	9:4
yabu=γsan-i	1	43:8
yabu=ju	6	28:3, 28:5, 31:8, 32:9, 32:10, 36:2
yabu=la	1	40:5
yabu=n'am	4	9:3, 9:3, 12:2, 13:2
yabu=qu	6	8:5, 13:4, 32:3, 32:6, 37:4, 43:7
yabu=qu-d'u	3	18:2, 32:7, 37:3
yabu=qui-d'ur	1	43:3
yabu=qui-gi	1	34:5
yabu=quḷ_a	2	4:17, 10:5
yabu=quḷa	11	3:4, 4:14, 7:4, 8:2, 8:5, 14:7, 28:4, 32:10, 32:12, 34:4, 39:8
yabu=tala	1	9:3
yabu=tuy'ai	1	41:4
yabu=y_a	4	4:4, 4:6, 4:10, 39:8
yabudaḷ	1	32:5

yabudał-du	1	27:8
yabudał-i	2	32:2, 32:11
yabudał-ıyan	2	44:3, 45:3
yabudał-ıyar	1	32:2
yabuγ'uł=ba	1	32:2
yabuγ'uł=ju	1	32:12
yabuγ'uł=qula	1	14:3
yabułča=γsan	1	46:2
yabułča=la	1	40:6
yaγ'aki=qu	1	5:1
yaγ'ara=ju	7	6:6, 22:3, 26:9, 26:11, 31:5, 31:6, 38:31
yaγ'ara=l_ügei	1	31:8
yaγ'u	1	46:3
yaγ'u+bi	3	32:3, 35:3, 36:2
yaγ'u+ki=m	1	32:12
yaγ'um_a	1	27:3
yaγ'uman-d'u	1	37:6
yaγ'un	2	8:2, 28:6
yaγ'un-d'u	1	25:3
yaγ'un-d'ur	1	4:8
yaγ'un-u	1	9:2
yaki=qu	1	8:6
yal_a	2	4:5, 38:40
yala	7	4:7, 15:19, 15:20, 15:20, 28:2, 32:11, 37:5
yala-d'u	4	28:3, 33:12, 38:19, 38:27
yala-gi	1	38:23
yala+i_gi	1	38:38
yala+i_yi	2	12:7, 33:15
yala-yi	2	15:7, 15:8
yala-yin	1	38:38
yala_tai	1	37:3
yalatai	2	28:1, 30:11
yalatan	1	30:8
yalatan-i	1	30:6
yala_tu	3	15:9, 15:27, 38:39
yalatu	1	33:17
yambar	8	2:4, 5:7, 10:3, 15:7, 15:8, 15:19, 15:20, 27:4
yambar-i	2	44:3, 45:2
Yangsimu-yin	5	19:5, 20:3, 21:2, 23:6, 24:7
yeke	22	14:1, 15:1, 15:3, 15:4, 16:3, 16:5, 16:6, 19:4, 20:3, 21:4,

30:11, 32:7, 37:2, 37:2, 37:2, 39:2, 39:4, 39:7, 39:7, 42:6,
 42:11, 43:1
 yekele=ǰü 1 26:3
 Yeldeng^tüsiyetü 1 42:11
 yerü 1 42:11
 yirtinčü-yin 1 42:6
 yisü 2 15:12, 15:13
 yisüdüger 1 41:9
 yisün 1 15:12
 yosu+bar 3 32:12, 33:14, 38:20
 yosu-bar 2 38:7, 38:35
 yosuy'ar 1 41:1

モンゴル語曲用語尾索引

-a	15	4:1, 9:4, 14:2, 15:5, 15:6, 15:7, 17:4, 21:5, 26:10, 27:9, 32:9, 33:2, 36:3, 40:2, 42:6
-ača	73	4:1, 4:3, 5:5, 14:2, 14:4, 14:4, 15:2, 15:2, 15:3, 15:4, 15:7, 15:8, 15:9, 15:15, 15:17, 15:17, 15:18, 15:18, 15:18, 15:24, 15:26, 16:4, 16:5, 16:8, 16:8, 17:4, 17:4, 20:4, 20:4, 21:1, 21:1, 25:1, 26:1, 26:3, 26:4, 26:4, 27:2, 27:10, 31:1, 31:4, 31:7, 32:1, 33:7, 33:11, 33:13, 33:13, 33:14, 33:16, 33:20, 33:21, 37:4, 37:5, 37:5, 38:3, 38:3, 38:4, 38:4, 38:5, 38:6, 38:7, 38:15, 38:17, 38:21, 38:22, 38:24, 38:25, 38:31, 38:36, 38:39, 38:41, 38:44, 38:45, 39:5
+ai	1	40:8
+ban	6	4:4, 15:12, 15:28, 30:6, 32:8, 40:10
-ban	8	23:2, 23:4, 24:3, 24:6, 26:9, 27:4, 27:5, 43:7
+bar	4	32:12, 33:14, 37:3, 38:20
-bar	11	3:7, 4:1, 15:6, 15:8, 15:16, 15:19, 15:20, 15:21, 27:10, 38:8, 38:35
+ben	5	4:11, 12:5, 28:4, 40:5, 40:5
-ben	2	34:4, 46:2
+ber	2	10:4, 31:1
-ber	5	14:3, 33:4, 33:7, 38:11, 38:21
+bi	3	32:3, 35:3, 36:2
+ča	2	44:3, 45:2
+či	1	10:6
-dan	1	9:6
+de	2	30:6, 38:2
-d'e	3	8:4, 26:8, 38:47
-de	1	17:1
+degen	2	28:4, 40:7
-d'egen	4	4:14, 14:7, 18:3, 34:1
-degen	4	11:3, 15:9, 27:2, 42:7
+du	3	31:9, 33:6, 33:19
-d'u	79	4:3, 4:7, 4:10, 6:4, 6:5, 7:4, 10:2, 10:3, 10:5, 10:8, 11:1, 15:6, 15:13, 15:13, 15:19, 15:19, 15:28, 18:2, 18:3, 19:1, 19:5, 19:5, 20:3, 20:3, 21:3, 22:1, 23:2, 23:4, 23:6, 24:3, 24:5, 24:7, 25:1, 25:3, 26:5, 28:1, 28:3, 28:5, 30:7, 31:2, 31:7, 31:9, 32:3, 32:4, 32:4, 32:4, 32:5, 32:5, 32:7, 32:12, 33:12, 33:13, 35:1, 35:3, 35:3, 36:1, 37:1, 37:3, 37:6, 37:6, 37:7, 38:2, 38:4, 38:4, 38:5, 38:5, 38:11, 38:19, 38:20, 38:22, 38:27, 38:42, 38:43, 40:8, 40:8, 40:9, 44:2, 45:1, 45:2
-du	21	5:2, 5:7, 5:8, 6:6, 12:4, 17:1, 17:2, 17:2, 17:2, 27:1, 27:2,

		27:3, 27:4, 27:8, 27:10, 29:1, 39:3, 40:6, 41:7, 42:3, 47:1
-d'u_n'i	1	30:11
-d'ur	6	4:8, 14:3, 14:4, 14:9, 43:1, 43:3
-dur	1	46:2
+dū	2	37:5, 40:9
-d'ü	33	4:7, 4:8, 4:11, 4:13, 7:2, 9:1, 11:2, 15:27, 18:1, 18:2, 21:2, 24:2, 25:1, 26:8, 30:2, 30:3, 30:5, 31:3, 31:3, 32:2, 32:3, 33:6, 34:3, 34:4, 35:2, 37:2, 37:5, 38:40, 39:4, 39:6, 40:9, 44:2, 46:1
-dü	7	9:7, 12:2, 12:3, 29:3, 30:4, 37:3, 37:6
-d'ün'i	2	37:4, 38:24
-d'üni	1	33:17
-d'ür	2	4:3, 16:6
-dür	1	41:5
-e	4	16:1, 37:1, 41:3, 41:9
-eče	16	2:2, 15:23, 16:4, 17:1, 17:3, 20:5, 21:2, 23:1, 26:7, 26:8, 29:2, 33:18, 33:18, 37:5, 38:29, 38:33
+ei	1	40:9
-gi	33	13:3, 15:11, 15:22, 15:25, 19:3, 20:1, 21:3, 26:3, 26:9, 27:5, 27:9, 27:10, 27:11, 28:2, 28:3, 31:6, 32:9, 32:10, 34:5, 34:5, 36:2, 37:6, 38:14, 38:14, 38:16, 38:19, 38:20, 38:22, 38:23, 38:26, 38:32, 38:42, 38:45
+I	16	4:6, 5:6, 7:3, 9:2, 13:3, 13:3, 13:4, 23:4, 24:5, 31:6, 31:9, 32:5, 32:11, 34:1, 40:9, 43:5
+i	10	5:1, 5:1, 6:4, 6:5, 7:2, 8:6, 31:8, 32:6, 33:17, 37:7
-I	111	1:1, 2:5, 3:1, 3:3, 3:6, 4:4, 4:10, 4:12, 4:14, 5:1, 5:4, 5:6, 9:1, 9:7, 10:1, 10:6, 10:9, 11:4, 12:4, 12:6, 13:1, 14:3, 14:4, 15:5, 15:5, 15:15, 15:21, 17:1, 17:1, 17:3, 17:3, 17:4, 18:1, 19:1, 19:2, 20:1, 20:1, 21:1, 22:1, 23:1, 23:1, 23:1, 23:4, 24:1, 24:5, 25:1, 25:1, 26:2, 26:3, 26:4, 26:7, 26:8, 26:10, 27:2, 27:6, 27:6, 27:9, 27:9, 27:10, 28:1, 28:1, 28:4, 30:6, 30:7, 30:11, 31:1, 31:1, 31:7, 31:8, 32:1, 32:3, 32:3, 32:8, 32:9, 32:12, 33:1, 33:4, 33:4, 33:11, 33:12, 34:1, 34:2, 34:6, 35:1, 36:2, 36:3, 37:2, 37:3, 37:4, 38:6, 38:6, 38:7, 38:10, 38:11, 38:17, 38:19, 38:27, 38:37, 38:39, 38:40, 38:41, 39:6, 40:3, 41:3, 42:7, 42:8, 42:9, 42:10, 43:8, 43:9, 46:2
-i	140	1:2, 2:4, 2:5, 3:1, 3:1, 3:2, 3:3, 3:5, 3:6, 4:5, 4:6, 4:10, 4:11, 4:12, 4:14, 4:15, 4:16, 4:17, 5:1, 7:2, 7:3, 7:3, 7:4, 8:3, 8:3, 8:5, 9:2, 9:6, 9:8, 14:2, 14:3, 14:6, 15:11, 15:11, 15:14, 15:15, 15:17, 15:22, 15:23, 15:25, 16:7, 18:1, 18:2,

		20:5, 22:2, 23:1, 23:2, 23:3, 24:2, 24:3, 24:4, 25:3, 26:6, 26:9, 27:4, 27:6, 27:6, 27:8, 27:9, 30:6, 31:4, 31:4, 31:5, 31:6, 31:7, 32:2, 32:4, 32:11, 33:2, 33:3, 33:3, 33:3, 33:4, 33:4, 33:4, 33:5, 33:8, 33:8, 33:9, 33:10, 33:11, 33:11, 33:12, 33:16, 33:19, 33:21, 34:2, 37:3, 37:4, 37:7, 37:7, 37:7, 37:8, 38:7, 38:8, 38:9, 38:9, 38:9, 38:10, 38:10, 38:12, 38:14, 38:16, 38:17, 38:17, 38:18, 38:23, 38:24, 38:25, 38:28, 38:29, 38:31, 38:36, 38:36, 38:37, 38:41, 38:41, 38:44, 38:45, 38:46, 39:5, 40:5, 42:7, 42:9, 43:1, 43:3, 43:4, 43:6, 43:6, 43:8, 43:8, 44:2, 44:3, 44:3, 44:3, 45:1, 45:2, 45:2, 45:3, 46:1
+i_gi	7	19:4, 20:2, 23:3, 32:6, 32:7, 37:1, 38:38
+I_ki	1	31:5
-iyan	9	27:2, 31:9, 32:9, 32:10, 35:1, 36:2, 38:30, 44:3, 45:3
-iyar	11	1:1, 2:7, 10:2, 31:2, 32:2, 33:1, 33:21, 38:1, 38:34, 38:46, 40:8
-iyen	10	1:3, 2:6, 6:3, 15:13, 32:2, 33:12, 34:1, 35:4, 38:18, 38:30
-iyer	5	3:7, 4:3, 33:12, 38:18, 40:10
+i_yi	3	12:7, 24:4, 33:15
-i_yi	1	10:7
+i_yin	1	4:9
-luγ'_a	3	3:3, 4:12, 27:7
-n'ar	3	10:1, 15:4, 27:5
-n'asa	1	10:6
-ni	1	8:2
-t'ay'an	2	18:2, 18:2
-teče	1	37:1
+tegen	1	9:7
+tu	3	2:2, 2:4, 4:11
-t'u	3	12:1, 41:4, 42:7
-tu	29	4:11, 14:6, 15:1, 15:3, 15:9, 15:17, 15:24, 18:1, 19:2, 19:4, 19:4, 20:2, 20:3, 21:4, 21:4, 22:1, 23:1, 23:1, 23:1, 31:3, 31:5, 33:17, 35:2, 36:1, 38:3, 38:6, 38:25, 38:28, 39:4
-t'ur	1	43:2
-tur	5	1:1, 14:8, 43:4, 43:6, 43:7
-t'ü	2	12:6, 27:6
-tü	6	13:1, 15:15, 31:2, 31:8, 32:1, 32:8
-tür	2	14:2, 38:31
-u	35	1:2, 5:3, 7:1, 8:1, 9:2, 10:1, 10:2, 10:4, 11:1, 12:1, 14:1, 14:3, 15:30, 16:1, 16:2, 21:5, 27:1, 29:1, 36:1, 37:1, 38:1, 38:47, 39:3, 39:3, 41:1, 41:1, 41:9, 42:1, 43:1, 43:2, 43:7,

		44:1, 45:1, 46:1, 47:1
-ud	1	30:4
-ud-tu	2	10:1, 40:4
-un	44	2:3, 3:1, 4:2, 5:2, 5:3, 5:4, 5:5, 6:2, 8:2, 14:8, 15:1, 15:2, 15:6, 15:7, 15:7, 15:7, 15:8, 15:8, 15:8, 15:10, 15:10, 15:10, 15:11, 15:12, 15:13, 15:13, 15:17, 15:24, 15:27, 15:27, 15:28, 16:7, 21:5, 27:9, 29:2, 33:2, 34:6, 38:2, 41:1, 41:5, 41:9, 43:4, 43:4, 43:6
+ü	11	12:7, 23:4, 24:5, 25:3, 27:3, 31:2, 31:10, 34:2, 34:3, 34:4, 34:5
-ü	12	4:5, 4:5, 4:15, 31:2, 39:5, 39:6, 39:8, 39:9, 39:9, 41:2, 43:3, 43:4
-ün	16	14:1, 15:9, 15:10, 15:20, 16:1, 16:8, 16:8, 23:5, 24:6, 33:2, 38:1, 38:1, 38:33, 38:35, 38:39, 38:47
+yen	1	2:1
-yi	44	1:2, 2:4, 4:6, 4:12, 5:6, 8:2, 10:9, 13:3, 14:4, 14:6, 15:7, 15:8, 15:10, 15:10, 15:12, 15:24, 15:26, 16:6, 21:4, 22:2, 25:2, 29:1, 30:10, 33:3, 33:9, 33:15, 33:20, 38:2, 38:9, 38:37, 38:37, 39:5, 39:7, 39:7, 40:7, 40:7, 41:1, 41:5, 42:2, 42:4, 42:5, 42:7, 43:9, 47:1
-yi+n'_i	1	33:6
+yin	5	19:5, 20:3, 21:3, 40:6, 42:6
-Yin	46	11:1, 12:1, 12:3, 13:3, 14:9, 15:20, 17:1, 17:2, 17:2, 17:2, 17:2, 19:4, 20:3, 20:4, 21:1, 21:2, 23:1, 24:1, 24:6, 25:2, 26:2, 26:5, 26:10, 30:4, 30:5, 31:3, 32:2, 32:3, 32:4, 32:11, 33:4, 33:9, 33:18, 34:1, 37:3, 37:3, 38:12, 38:14, 38:21, 38:34, 38:39, 42:10, 42:11, 42:11, 44:3, 45:2
-yin	93	4:1, 4:9, 4:10, 4:10, 4:11, 4:12, 4:14, 5:2, 5:7, 6:6, 12:5, 14:2, 14:2, 14:4, 14:6, 14:6, 15:11, 15:19, 15:20, 15:23, 15:24, 15:30, 16:1, 16:4, 16:4, 16:5, 17:1, 17:2, 17:2, 17:3, 18:1, 19:3, 19:4, 19:5, 20:1, 20:2, 20:3, 20:4, 20:5, 20:5, 21:1, 21:2, 21:3, 21:4, 21:5, 22:3, 23:5, 23:6, 24:7, 26:4, 26:8, 27:4, 27:6, 27:7, 28:3, 28:3, 28:5, 29:1, 29:3, 30:6, 30:9, 31:1, 31:2, 31:3, 31:7, 32:9, 33:2, 33:7, 33:10, 33:14, 34:6, 38:2, 38:15, 38:19, 38:29, 38:38, 38:47, 39:4, 39:5, 39:6, 39:10, 40:11, 41:4, 41:4, 41:9, 42:3, 42:6, 42:8, 42:11, 43:1, 43:1, 43:3, 43:8
-yuy'an	2	39:8, 42:8

モンゴル語活用語尾索引

=	87	5:6, 7:3, 8:2, 9:6, 9:7, 9:9, 10:3, 10:4, 10:5, 10:9, 10:10, 10:10, 11:2, 15:8, 15:9, 15:10, 15:11, 15:11, 15:11, 15:13, 15:16, 15:17, 15:18, 15:18, 15:18, 15:25, 15:26, 18:3, 19:3, 19:3, 19:4, 19:5, 20:1, 20:2, 20:3, 20:4, 20:5, 21:2, 21:3, 21:3, 21:4, 22:2, 22:3, 23:2, 23:2, 23:6, 24:3, 24:3, 24:7, 26:11, 27:3, 27:5, 27:5, 27:7, 27:10, 27:11, 27:11, 28:2, 30:7, 30:8, 30:9, 30:9, 30:10, 31:3, 32:12, 33:13, 35:2, 35:4, 35:4, 36:3, 37:1, 37:2, 37:2, 37:4, 37:5, 37:6, 37:6, 37:6, 38:22, 38:31, 38:32, 38:38, 38:40, 40:10, 40:10, 42:6, 43:2
=ba	42	2:2, 3:3, 4:5, 4:6, 4:6, 4:9, 4:9, 5:1, 10:7, 14:2, 15:7, 15:9, 15:9, 15:14, 15:24, 15:28, 16:8, 16:9, 20:6, 22:3, 26:5, 29:1, 32:2, 32:3, 32:4, 32:5, 33:22, 36:2, 38:28, 38:28, 38:28, 38:36, 38:41, 38:47, 39:3, 39:6, 41:3, 41:4, 42:3, 43:6, 47:1, 47:2
=bači	2	31:9, 39:6
=bam	1	25:3
=basu	5	1:2, 2:2, 2:5, 2:6, 3:7
=_be	1	27:10
=be	45	2:4, 2:4, 4:7, 4:8, 5:2, 5:5, 9:1, 10:1, 12:1, 13:1, 13:1, 16:3, 18:1, 19:2, 22:1, 23:1, 24:2, 25:1, 26:3, 26:4, 26:10, 27:1, 28:1, 29:1, 32:1, 32:4, 33:2, 33:16, 33:20, 34:3, 35:2, 36:1, 38:3, 38:23, 40:4, 41:8, 42:4, 43:1, 44:2, 44:2, 45:1, 45:2, 46:1, 46:1, 46:3
=be+ü	1	34:5
=besü	4	15:16, 16:6, 41:6, 41:6
=či	24	15:6, 15:7, 18:2, 18:3, 19:5, 20:4, 21:3, 22:2, 23:1, 23:6, 24:2, 24:7, 25:2, 26:3, 26:9, 27:8, 28:4, 28:5, 30:10, 33:12, 38:39, 38:40, 40:5, 40:8
=ču	24	3:1, 5:1, 5:6, 5:7, 6:2, 7:3, 7:4, 8:3, 8:4, 9:2, 15:13, 15:15, 16:8, 21:2, 30:10, 31:6, 33:9, 34:4, 34:5, 38:30, 41:2, 42:8, 43:7, 43:9
=čü	10	2:6, 2:6, 4:14, 11:3, 14:7, 15:11, 15:26, 29:1, 32:9, 38:18
=γ'ad	8	14:8, 26:3, 26:9, 31:6, 35:2, 36:2, 38:30, 41:3
=γči	10	15:15, 33:3, 33:3, 33:3, 38:9, 38:10, 38:10, 38:11, 38:23, 38:26
=γčín	1	1:1
=γsay'ar	1	41:8
=γsan	75	4:1, 4:2, 4:2, 4:9, 4:13, 4:13, 4:13, 4:14, 4:16, 4:16, 4:18, 5:8, 6:5, 7:3, 8:1, 8:3, 8:3, 8:4, 9:2, 9:4, 9:5, 10:5, 12:7, 15:6, 15:13, 15:17, 15:25, 15:26, 16:7, 18:1, 18:2, 20:5, 23:2, 23:4, 23:4, 24:3, 24:5, 24:6, 26:10, 27:10, 28:3, 30:9, 31:3,

		31:9, 32:6, 33:4, 33:5, 33:6, 33:12, 33:15, 33:16, 33:19, 33:19, 35:1, 35:4, 37:3, 38:9, 38:11, 38:12, 38:18, 38:24, 38:25, 38:31, 38:31, 38:32, 38:33, 38:40, 38:41, 38:43, 38:45, 39:3, 42:2, 43:3, 43:4, 46:2
=γsan-ača	1	4:1
=γsan-d'u	2	32:5, 35:3
=γsan-i	14	2:4, 4:10, 4:11, 4:12, 4:14, 4:15, 4:17, 25:3, 31:5, 31:6, 31:7, 33:21, 38:46, 43:8
=gči	8	15:15, 33:5, 33:6, 33:17, 38:12, 38:15, 38:25, 38:36
=ged	6	4:10, 4:12, 13:1, 28:4, 38:2, 47:1
=gesei	1	11:4
=gsan	1	2:2
=gsan-i	3	1:2, 3:3, 3:6
=gsen	43	2:4, 4:15, 4:16, 4:17, 5:1, 10:2, 10:4, 11:3, 12:5, 14:2, 14:4, 14:6, 14:7, 15:1, 15:17, 15:23, 15:23, 18:3, 25:1, 27:9, 28:4, 28:4, 33:10, 34:1, 34:1, 34:3, 35:2, 38:16, 38:36, 38:37, 38:37, 38:42, 38:44, 38:44, 40:2, 41:7, 43:7, 44:2, 44:2, 45:1, 45:2, 46:1, 46:3
=gsen-d'ü	3	4:8, 11:2, 35:2
=gsen-I	1	42:7
=gsen-i	4	2:5, 3:2, 22:2, 31:4
=gsen-iyen	1	1:3
=gsen-iyer	1	40:10
=gsen-ü	3	39:9, 41:2, 43:4
=güsei	1	5:2
=jam	2	8:3, 32:8
=jem	2	27:4, 34:2
=ji	30	5:2, 5:5, 5:6, 5:6, 6:2, 6:4, 8:6, 15:5, 15:14, 18:3, 19:2, 27:10, 28:5, 31:5, 31:6, 33:3, 33:8, 33:9, 33:16, 33:17, 38:10, 39:7, 39:8, 39:9, 40:5, 40:5, 40:7, 40:8, 42:8, 43:2
=ju	137	2:1, 2:1, 2:5, 2:5, 2:6, 3:2, 3:2, 3:3, 3:4, 3:6, 4:4, 4:4, 4:5, 4:7, 4:8, 4:10, 4:12, 5:2, 5:5, 6:4, 6:6, 7:2, 7:2, 7:3, 7:4, 8:2, 8:2, 8:4, 9:2, 9:3, 9:5, 9:6, 10:6, 10:7, 10:9, 12:2, 12:2, 13:3, 14:2, 14:4, 14:4, 14:6, 15:7, 15:8, 15:9, 15:9, 15:12, 15:18, 15:22, 15:23, 19:3, 20:1, 22:2, 22:3, 23:3, 23:3, 23:5, 24:4, 24:5, 24:6, 25:3, 26:5, 26:8, 26:9, 26:9, 26:9, 26:10, 26:11, 27:6, 27:6, 27:11, 28:2, 28:3, 28:5, 30:8, 30:8, 30:10, 30:10, 30:10, 31:2, 31:4, 31:4, 31:5, 31:6, 31:8, 31:8, 32:2, 32:6, 32:7, 32:9, 32:10, 32:12, 33:6, 33:7, 33:9, 33:10, 33:14, 33:19, 34:1, 34:2, 34:3, 34:4, 34:5, 35:1, 35:4, 36:2, 36:2,

		37:1, 37:2, 37:4, 37:4, 37:5, 38:2, 38:14, 38:16, 38:19, 38:20, 38:20, 38:20, 38:24, 38:24, 38:26, 38:31, 38:35, 38:40, 38:42, 38:43, 38:45, 39:8, 40:5, 41:7, 42:8, 43:3, 43:4, 43:6, 43:7, 47:1
=jü	94	2:1, 2:2, 2:4, 3:1, 3:2, 3:2, 3:2, 3:5, 3:7, 4:6, 4:8, 4:8, 4:9, 4:9, 4:10, 4:11, 4:17, 8:1, 8:2, 8:3, 8:5, 9:3, 9:4, 10:3, 10:7, 10:9, 10:9, 10:9, 11:3, 12:7, 13:1, 13:2, 13:2, 14:2, 14:4, 14:8, 15:8, 15:11, 15:11, 15:15, 15:17, 15:19, 15:20, 16:7, 16:7, 22:1, 22:3, 26:3, 26:5, 26:6, 26:9, 27:2, 27:7, 27:7, 27:8, 28:2, 28:6, 29:1, 31:4, 31:4, 31:5, 31:6, 31:6, 31:7, 32:8, 32:9, 32:10, 32:11, 33:16, 33:20, 34:2, 35:1, 35:2, 35:4, 37:4, 38:2, 38:23, 38:29, 38:32, 38:38, 38:38, 38:40, 38:41, 39:8, 40:10, 41:2, 43:8, 44:3, 45:2, 46:2, 46:2, 46:2, 47:1, 47:1
=kü	52	6:3, 6:5, 8:4, 9:5, 13:3, 14:7, 15:7, 15:7, 15:8, 15:9, 15:16, 15:23, 16:6, 16:8, 16:9, 22:2, 23:1, 26:5, 26:7, 27:2, 27:4, 28:3, 28:6, 29:2, 30:6, 30:6, 30:8, 31:8, 32:2, 32:11, 33:2, 33:6, 33:8, 33:17, 33:19, 34:3, 35:1, 35:3, 36:2, 38:8, 38:8, 38:14, 38:24, 38:32, 38:35, 38:38, 41:4, 41:5, 42:5, 42:7, 43:1, 43:8
=kü+dü	2	37:5, 40:9
=kü+yin	1	42:6
=kü-d'ü	1	4:7
=kü-yin	2	20:5, 43:3
=küi-d'egen	1	18:3
=küi-degen	1	15:9
=küi-gi	1	28:2
=küi-yi	2	22:2, 40:7
=küi-yin	1	6:6
=kül_e	1	4:16
=küle	49	4:7, 4:12, 6:6, 13:3, 14:6, 15:5, 15:6, 15:8, 15:8, 15:10, 15:11, 15:13, 15:14, 15:15, 15:19, 15:20, 15:20, 15:21, 15:22, 15:25, 15:28, 15:29, 17:4, 23:3, 24:4, 27:8, 30:7, 30:10, 31:9, 33:3, 33:10, 33:11, 33:14, 37:7, 37:7, 37:7, 38:10, 38:13, 38:13, 38:16, 38:17, 38:19, 38:27, 38:34, 38:36, 38:39, 38:42, 40:10, 42:8
=kün	1	1:1
=la	4	6:4, 40:5, 40:6, 40:8
=le	3	2:1, 3:2, 31:5
=ltei	3	25:3, 34:3, 40:9
=lüge	1	43:5

=l_ügei	19	4:1, 4:2, 4:10, 4:14, 10:5, 12:6, 13:4, 28:3, 28:5, 31:5, 31:8, 32:1, 32:9, 32:10, 35:2, 37:1, 39:8, 42:8, 42:9
=m	7	5:8, 32:12, 36:1, 40:10, 44:3, 45:2, 46:3
=mu	2	36:3, 42:3
=müi	1	4:3
=n	16	1:2, 2:7, 3:8, 14:1, 15:1, 26:8, 28:5, 30:6, 37:1, 39:2, 39:3, 39:6, 39:9, 40:4, 42:1, 42:3
=n'am	19	4:11, 5:7, 6:5, 7:4, 9:3, 9:3, 9:4, 10:2, 11:4, 11:4, 12:2, 12:3, 12:4, 13:2, 18:3, 31:7, 39:7, 39:9, 40:9
=nam	1	43:2
=n'em	10	5:3, 5:5, 5:7, 6:3, 12:2, 13:2, 22:3, 25:2, 31:2, 31:6
=nem	10	26:4, 26:5, 26:6, 26:6, 26:6, 26:8, 26:10, 27:10, 44:3, 45:3
=qu	123	4:4, 4:7, 5:1, 7:2, 7:5, 8:4, 8:5, 8:6, 9:8, 10:6, 10:7, 10:8, 10:8, 12:5, 12:6, 12:7, 13:4, 15:2, 15:4, 15:4, 15:5, 15:5, 15:6, 15:10, 15:12, 15:12, 15:13, 15:14, 15:14, 15:15, 15:16, 15:16, 15:22, 15:23, 15:23, 15:24, 15:24, 15:25, 15:25, 15:26, 15:28, 15:29, 16:4, 16:5, 16:5, 17:3, 17:3, 17:4, 17:4, 19:2, 19:2, 19:3, 19:4, 20:2, 21:4, 23:4, 24:5, 26:8, 27:9, 29:2, 29:3, 30:6, 31:8, 32:3, 32:6, 32:6, 32:6, 33:2, 33:3, 33:4, 33:6, 33:7, 33:8, 33:8, 33:10, 33:12, 33:12, 33:13, 33:15, 33:16, 33:18, 33:22, 34:4, 35:3, 36:3, 37:3, 37:4, 37:5, 37:7, 37:7, 37:7, 37:8, 37:8, 38:7, 38:8, 38:9, 38:13, 38:14, 38:15, 38:16, 38:18, 38:18, 38:19, 38:21, 38:22, 38:23, 38:24, 38:27, 38:28, 38:28, 38:31, 38:34, 38:36, 38:38, 38:41, 38:47, 39:4, 39:5, 41:7, 42:6, 43:2, 43:7, 43:8
=qu-d'u	7	4:7, 18:2, 32:3, 32:4, 32:7, 37:1, 37:3
=qu-du	2	12:4, 27:3
=qu-gi	1	38:32
=qu-yin	6	20:2, 21:4, 31:2, 39:4, 42:3, 43:8
=qui	2	1:3, 1:3
=qui-d'ur	1	43:3
=qui-gi	1	34:5
=qu_la	1	33:20
=qu_l_a	7	4:17, 9:8, 10:5, 15:2, 15:3, 15:26, 38:40
=qu_la	79	3:4, 4:14, 6:4, 7:2, 7:4, 7:5, 8:2, 8:3, 8:4, 8:5, 12:3, 14:3, 14:3, 14:5, 14:7, 15:2, 15:3, 15:4, 15:5, 15:10, 15:11, 15:12, 15:12, 15:12, 15:14, 15:16, 15:16, 15:17, 15:24, 15:27, 17:3, 19:2, 27:3, 27:8, 28:4, 31:8, 32:10, 32:12, 33:2, 33:3, 33:4, 33:5, 33:7, 33:12, 33:13, 33:14, 33:16, 33:17, 33:18, 33:20, 34:4, 37:2, 37:5, 37:8, 38:6, 38:7, 38:7, 38:8, 38:8, 38:11,

38:18, 38:21, 38:22, 38:23, 38:26, 38:27, 38:28, 38:29, 38:30,
38:32, 38:33, 38:35, 38:37, 38:37, 38:43, 38:46, 39:7, 39:8,
42:7

=quyi+ban 1 4:4

=r_a 1 4:10

=sa 17 10:2, 10:3, 10:4, 10:8, 12:3, 15:6, 15:14, 15:18, 15:23, 15:25,
30:9, 32:8, 35:1, 35:3, 37:8, 40:4, 40:5

=sü 1 35:1

=tal_a 2 12:5, 25:3

=tala 6 9:3, 15:5, 15:6, 15:7, 15:11, 32:1

=tel_e 4 4:4, 4:5, 15:11, 38:5

=tele 9 14:8, 15:26, 16:4, 29:3, 38:3, 38:4, 38:4, 38:5, 41:5

=tuy'ai 31 2:7, 3:8, 4:13, 4:13, 4:15, 4:16, 4:17, 4:18, 14:8, 15:19, 15:20,
15:21, 19:2, 31:2, 33:5, 33:11, 33:14, 33:15, 33:18, 38:9,
38:10, 38:12, 38:15, 38:17, 38:20, 38:25, 38:26, 38:29, 38:37,
39:1, 41:4

=tügei 14 2:3, 2:6, 3:5, 4:15, 4:18, 14:4, 14:6, 22:2, 27:9, 38:11, 38:16,
38:33, 38:34, 38:41

=usai 1 6:3

=y_a 16 3:2, 4:4, 4:6, 4:8, 4:8, 4:10, 6:5, 6:7, 23:5, 24:6, 26:5, 26:6,
28:2, 28:5, 39:8, 42:9

=y_e 9 2:1, 11:3, 27:10, 34:2, 35:3, 36:3, 39:5, 43:9, 46:2

『満文原檔』所収モンゴル語文書の研究

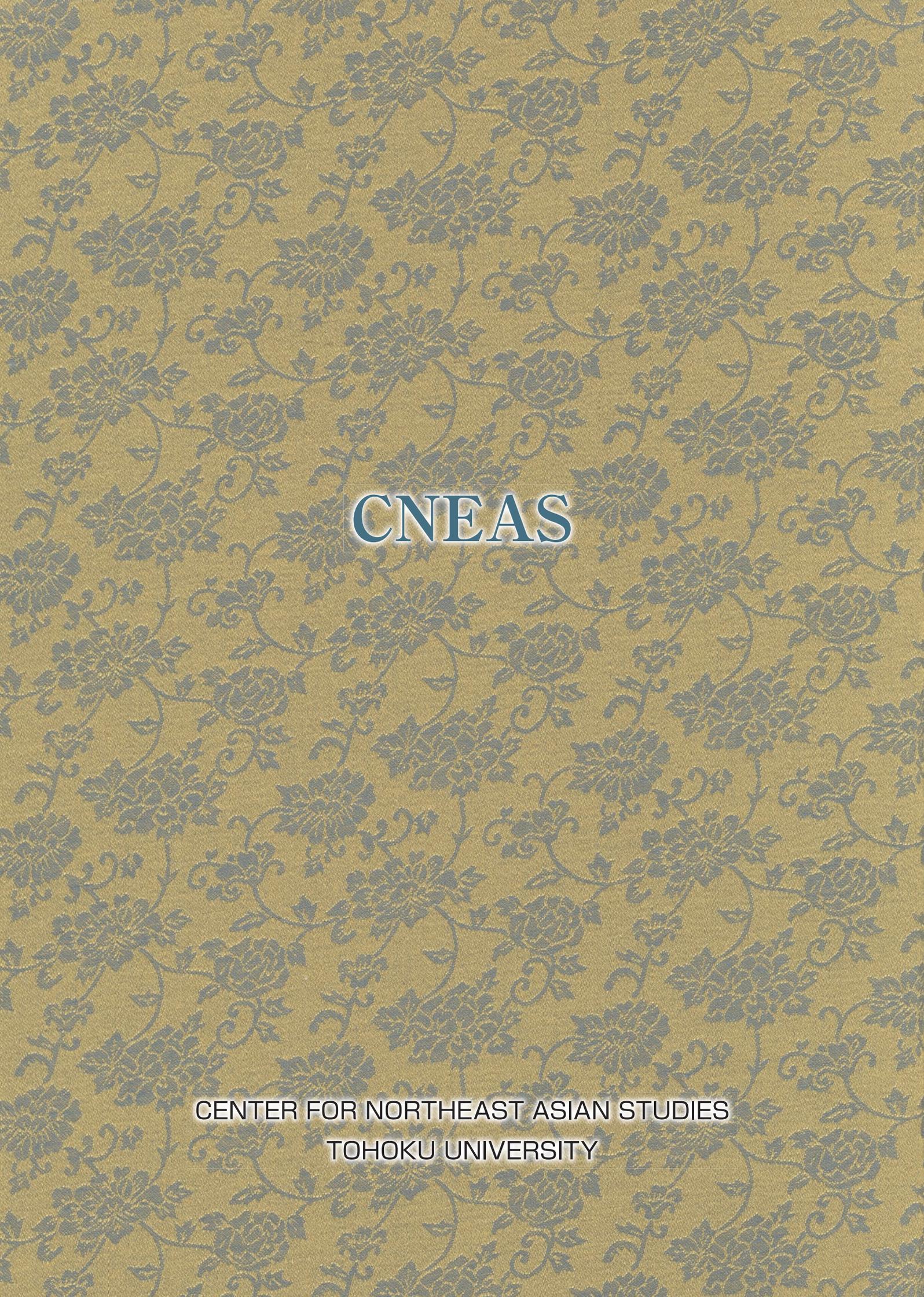
(もうぶんげんとうしょしゅうもんごるごぶんしょのけんきゅう)

東北アジア研究センター報告 第17号

2015年2月5日発行 非売品

編著者 栗林均・海蘭
発行者 東北大学東北アジア研究センター
〒980-8576 仙台市青葉区川内 41
印刷 株東北プリント
〒980-0822 仙台市青葉区立町 24-24

ISBN 978-4-901449-99-1



CNEAS

CENTER FOR NORTHEAST ASIAN STUDIES
TOHOKU UNIVERSITY